

道東自動車道 串内橋（鋼上部工）工事

設 計 図
(橋 梁 工)
トマム橋
上部工

令和 7 年 3 月

東日本高速道路株式会社
北海道支社 帯広工事事務所

＜図面目録＞
（橋梁工）
トマム橋
上部工

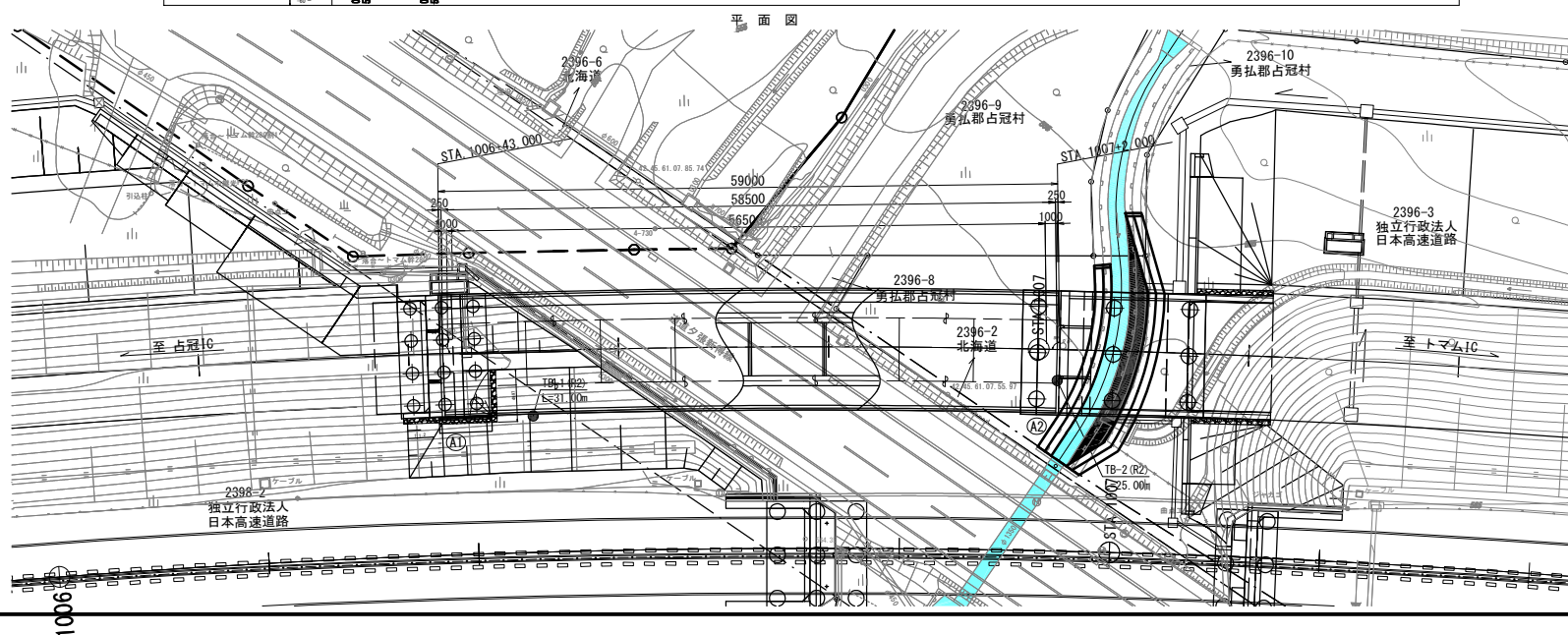
図面番号	図面名称	縮尺	備考
1	数量総括表	—	
2～3	橋梁一般図（その１）～（その２）	図示	
4	上部工構造一般図	図示	
5	線形図	図示	
6	支承配置図	図示	
7～8	断面構成図（その１～２）	図示	
9	製作キャンパー図	図示	
10～11	共通詳細図（その１～２）	図示	
12～14	主桁G１（その１～３）	図示	
15～17	主桁G２（その１～３）	図示	
18～19	スタッドジベル配置図（その１～２）	図示	
20～21	端支点上横桁（その１～２）	図示	
22	中間横桁	図示	
23～26	巻立てコンクリート（その１～４）	図示	
27～28	巻立てコンクリートスタッド配置図（その１～２）	図示	
29	PC鋼材配置図	図示	
30～36	床版配筋図（その１～７）	図示	
37～40	壁高欄配筋図（その１～４）	図示	
41～42	支承詳細図（その１～２）	図示	
43～44	伸縮装置（その１～２）	図示	
45	排水系統図	図示	
46～53	排水装置図（その１～８）	図示	
54	検査路系統図	図示	
55～59	上部工検査路（その１～５）	図示	
60	橋名板・橋歴板	図示	
61～62	落橋防止構造図（その１～２）	図示	
63～64	落下物防止柵（その１～２）	図示	
65	はく落防止対策工	図示	
66～67	コンクリート表面保護工（その１～２）	図示	
68～74	飛雪防止柵（その１～７）	図示	
75	塗装区分図	図示	

項 目	種 別		単 位	数 量	摘 要	
コンクリート	A1-1		m3	21.6	巻立てコンクリート部 (σck=30N/mm2)	
	A1-4		m3	43.9	壁高欄部 (σck=30N/mm2)	
	P2-2		m3	228.5	床版部 (σck=40N/mm2)	
	P2-2		m3	18.6	調整コンクリート (σck=40N/mm2)	
	合計		m3	312.6		
型わく	A	床版部	m2	615.8	床版部	
		床版部以外	m2	424.2	壁高欄部、巻立てコンクリート部	
		合計	m2	1040.0		
鉄筋	A	床版部	D13	t	-	SD345、重ね継手
			D16～D25	t	55.729	SD345、重ね継手
			合計	t	55.729	SD345、重ね継手
		床版以外	D13	t	1.733	SD345、重ね継手
			D16～D25	t	0.044	SD345、重ね継手
			D29～D32	t	3.036	SD345、重ね継手
	A(E)	床版部	合計	t	4.813	SD345、重ね継手
			D13	t	12.155	SD345、重ね継手、防錆処理鉄筋
			D16～D25	t	-	SD345、重ね継手、防錆処理鉄筋
		床版以外	合計	t	12.155	SD345、重ね継手、防錆処理鉄筋
			D13	t	4.452	SD345、重ね継手、防錆処理鉄筋
			D16～D25	t	3.818	SD345、重ね継手、防錆処理鉄筋
			D29～D32	t	0.314	SD345、重ね継手、防錆処理鉄筋
			合計	t	8.584	SD345、重ね継手、防錆処理鉄筋
PC鋼材引張	PC鋼より線 (TS28.6)S	kg	7282	プレグラウトPC鋼材 4.23kg/m		
鋼構造物の輸送	鋼橋の輸送 B		t	153.701		
	鋼橋の架設 B		t	27.984		
	鋼橋の架設 B (Y)		t	125.717		
	高力ボルト本締工		t	0.352		
	高力ボルト本締工 (Y)		t	1.502	高力ボルト組数 S10T (3080)組	
	鋼橋の現場溶接工		m	33.300		
支 承	E-4		箇所	2	固定型ゴム支承 (A1)	
	E-5		箇所	2	可動型ゴム支承 (A2)	
伸縮装置	E (S=250mm)		m	23.2		
排 水 装 置	排水ます A		箇所	4		
	排水管 A		m	11.5	硬質塩化ビニール排水管	
	排水管 G1		m	38.3	高密度ポリエチレン管 D180	
	排水管 G2		m	47.5	高密度ポリエチレン管 D250	
検 査 路	A1		t	5.640		
橋名板	-		箇所	1	アルミ製	
橋歴板	-		箇所	1	アルミ製	
落橋防止構造	A3		kg	194.0		
	A4		kg	289.8		
落下物防止柵	G1-2		m	48.7	壁高欄L、R側	
はく落防止対策工	A		m2	380.2	上組工	
表面保護工	コンクリート表面被覆工		m2	232.8	A1、A2橋台	
飛雪防止柵工	B1		m	44.2		
	B2		m	22.0		
	B3		m	2.0		
壁高欄カバープレート	B		枚	4.0		
地盤止水板工			m	117.0		

項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
鋼構造物の製作	製作材料費(鋼板) A	t	8.957	SS400、SM400
	製作材料費(鋼板) B	t	34.103	SM490、SM520
	製作材料費(鋼板) C	t	100.886	SM570
	製作材料費(形鋼) A	t	8.827	鋼板、スタッドジベル以外の材料
	製作材料費(スタッドジベル)	t	1.607	スタッドジベル(φ22、3185本)
	大型部材の製作	個	36	
		t	115.438	主桁、横桁のフランジ、ウェブ
	小型部材の製作	個	572	
		t	28.506	補剛材、ブラケット、仕口等
	T継手溶接工	m	498.0	主桁、横桁等のフランジ、ウェブ同士のT継手溶接実長
鋼構造物の防錆	鋼構造物の塗装 C-5(B)	m2	1228.2	中間横桁のH形鋼



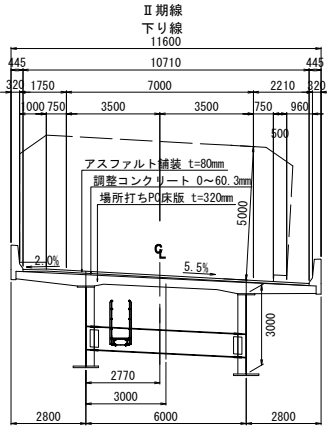
土層・岩相	記号	層高
盛土	bk	20
氾濫原堆積層 (粘性土層)	al-c	4
沖積段丘堆積物 (礫質土 上部層)	trl-g1	15
古期扇状地堆積物 (礫質土 上部層)	fd-g1	30
古期扇状地堆積物 (礫質土 下部層)	fd-g2	40



道東自動車道 中内橋(橋上部工)工事			
図面の種類	トマム橋(下り橋) 全体一般図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	2 /
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 中央支社 橋上部工事課		

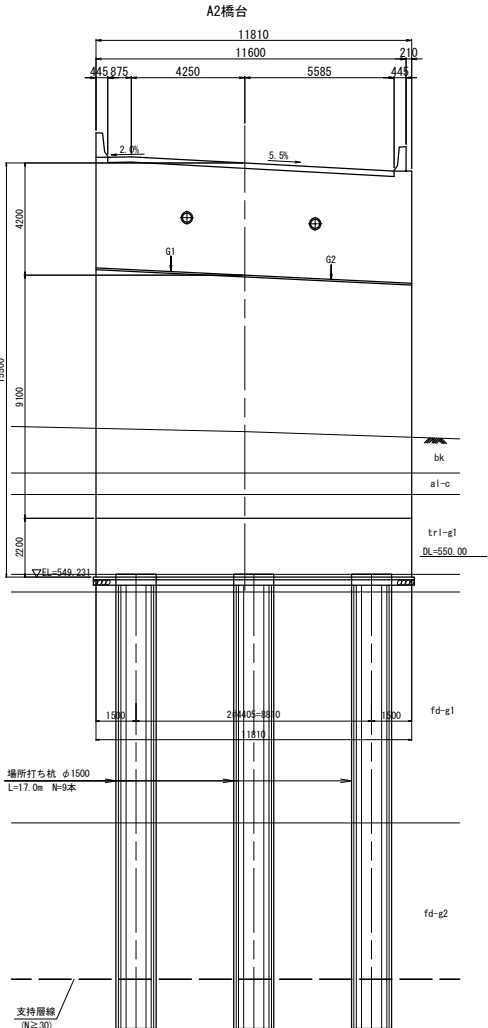
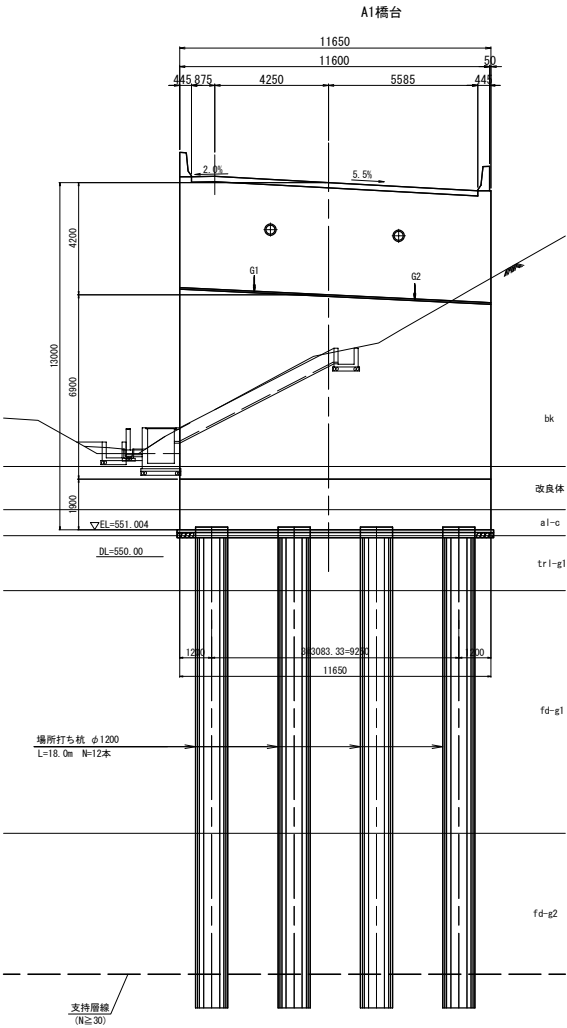
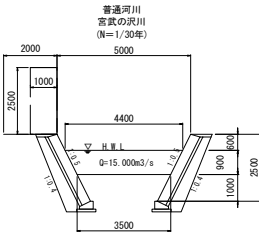
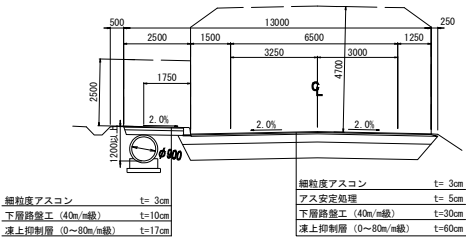
正 面 図 S=1:200

断 面 図 S=1:200



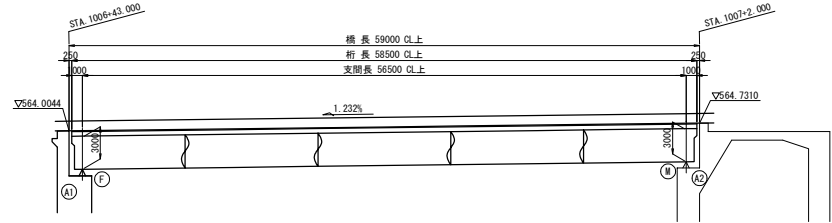
交 差 条 件 S=1:200

道運夕張新得線
土工定規図

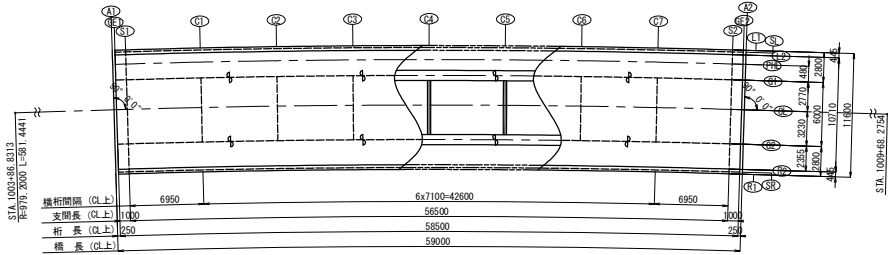


道 交 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 (下り線) 全体一般図 (その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	北海道支社 帯広工務事務所		

側面図



平面図

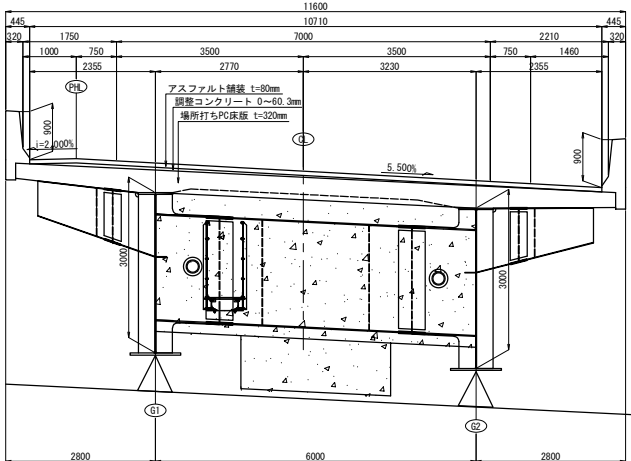


設計条件

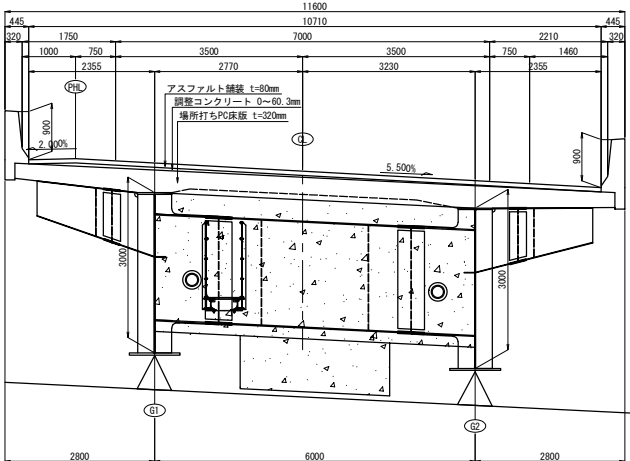
道路規格	第1種 第2級 B規格
設計速度	V=100km/h
形式	鋼単線橋桁橋 (少数主桁)
橋 長	59,000mm (CL上)
桁 長	58,500mm (CL上)
支 間 長	56,500mm (CL上)
幅員構成	全幅員: 11.600m 有効幅員: 10.900m
平面線形	R=979,200m
斜 角	A1 90° 00' 00" A2 90° 00' 00"
縦断勾配	i=1.232%
横断勾配	i=5.500% 路肩部 i=2.000%
支 承	A1: 固定支承 A2: 可動支承
舗 装	アスファルト舗装 t=80mm
床版形式	場所打ちPC床版 t=320mm
輸送制限	高床式セミトレーラー (L=13.5m W=18.0t)
架設工法	トラッククレーンベント架設工法
活 荷 重	B活荷重
死 荷 重	アスファルト舗装 22.5 kN/m ² 鉄筋コンクリート 24.5 kN/m ² 検査路 1.00 kN/m ² 遮音壁 (設置しない、荷重のみ) 1.45 kN/m ²
雪 荷 重	なし
温度変化範囲	-30℃~+50℃ (基準温度10℃) (上部工設計) -40℃~+40℃ (基準温度5℃) (伸縮装置、支承設計) 寒冷な地方
耐震設計条件	重要度区分 : B級の橋 耐震性能 : 耐震性能2 地域別補正係数 : C ₂ =0.85, C ₁ z=1.00, C _{II} z=0.85 (B2地域) 地震種別 : II 種地震
設計水平震度	L1 地震時K _h =0.21
設計耐久期間	100年
防 錆 防 食	普通鋼材+塗装
使 用 材 料	鋼 材 : SS400, SM400, SM490Y, SM570 ボルト : トルシヤ形高力ボルト M22 (S10T) 鉄 筋 : SD345 コンクリート : σ _{ck} =40 N/mm ² (床版) σ _{ck} =30 N/mm ² (巻き立てコンクリート) σ _{ck} =30 N/mm ² (壁高欄)
設 計 方 法	部分係数設計法
適 用 基 準	道路橋示方書・同解説 (平成29年11月) 設計要領第二集 (平成28年8月)

断面図 S=1:100

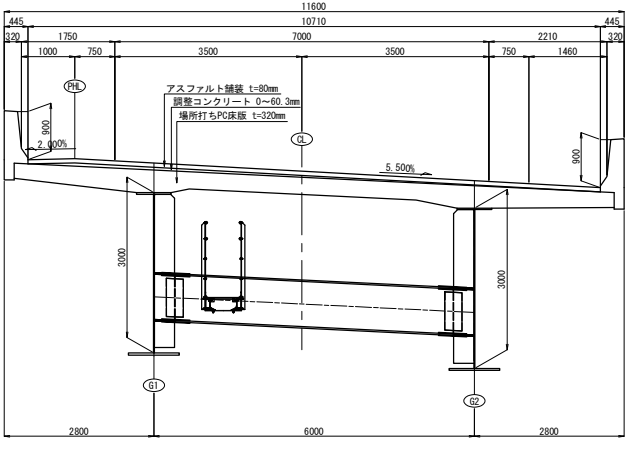
端支点上横桁S1



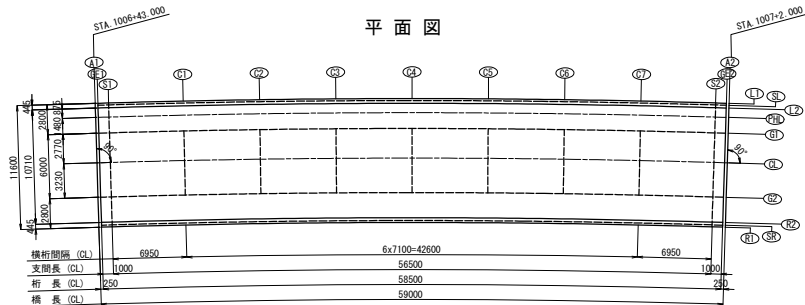
端支点上横桁S2



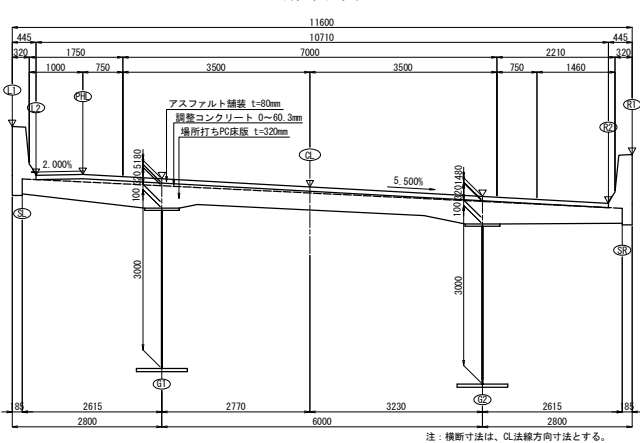
中間横桁C1~C7



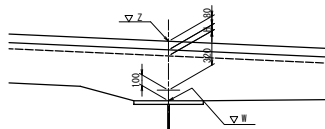
平面図



断面図 S=1:100

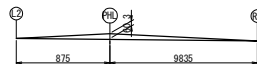


ハンチ高の設定 S=1:50



ハンチ高は床版下面からU-FLG上縁まで100mm一定とする。

調整コンクリート詳細図 S=1:50

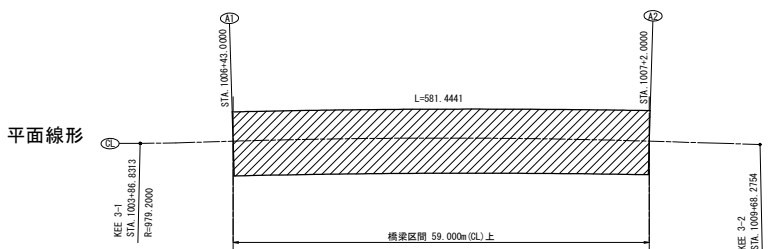


基本線形要素

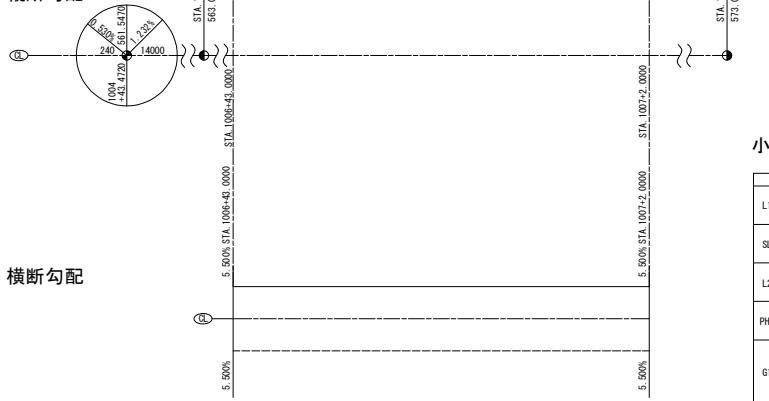
主要点座標値

主要点名	測点	X座標	Y座標	要素
KEE 3-1	1003+86.83130	-105105.085775	31782.045913	R=979.2000
KEE 3-2	1009+68.275409	-105259.335725	32333.830802	

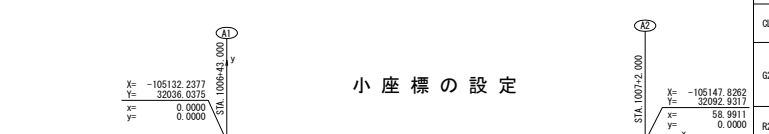
平面線形



縦断勾配



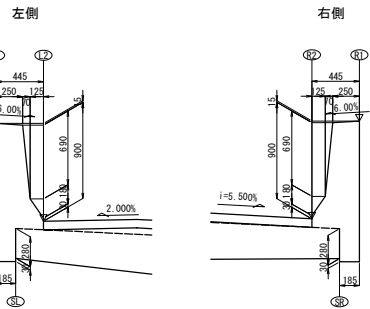
横断勾配



小座標の設定

- A1とCLとの交点を小座標系原点 (x=0, y=0) とする。
- A2とCLとの交点と小座標系原点を結ぶ直線をx軸とする。
- 小座標系原点を通り、x軸の法線をy軸とする。

壁高欄詳細図 S=1:50



小座標値及び路面計画高

	A1	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2	A2
L1	X -0.1678	0.0821	1.0817	8.0761	15.2153	22.3552	29.4955	36.6359	43.7758	50.9150	57.9094	58.9090	59.1589
	Y 5.5675	5.5750	5.6043	5.7814	5.9108	5.9884	5.9884	5.9108	5.7814	5.6043	5.5750	5.5675	5.5675
SL	Z 565.1356	565.1387	565.1509	565.2366	565.3241	565.4115	565.4990	565.5864	565.6738	565.7613	565.8470	565.8592	565.8623
	X -0.1622	0.0877	1.0872	8.0801	15.2179	22.3566	29.4955	36.6345	43.7731	50.9110	57.9038	58.9034	59.1533
	Y 5.5626	5.5901	5.6194	5.7964	5.9258	5.9935	5.9935	5.9155	5.7964	5.6194	5.5901	5.5626	5.5626
	Z 565.1356	565.1387	565.1509	565.2366	565.3241	565.4115	565.4990	565.5864	565.6738	565.7613	565.8470	565.8592	565.8623
L2	X -0.1544	0.0955	1.0951	8.0857	15.2217	22.3584	29.4955	36.6326	43.7694	50.9053	57.8960	58.8956	59.1455
	Y 5.1227	5.1302	5.1595	5.3365	5.4658	5.5435	5.5693	5.5435	5.4658	5.3365	5.1595	5.1302	5.1227
	Z 564.2206	564.2237	564.2360	564.3216	564.4091	564.4965	564.5840	564.6714	564.7589	564.8463	564.9320	564.9442	564.9473
	X -0.1280	0.1219	1.1214	8.1040	15.2244	22.3640	29.4955	36.6253	43.7617	50.8963	57.8896	58.8892	59.1191
PHL	Y 4.2481	4.2556	4.2849	4.4617	4.5909	4.6685	4.6943	4.6685	4.5909	4.4617	4.2849	4.2556	4.2481
	Z 564.2381	564.2412	564.2535	564.3391	564.4266	564.5140	564.6015	564.6889	564.7763	564.8638	564.9495	564.9617	564.9648
	X -0.0834	0.1664	1.1660	8.1370	15.2559	22.3755	29.4955	36.6156	43.7352	50.8641	57.8251	58.8246	59.0745
	Y 2.7887	2.7762	2.8056	2.9820	3.1111	3.1885	3.2143	3.1885	3.1111	2.9820	2.8056	2.7762	2.7887
G1	Z 564.1567	564.1598	564.1721	564.2577	564.3452	564.4326	564.5201	564.6075	564.6949	564.7824	564.8680	564.8803	564.8834
	H 0.0512	0.0512	0.0512	0.0512	0.0512	0.0512	0.0512	0.0512	0.0512	0.0512	0.0512	0.0512	0.0512
	W 563.8555	563.8586	563.8609	563.7065	563.7940	563.8814	563.9689	564.0563	564.1438	564.2312	564.3186	564.3291	564.3322
	X 0.0000	0.2499	1.2495	8.1972	15.2960	22.3956	29.4955	36.5955	43.6950	50.7939	57.7416	58.7412	58.9911
CL	Y 0.0000	0.0075	0.0369	0.2127	0.3414	0.4186	0.4443	0.4186	0.3414	0.2127	0.0369	0.0075	0.0000
	Z 564.0044	564.0075	564.0198	564.1054	564.1929	564.2803	564.3677	564.4552	564.5426	564.6300	564.7156	564.7280	564.7310
	X 0.0973	0.3472	1.3468	8.2675	15.3429	22.4190	29.4955	36.5721	43.6482	50.7236	57.6443	58.6439	58.8938
	Y -3.2285	-3.2210	-3.1917	-3.0166	-2.8883	-2.8113	-2.7857	-2.8113	-2.8883	-3.0166	-3.1917	-3.2210	-3.2285
G2	Z 563.8267	563.8298	563.8422	563.9277	564.0152	564.1026	564.1901	564.2775	564.3649	564.4524	564.5379	564.5503	564.5534
	H 0.0144	0.0144	0.0144	0.0144	0.0144	0.0144	0.0144	0.0144	0.0144	0.0144	0.0144	0.0144	0.0144
	W 563.3123	563.3154	563.3278	563.4133	563.5007	563.5882	563.6756	563.7631	563.8506	563.9380	564.0235	564.0359	564.0390
	X 0.1882	0.4181	1.4177	8.1387	15.3770	22.4581	29.4955	36.5251	43.6141	50.6724	57.5724	58.5720	58.8228
R2	Y -5.5825	-5.5750	-5.5456	-5.3710	-5.2430	-5.1663	-5.1407	-5.1663	-5.2430	-5.3710	-5.5456	-5.5750	-5.5825
	Z 563.6972	563.7003	563.7127	563.7982	563.8856	563.9731	564.0605	564.1480	564.2354	564.3229	564.4084	564.4208	564.4239
	X 0.1761	0.4260	1.4255	8.3244	15.3808	22.4380	29.4955	36.5531	43.6103	50.6667	57.5656	58.5651	58.8150
	Y -5.8423	-5.8348	-5.8055	-5.6309	-5.5030	-5.4263	-5.4007	-5.4263	-5.5030	-5.6309	-5.8055	-5.8348	-5.8423
SR	Z 564.6122	564.6153	564.6277	564.7132	564.8006	564.8881	564.9755	565.0630	565.1504	565.2379	565.3234	565.3358	565.3389
	X 0.1816	0.4315	1.4311	8.3284	15.3835	22.4393	29.4955	36.5518	43.6076	50.6627	57.5600	58.5596	58.8094
	Y -6.0273	-6.0198	-5.9904	-5.8159	-5.6880	-5.6112	-5.5857	-5.6112	-5.6880	-5.8159	-5.9904	-6.0198	-6.0273
	Z 564.6122	564.6153	564.6277	564.7132	564.8006	564.8881	564.9755	565.0630	565.1504	565.2379	565.3234	565.3358	565.3389

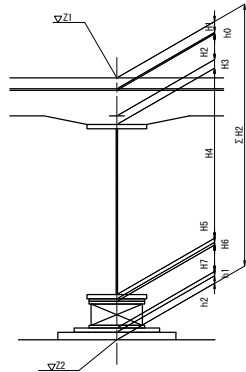
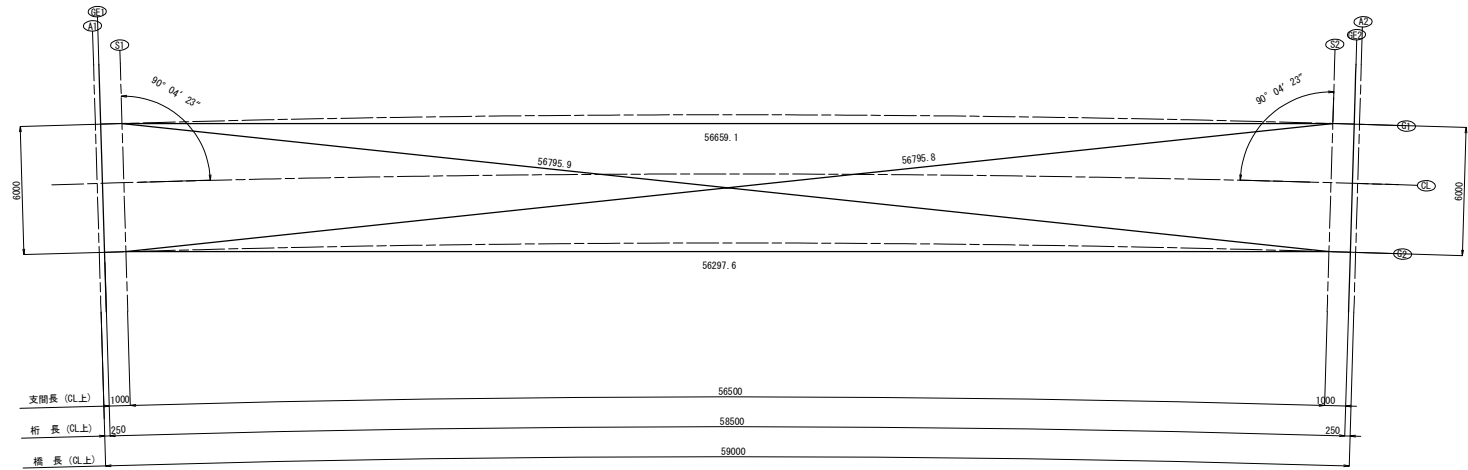
桁配置要領

- 橋台の設定
CL上で下記測点位置で、A1、A2共にCLに対して90°に設置する。
A1: STA 1006+43.000
A2: STA 1007+2.000
- 桁端線、支保線の設定
GE1: A1からA2に向かって、CL上で0.250mの位置を通る、A1の平行線とする。
S1: A1からA2に向かって、CL上で1.250mの位置を通る、A1の平行線とする。
GE2: A2からA1に向かって、CL上で0.250mの位置を通る、A2の平行線とする。
S2: A2からA1に向かって、CL上で1.250mの位置を通る、A2の平行線とする。
- 主桁の設定
G1: CLからL1側に 2770mmの平行線。
G2: CLからR1側に 3230mmの平行線。
- 横桁の設定
横桁配置は平面図に示す通りとし、CLに対して法線方向に設置する。

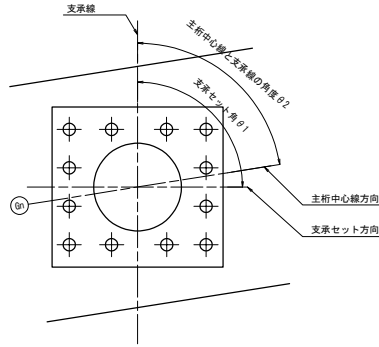
注記
1. 座標は全て小座標系である。
2. 記号の説明
K: Y: 平面線形
Z: 路面線形
H: 調整コンクリート厚
W: 主桁天端線高

道京自動車道 車内橋(鋼工)工事			
図面の種類	トママ橋 線形図		
縮尺	図示	図面番号	5 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

平面図



- Z1 路面計画高 (m)
H1 舗装厚
h0 舗装調整コンクリート
H2 床版厚
H3 ハンチ高
H4 主桁高
H5 下フランジ厚
H6 ソールプレート厚
H7 支承高
h1 調整プレート厚/モルタル厚
h2 台座コンクリート高
ΣH2 構造高合計
Z2 下部工天端高 (m)



支承位置平面座標

		世界測地系 (m)			
		S1		S2	
		X	Y	X	Y
大座標	G1	-105129.8399	32037.9035	-105144.8122	32092.5485
	G2	-105135.0716	32036.4930	-105150.5495	32090.7894
小座標	G1	1.1660	-2.8056	57.8251	-2.8056
	G2	1.3468	-3.1917	57.6443	-3.1917

支点構造高表

		(m)			
トマム橋		A1 (S1)		A2 (S2)	
		G1	G2	G1	G2
路面計画高	Z1	564.172	563.842	564.868	564.538
床版上面高		564.041	563.748	564.737	564.444
舗装厚	H1	0.080	0.080	0.080	0.080
舗装調整コンクリート	h0	0.051	0.014	0.051	0.014
床版厚	H2	0.320	0.320	0.320	0.320
ハンチ高	H3	0.100	0.100	0.100	0.100
主桁高	H4	3.000	3.000	3.000	3.000
下フランジ厚	H5	0.041	0.033	0.037	0.036
ソールプレート厚	H6	0.043	0.043	0.043	0.043
支承高	H7	0.421	0.421	0.452	0.452
ΣH1		4.056	4.011	4.083	4.045
調整モルタル厚	h1	0.030	0.030	0.030	0.030
台座高	h2	0.185	0.193	0.127	0.128
構造高合計	ΣH2	4.271	4.234	4.240	4.203
下部工天端高	Z2	559.901	559.608	560.628	560.335

支承セット角

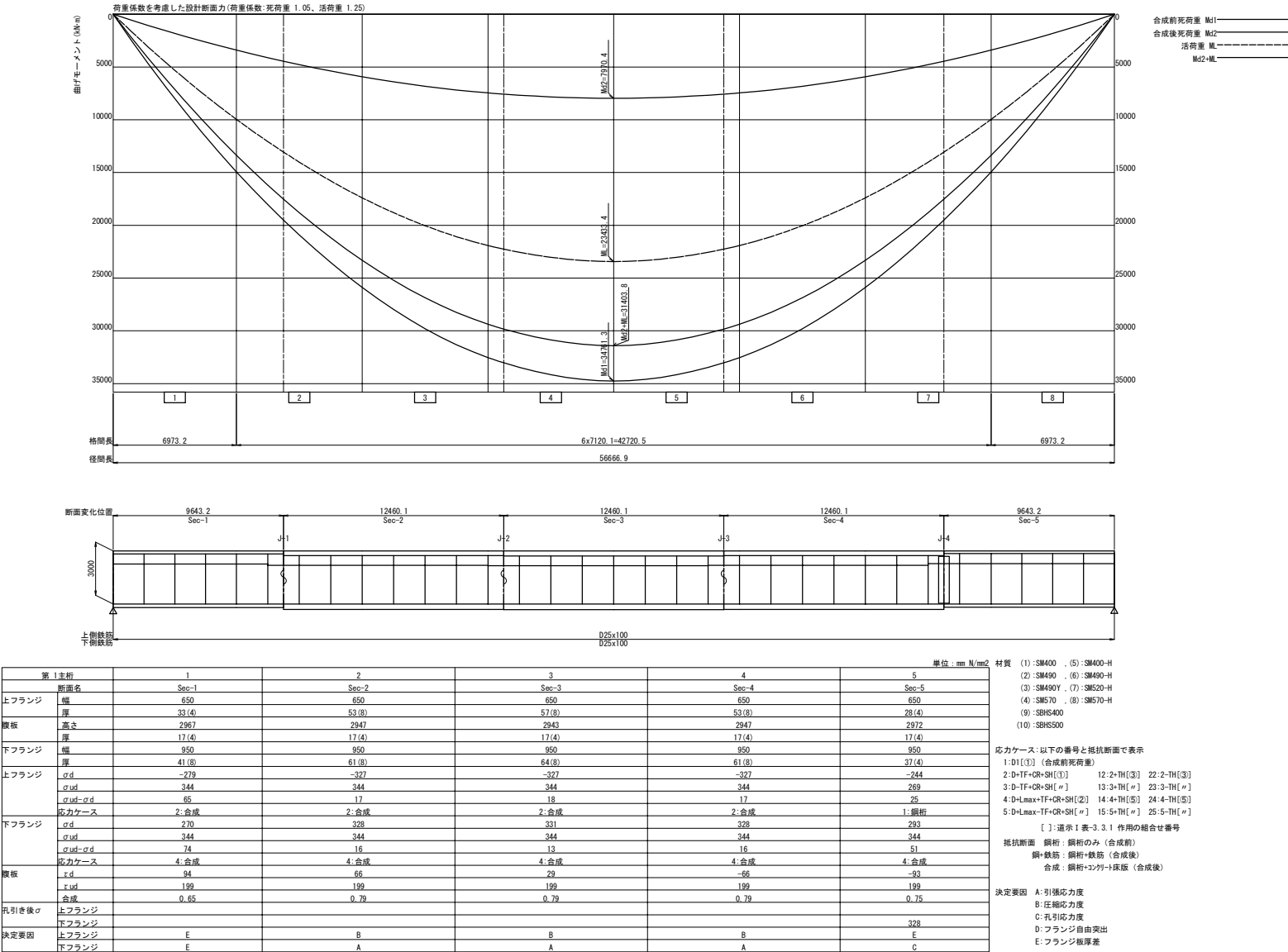
θ1	S1	S2
G1	90° 00' 00"	90° 00' 00"
G2	90° 00' 00"	90° 00' 00"

主桁中心線と支承線の角度

θ2	S1	S2
G1	90° 04' 23"	89° 55' 37"
G2	90° 04' 24"	89° 55' 36"

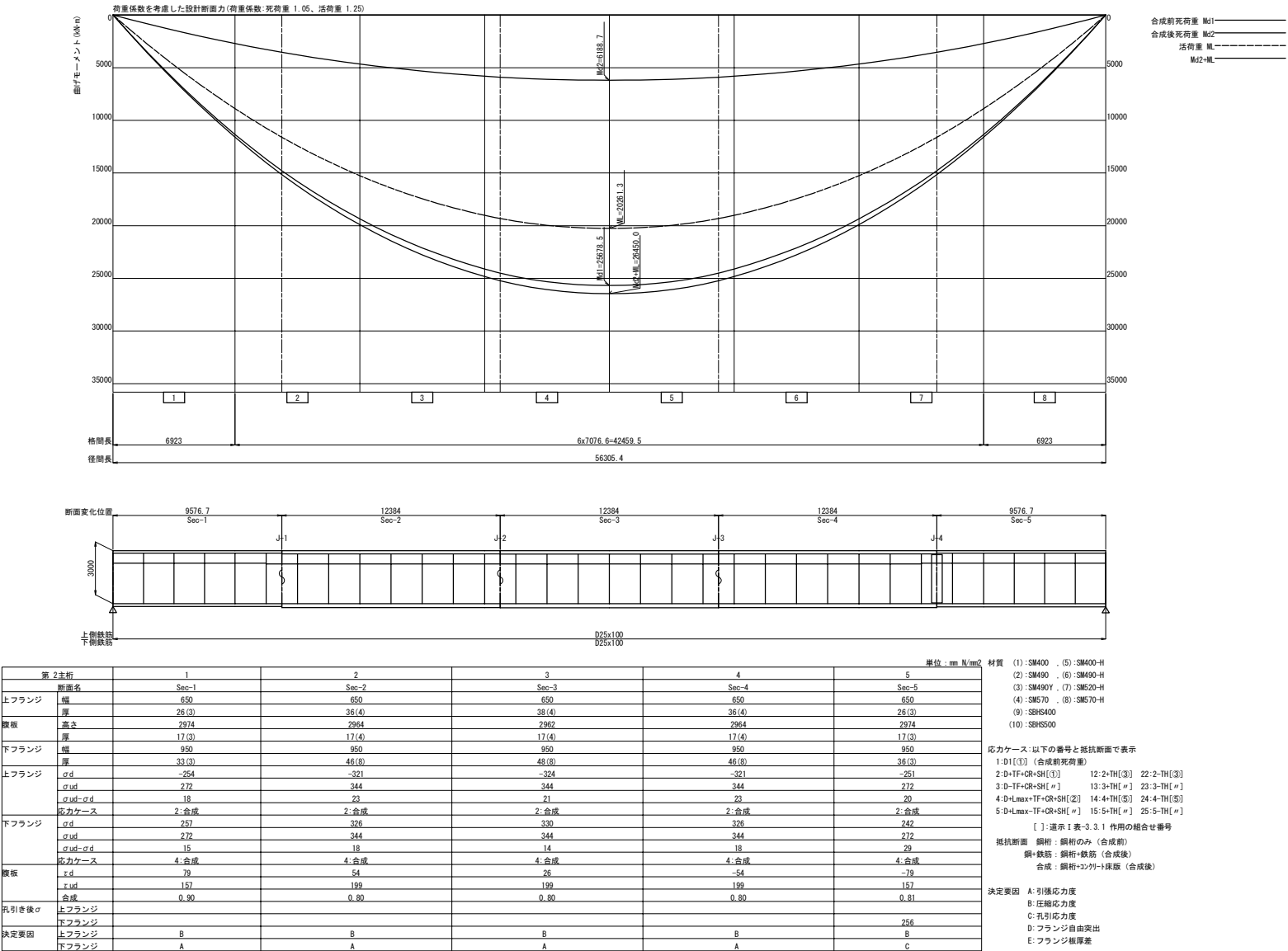
道 交 自 動 車 道				
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
図面の種類	トマム橋			
	支承配置図			
縮 尺	図示	図面番号	6 / 75	
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

G1

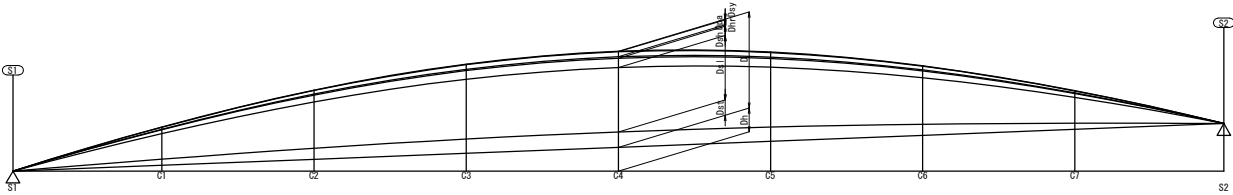


道 交 自 動 車 道			
単 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 断面構成図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	7 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

G2



道 交 自 動 車 道			
単 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋		
	断面構成図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	8 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

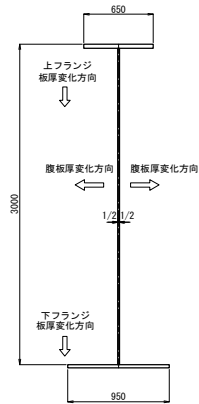


		単位 mm									
G1	Dh	0.0	85.6	173.1	260.5	348.0	435.4	522.9	610.3	695.9	
	Dst	0.0	17.7	32.2	41.6	44.9	41.7	32.4	17.9	0.0	
	Dal	0.0	74.6	135.5	175.0	188.6	175.4	136.2	75.5	0.0	
	Dsh	0.0	11.5	20.1	25.3	27.1	25.3	20.1	11.6	0.0	
	Dhr	0.0	1.6	3.0	3.9	4.2	3.9	3.0	1.6	0.0	
	Dna	0.0	5.7	10.4	13.5	14.5	13.5	10.4	5.7	0.0	
	Dsv	0.0	0.7	1.3	1.6	1.8	1.6	1.3	0.7	0.0	
	D	0.0	111.9	202.5	261.0	281.1	261.4	203.4	113.1	0.0	
	Dh	0.0	85.5	173.0	260.4	347.9	435.3	522.8	610.2	695.8	
	Dst	0.0	17.1	31.3	40.5	43.6	40.4	31.2	17.1	0.0	
G2	Dal	0.0	70.4	128.6	166.3	179.2	166.2	128.4	70.1	0.0	
	Dsh	0.0	11.7	20.5	25.8	27.6	25.8	20.4	11.7	0.0	
	Dhr	0.0	1.5	2.7	3.4	3.7	3.4	2.7	1.4	0.0	
	Dna	0.0	5.2	9.6	12.5	13.4	12.5	9.6	5.2	0.0	
	Dsv	0.0	0.6	1.1	1.5	1.6	1.5	1.1	0.6	0.0	
	D	0.0	106.5	193.7	249.9	269.1	249.8	193.4	106.2	0.0	
	Dh	0.0	85.5	173.0	260.4	347.9	435.3	522.8	610.2	695.8	
	Dst	0.0	17.1	31.3	40.5	43.6	40.4	31.2	17.1	0.0	
	Dal	0.0	70.4	128.6	166.3	179.2	166.2	128.4	70.1	0.0	
	Dsh	0.0	11.7	20.5	25.8	27.6	25.8	20.4	11.7	0.0	

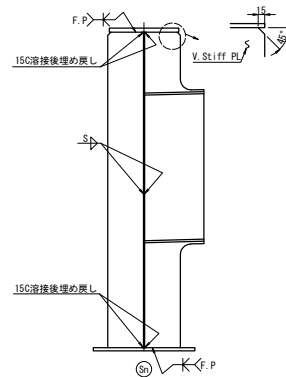
記号の説明
Dh : 縦断勾配
Dst : 縦重+検査路
Dal : 床版+ハンデ+型枠+調整コンクリート+床版端部打下し+桁端荷重+1+巻立
Dsh : 縦重+検査路+クレーン
Dhr : 縦重+検査路+クレーン
Dna : 縦重+検査路+クレーン
Dsv : 縦重+検査路
D : 合計
※たわみは荷重係数を乗じていない特性値。後死荷重によるたわみ値は、床版を考慮した合成断面による剛性で算出。

道 交 自 動 車 道 単 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類		トマム橋 製作キャンバー図	
縮 尺	図示	図面番号	9 / 75
設計会社名		中央コンサルタンツ株式会社	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所	

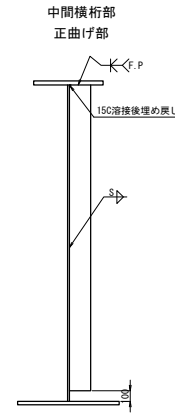
主桁基本寸法及び板厚変化方向



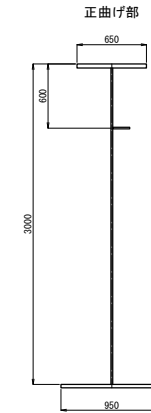
支点上横桁取り付け部の垂直補剛材



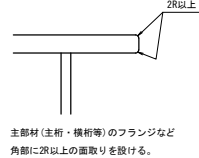
垂直補剛材



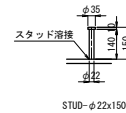
水平補剛材設置位置



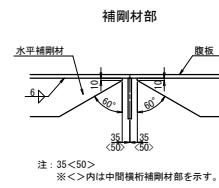
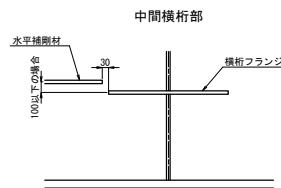
面取り詳細図



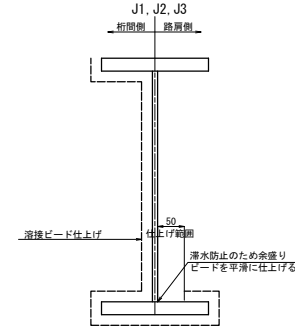
スタッド配置詳細 S=1:25



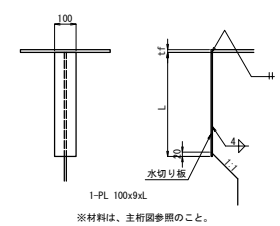
水平補剛材詳細 S=1:25



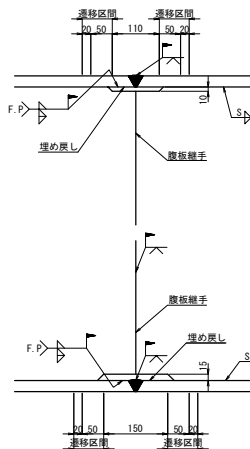
主桁現場溶接部仕上げ詳細 S=1:10



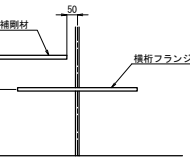
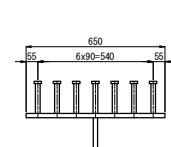
桁端部水切り板詳細 S=1:25



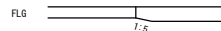
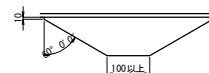
主桁現場溶接部詳細 J1, J2, J3



スタッドジベル詳細 S=1:25

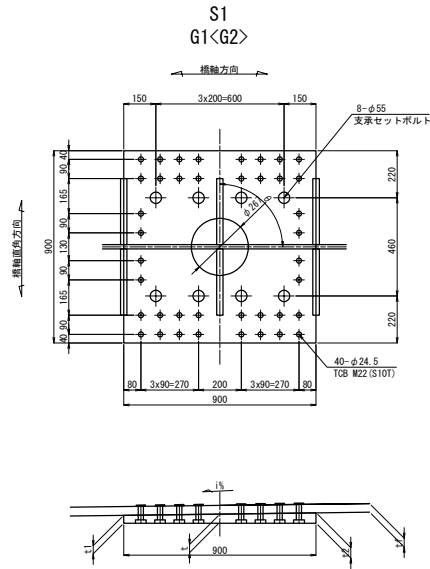


水平補剛材加工要領

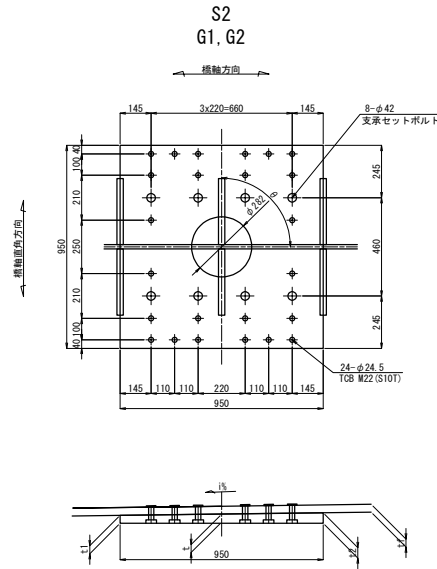


- 注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全て50Rとする。
3. ※印材料は架設工数量として計上する。

道 京 自 動 車 道 単 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
図面の種類	トマム橋 共通詳細図(その1)			
縮 尺	図示	図面番号	10 / 75	
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

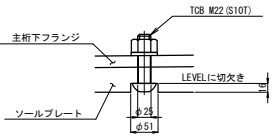


主桁下フランジ厚---tf
1-SOLE PL 900x1x900 (SM490C)
G1, G2
8-TCB M22xL1 (S10T)
4-TCB M22xL2 (S10T)
4-TCB M22xL3 (S10T)
4-TCB M22xL4 (S10T)
4-TCB M22xL5 (S10T)
4-TCB M22xL6 (S10T)
4-TCB M22xL7 (S10T)
8-TCB M22xL8 (S10T)



主桁下フランジ厚---tf
1-SOLE PL 950x1x950 (SM490C)
G1, G2
6-TCB M22xL1 (S10T)
2-TCB M22xL2 (S10T)
4-TCB M22xL3 (S10T)
4-TCB M22xL4 (S10T)
2-TCB M22xL5 (S10T)
6-TCB M22xL6 (S10T)

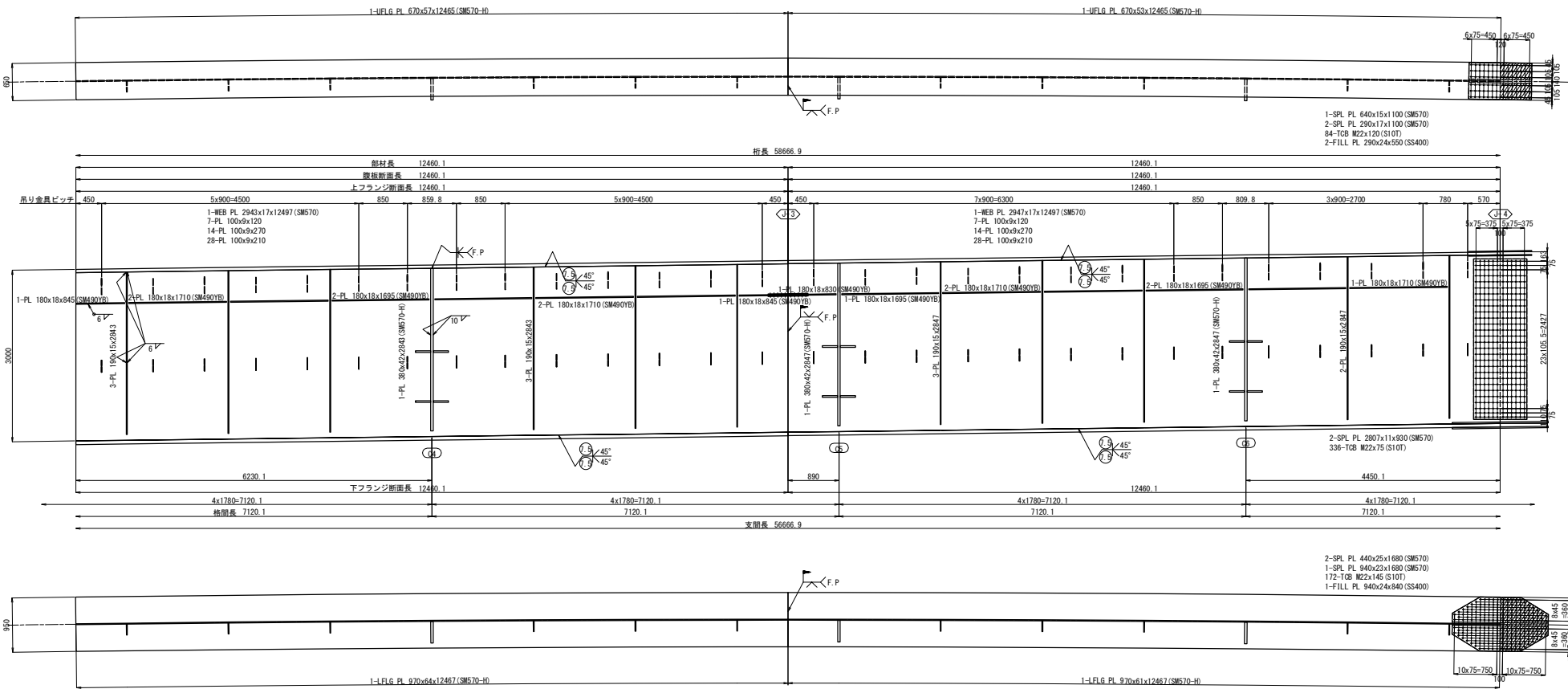
座ぐり孔詳細 S=1:10



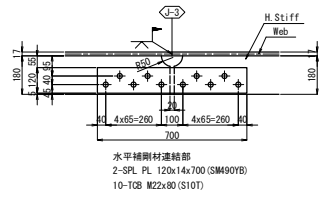
		縦断勾配		中心厚	左厚	右厚	材料厚	下フランジ厚		ボルト長								主桁中心線と支承線の角度	
		i	t		t1	t2	T	tf		LL1	LL2	LL3	LL4	LL5	LL6	LL7	LL8	θ	
S1	G1	1.229%	43	37.5	48.5	51	41	33	100	100	100	100	100	100	100	100	100	90° 04' 23"	
	G2	1.227%	43	37.4	48.6	51	33	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	90° 04' 24"	
S2	G1	1.229%	43	37.2	48.8	51	37	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	88° 55' 37"	
	G2	1.238%	43	37.1	48.9	51	36	100	105	105	105	105	105	105	105	105	105	89° 55' 36"	

注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全て50Rとする。
3. ※印材料は架設工数量として計上する。

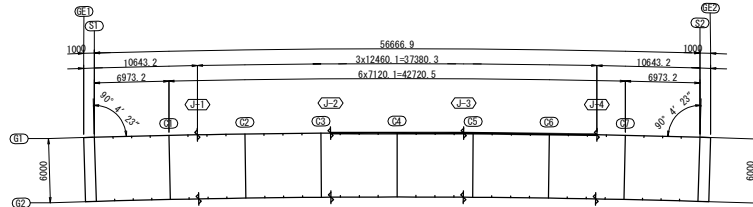
道 東 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
図面の種類	トマム橋 共通詳細図(その2)			
	縮 尺	図示	図面番号	11 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			



水平補剛材継手詳細 S=1:25



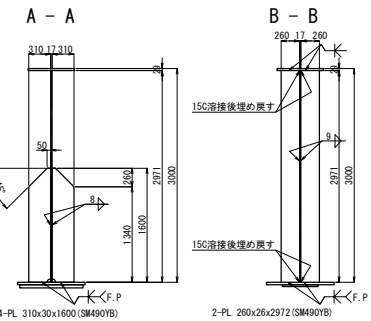
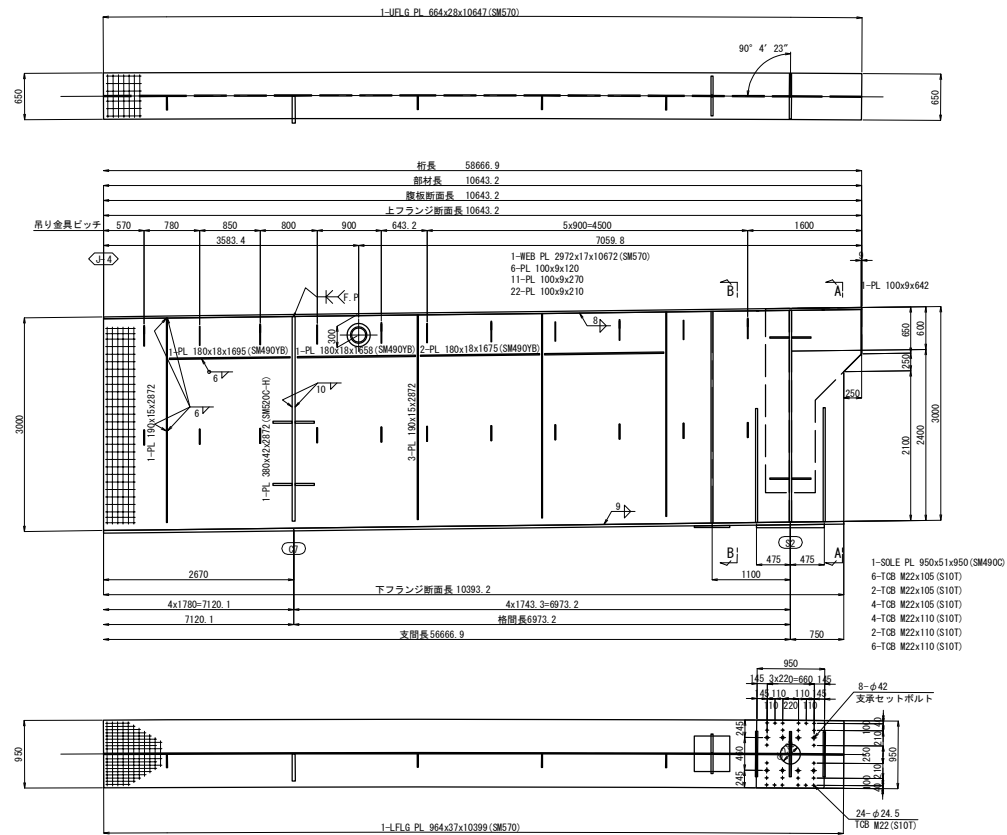
配置図



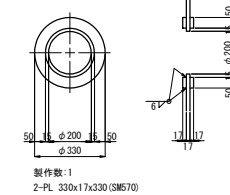
注記

- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーップは全て50Rとする。
- ボルト印はTGB (S10T) M22を示す。

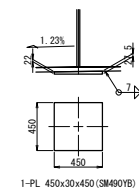
道 交 自 動 車 道			
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋		
	主桁G1 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	13 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		



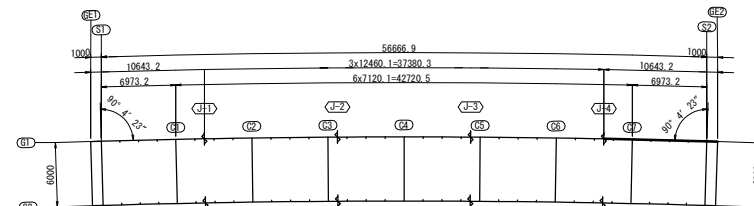
排水開孔詳細 S=1:25



ジャッキアップベース詳細 S=1:50

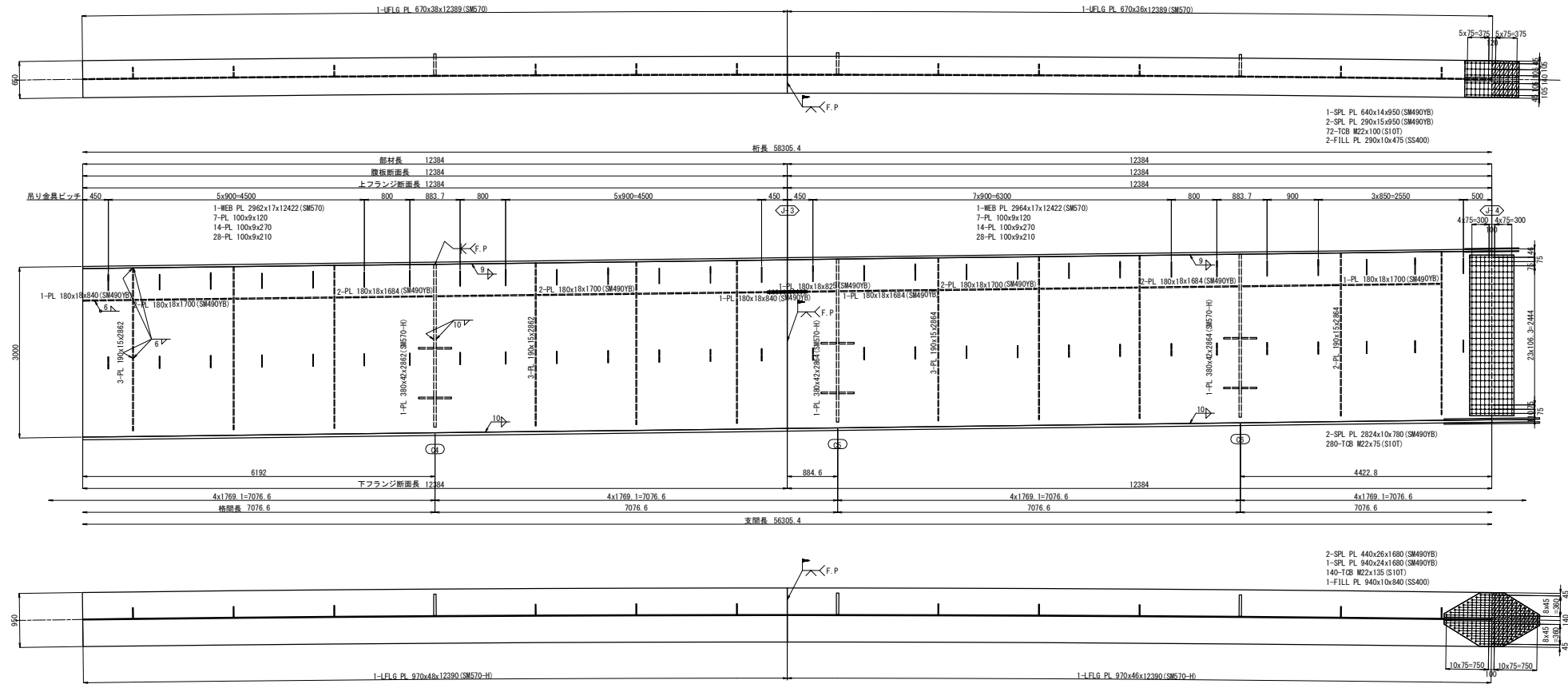


配置図

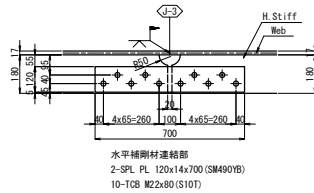


注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーップは全て50Rとする。
3. ボルト印はTGB (S10T) M22を示す。

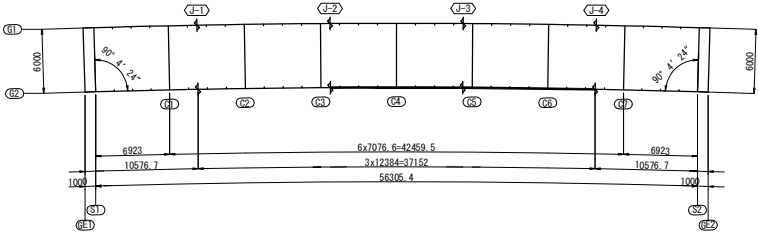
道 東 自 動 車 道			
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 主桁G1(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	14 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



水平補剛材継手詳細 S=1:25



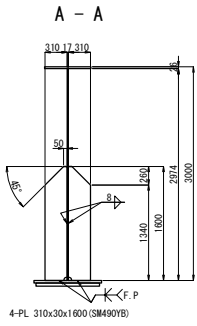
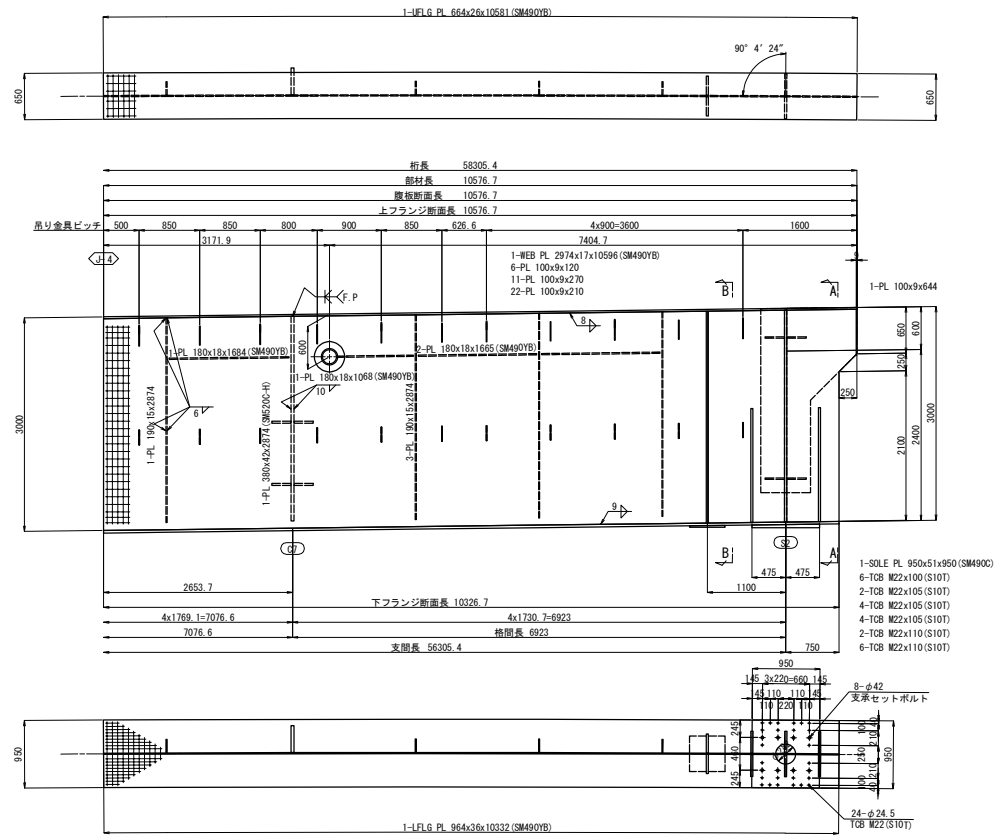
配置図



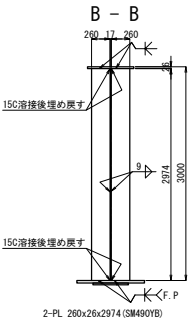
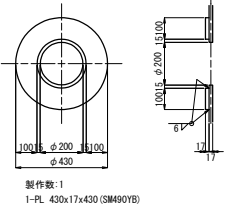
注記

- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーップは全て50Rとする。
- ボルト印はTCB(S10T)M2を示す。

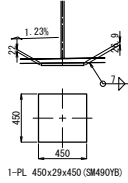
道東自動車道			
車内橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	トマム橋		
縮尺	図示	図面番号	16 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		



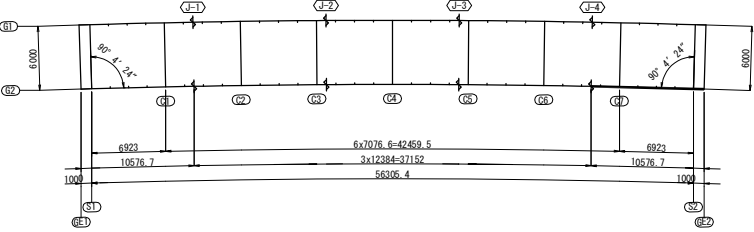
排水開孔詳細 S=1:25



ジャッキアップベース詳細 S=1:50



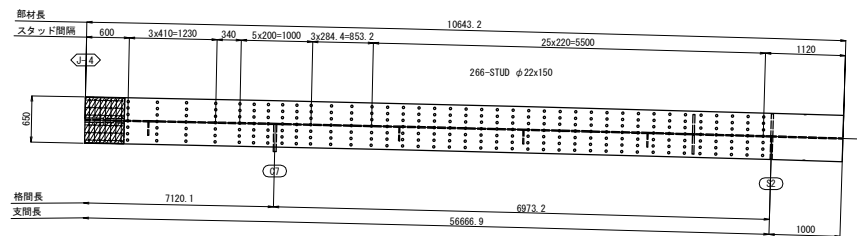
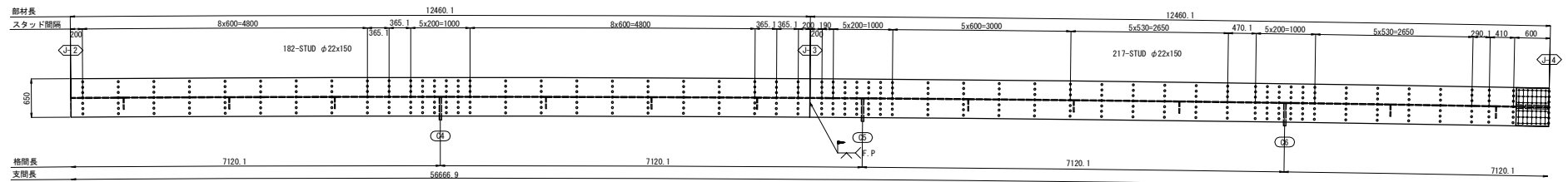
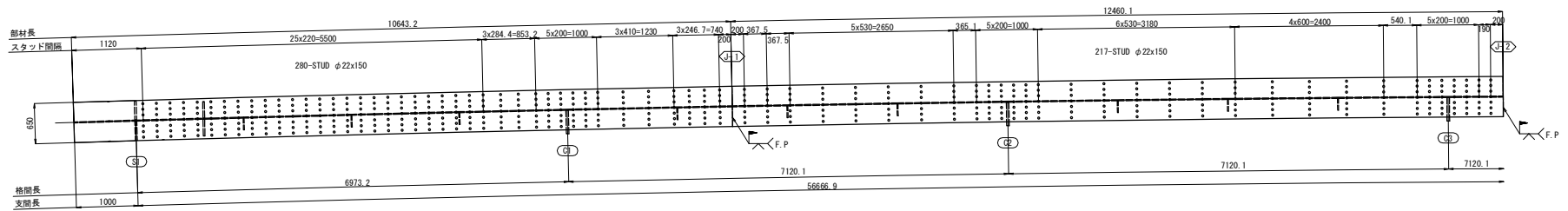
配置図



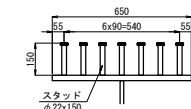
道東自動車道
車内橋(鋼上部工)工事

図面の種類	トマム橋 主桁G2(その3)
縮尺	図示 図面番号 17 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所

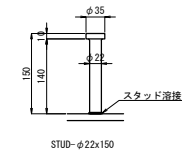
G1



スタッド配置詳細 S=1:25



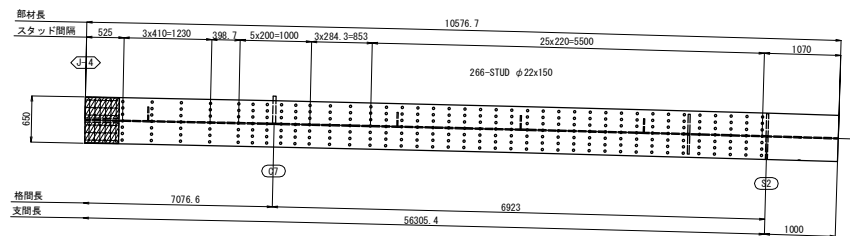
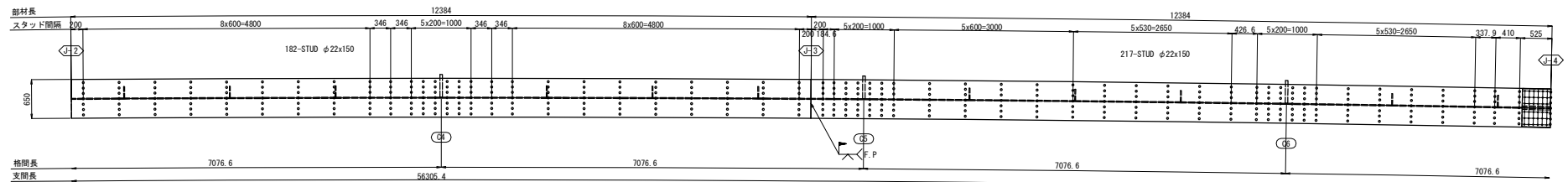
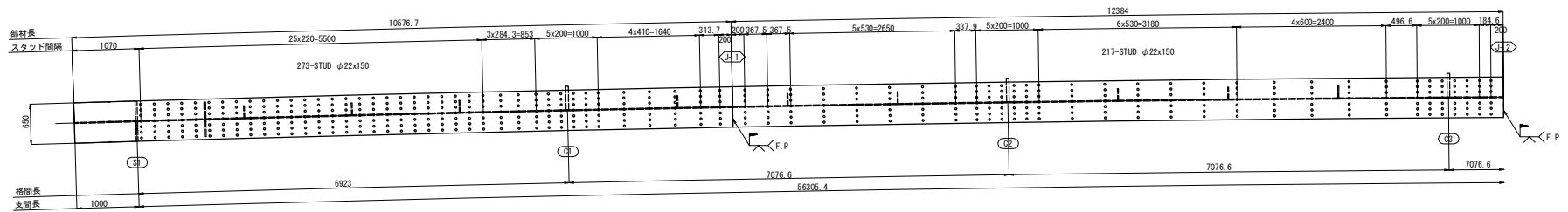
スタッドジベル詳細 S=1:10



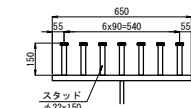
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 主桁上フランジ現場溶接付近のスタッド溶接は、製作時に位置を調整したうえで溶接とする。

道 東 自 動 車 道			
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 主桁スタッド配置図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	18 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

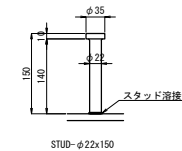
G2



スタッド配置詳細 S=1:25



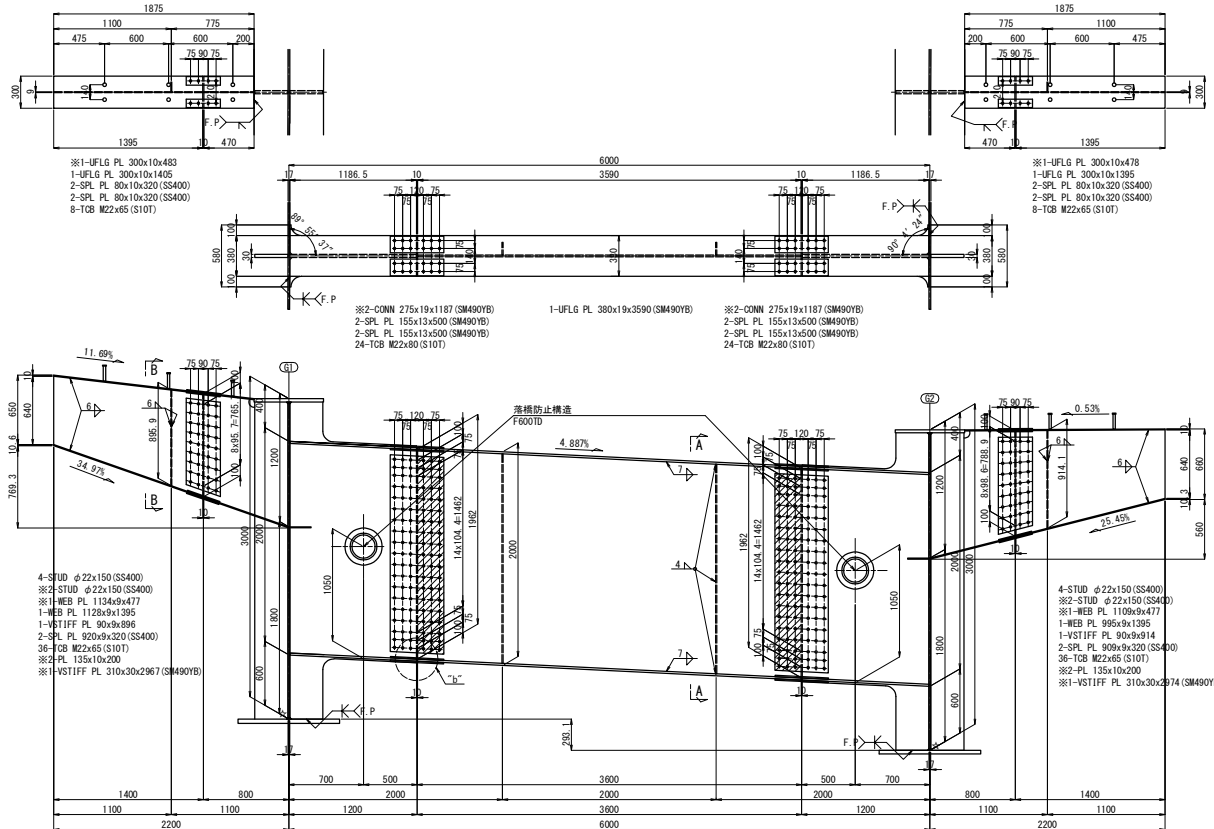
スタッドジベル詳細 S=1:10



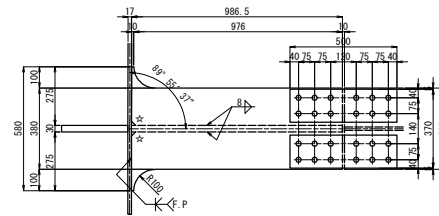
注記
 1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. 主桁上フランジ現場溶接付近のスタッド溶接は、製作時に位置を調整したうえで溶接とする。

道 東 自 動 車 道				
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
図面の種類	トマム橋 主桁スタッド配置図(その2)			
縮 尺	図示	図面番号	19 / 75	
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所			

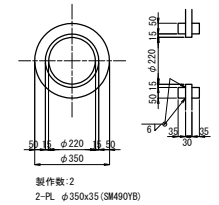
S1



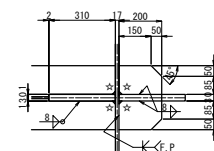
フランジ連結部詳細 S=1:25



PCケーブル貫通孔 S=1:25



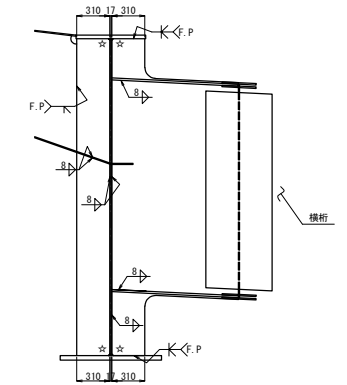
"a"部詳細 S=1:25



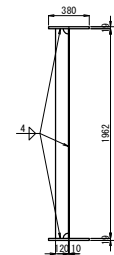
"b"部詳細 S=1:25



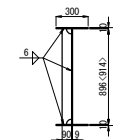
主桁V-STIFFと横桁FLG及び
ブラケットFLGとの溶接詳細



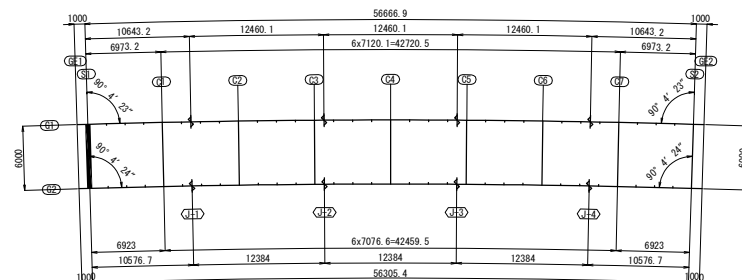
A - A



B - B



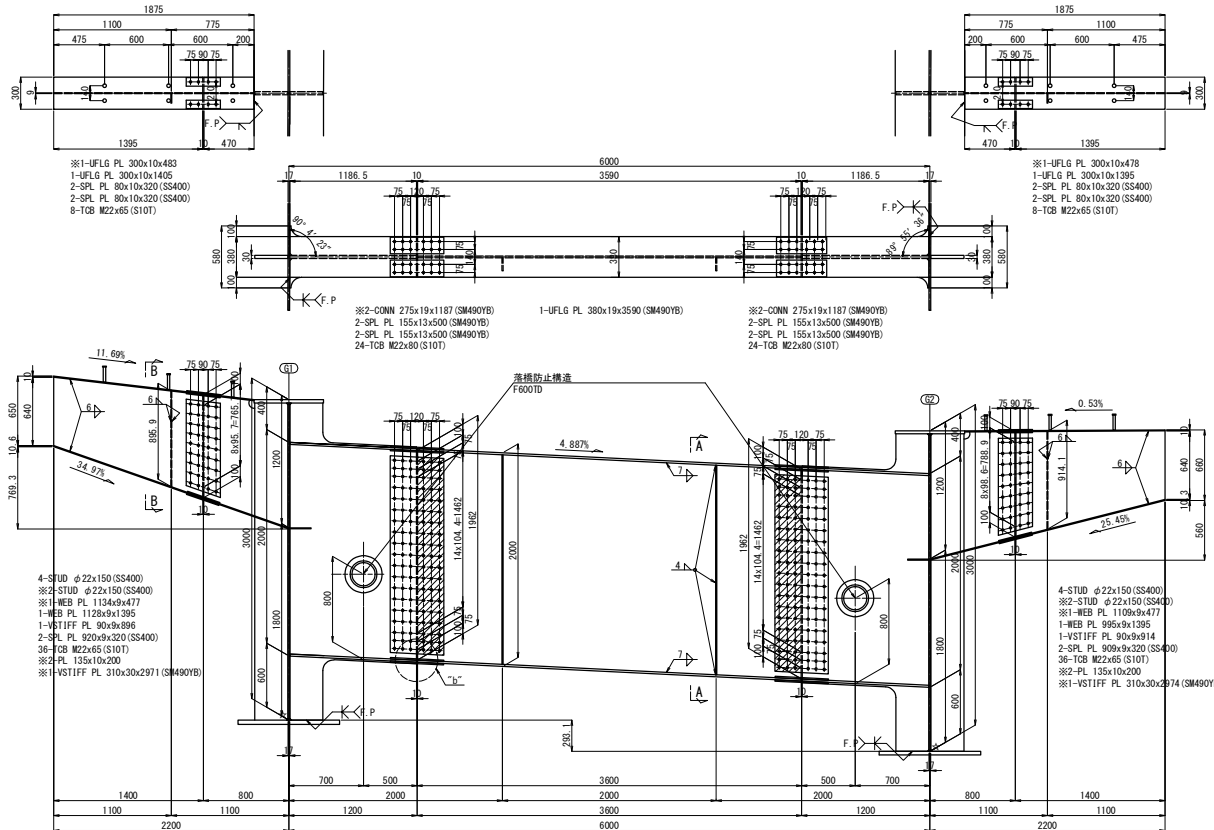
配置図



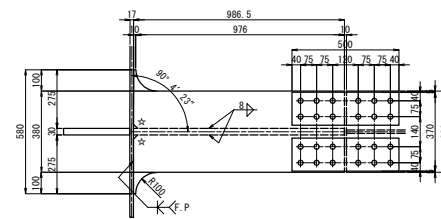
- 注記
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカラーは全て50Rとする。
 - ボルト印はTCB (S10T) M22を示す。
 - ※印付きの数量は主桁にて計上すること。
 - ※印は、15C溶接後処理とする。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。

道東自動車道 車内橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	トマム橋 端支点上横桁(その1)		
縮尺	図示	図面番号	20 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

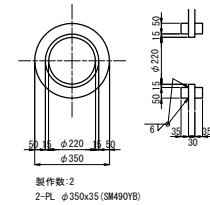
S2



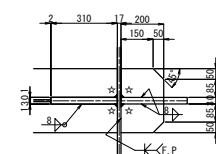
フランジ連結部詳細 S=1:25



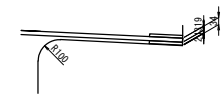
PCケーブル貫通孔 S=1:25



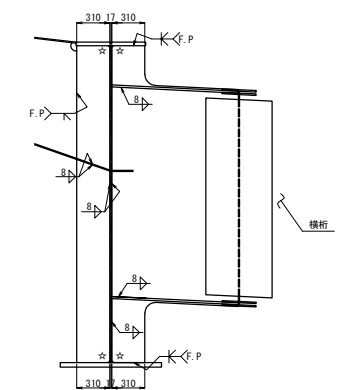
"a"部詳細 S=1:25



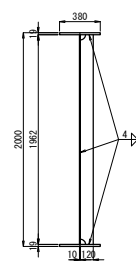
"b"部詳細 S=1:25



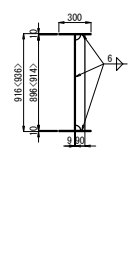
主桁V-STIFFと横桁FLG及び
ブラケットFLGとの溶接詳細



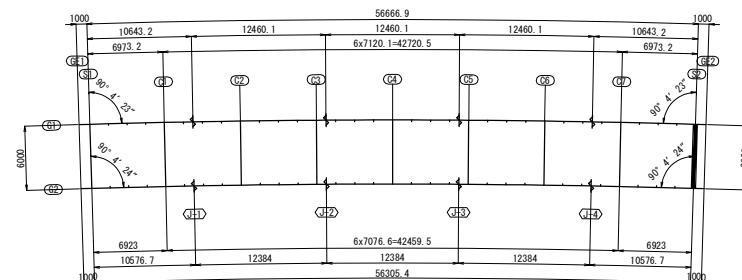
A - A



B - B



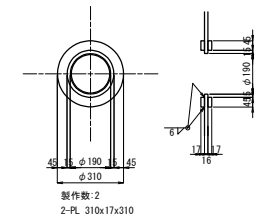
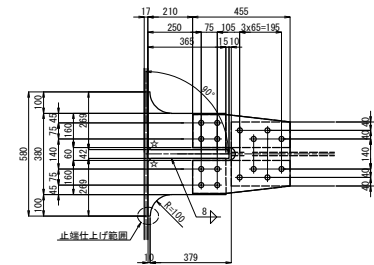
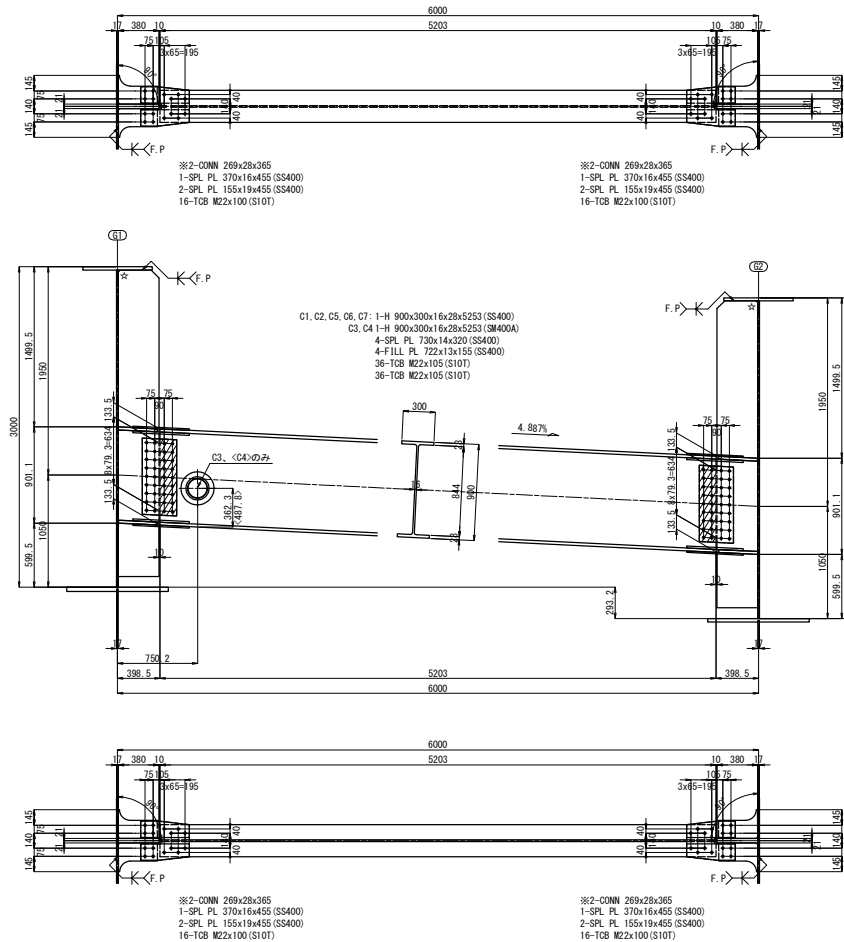
配置図



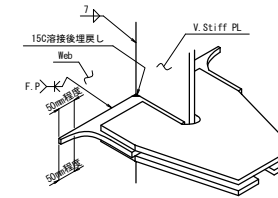
- 注記
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカラーは全て50Rとする。
 - ボルト印はTCB (S10T) W22を示す。
 - ※印付きの数量は主桁にて計上すること。
 - ※印付きは、15C溶接後処理の度とする。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。

道東自動車道 車内橋(鋼工)工事			
図面の種類	トマム橋 端支点上横桁(その2)		
縮尺	図示	図面番号	21 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工務事務所		

排水開孔詳細 S=1:25



溶接仕上げ範囲詳細

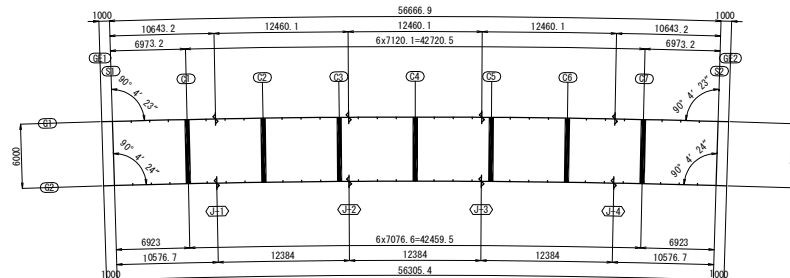


注) まわし溶接を含むConn. PL端部付近の腹板側の溶接止端部は、肉盛溶接後滑らかにグラインダーで仕上げる。

止端仕上げ範囲



配置図



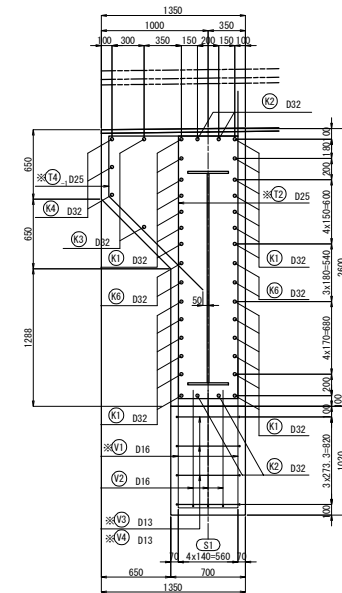
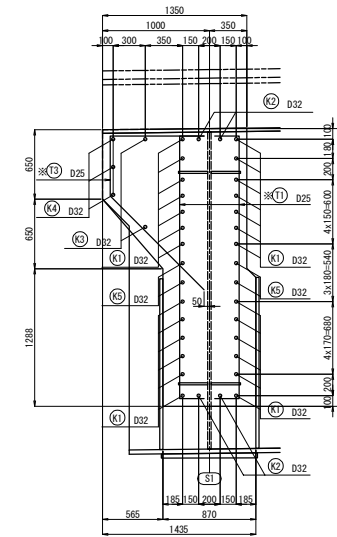
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
 3. ボルト印はTCB (S10T) M22を示す。
 4. ※印付きの数量は主桁にて計上のこと。
 5. ☆印部は、15C溶接後埋め戻しとする。
 6. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。

道 東 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 中間橋桁		
縮 尺	図示	図面番号	22 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 専任工事事務所		

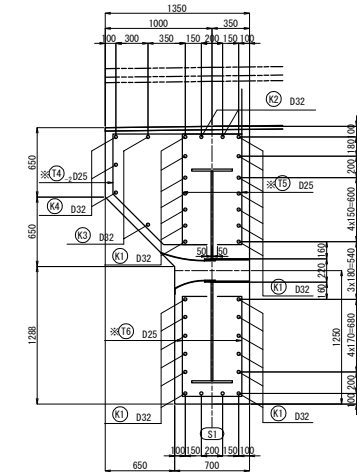
S1

C - C

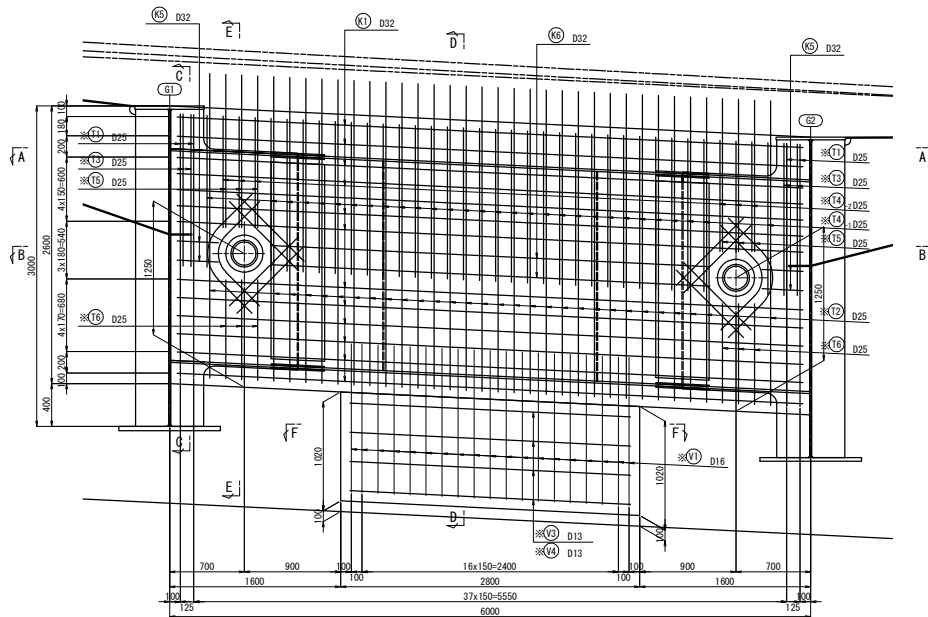
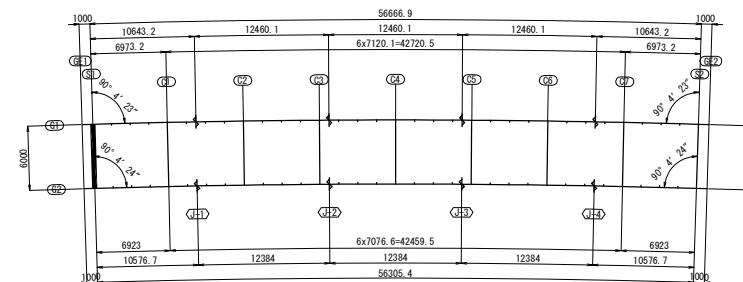
D - D



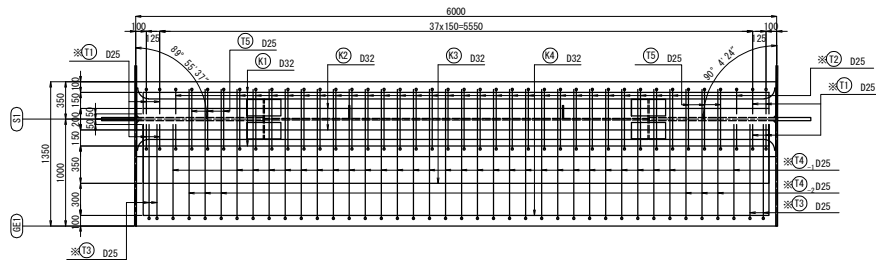
E - E



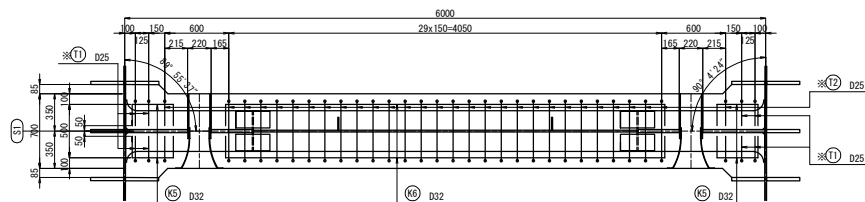
配置図



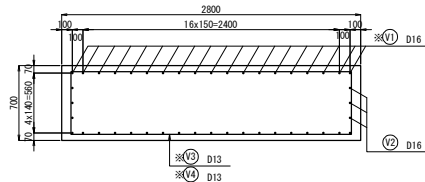
A - A



B - B



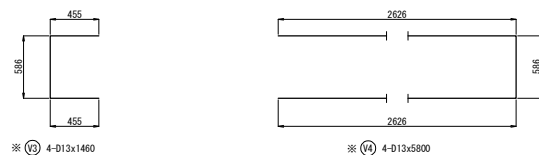
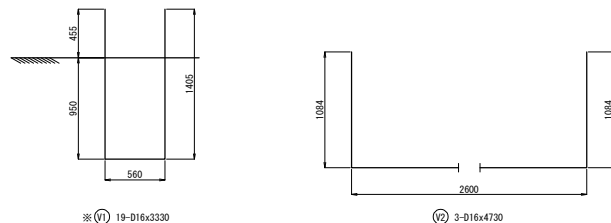
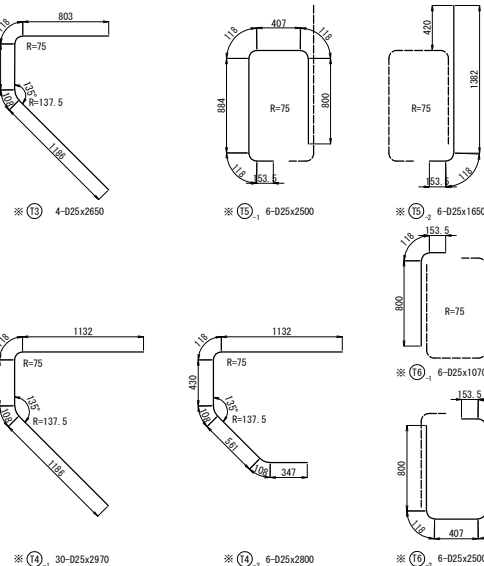
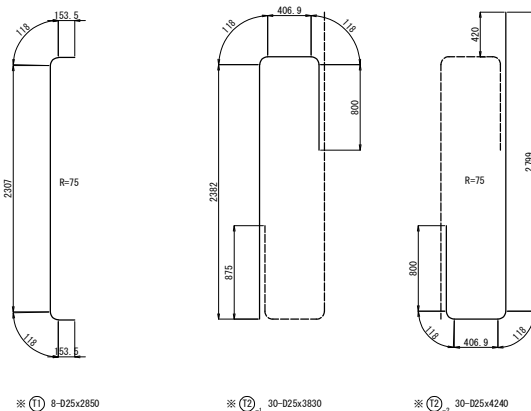
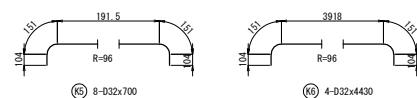
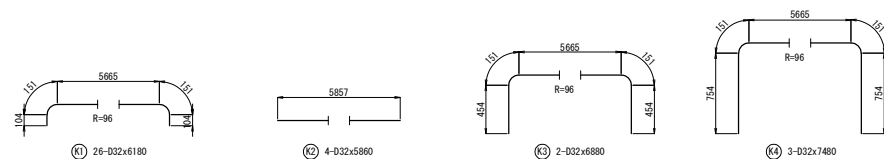
F - F



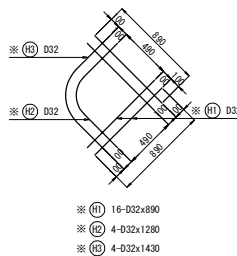
- 注記
1. 特記なき鉄筋材質は、全てSD345とする。
2. コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N}/\text{mm}^2$ とする。
3. ※印鉄筋は、防錆処理鉄筋とする。

道 京 自 動 車 道			
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 巻き立てコンクリート(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	23 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工務事務所		

S1



PCケーブル開口部補強



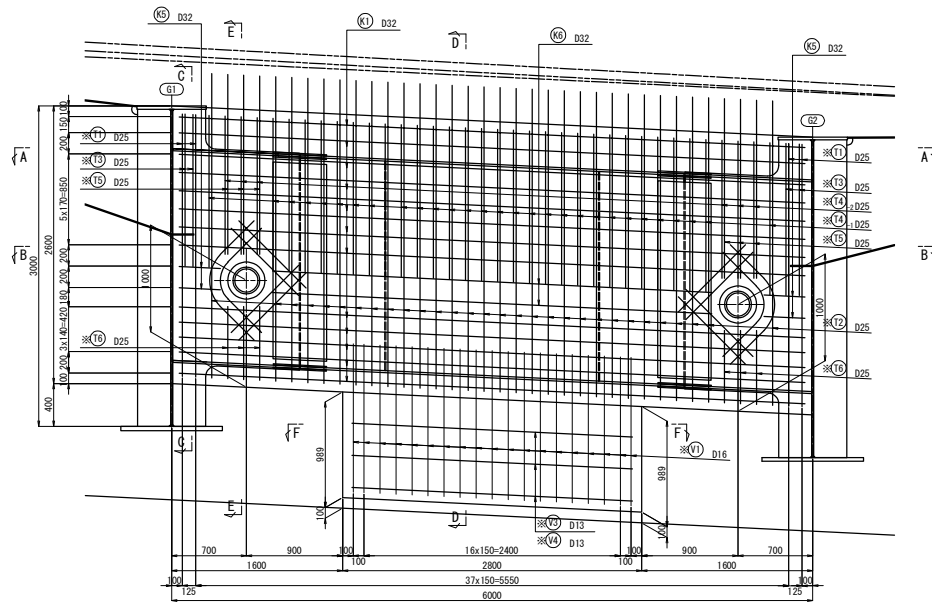
端支点S1

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
K1	D32	6180	26	6.23	38.6	1001	
K2	D32	5860	4	6.23	36.5	146	
K3	D32	6880	2	6.23	42.9	86	
K4	D32	7480	3	6.23	46.6	140	
K5	D32	700	8	6.23	4.36	35	
K6	D32	4430	4	6.23	27.6	110	
T1	D25	2850	8	3.98	11.3	90	
T2-1	D25	3830	30	3.98	15.2	456	
T2-2	D25	4240	30	3.98	16.9	507	
T3	D25	2650	4	3.98	10.5	42	
T4-1	D25	2970	30	3.98	11.8	354	
T4-2	D25	2800	6	3.98	11.1	67	
T5-1	D25	2500	6	3.98	10.0	60	
T5-2	D25	1650	6	3.98	6.57	39	
T6-1	D25	1070	6	3.98	4.26	26	
T6-2	D25	2500	6	3.98	9.95	60	
V1	D16	3330	19	1.56	5.19	99	
V2	D16	4730	3	1.56	7.38	22	
V3	D13	1460	4	1.00	6.0	6	
V4	D13	5800	4	1.00	5.72	23	
H1	D32	890	16	6.23	5.54	89	
H2	D32	1280	4	6.23	7.97	32	
H3	D32	1430	4	6.23	8.91	36	
						3526 Kg	
鉄筋							
防錆処理鉄筋 D13 (SD345)						29 Kg	
防錆処理鉄筋 D16 (SD345)						99 Kg	
D16 (SD345)						22 Kg	
防錆処理鉄筋 D25 (SD345)						1701 Kg	
防錆処理鉄筋 D32 (SD345)						157 Kg	
D32 (SD345)						1518 Kg	
コンクリート体積 (σck=30N/mm2)						17.24 m3	
室内容積						45.80 m2	

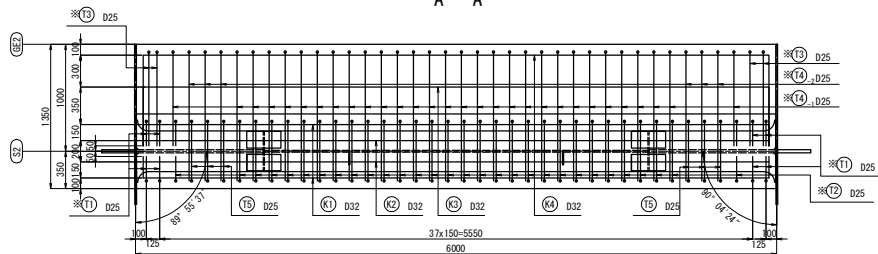
鉄筋加工寸法表						
$\theta \leq 90^\circ$ $R = 3\phi$						
$\theta > 90^\circ$ $R = 5.5\phi$						
$\Delta L = 2L - a$						
$\theta = 90^\circ$						
径	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88	69	4
D25	75	118	32	137.5	108	6
D32	96	151	41	176	138	8

注記
 1. 特記なき鉄筋材質は、全てSD345とする。
 2. コンクリートの設計基準強度はσck=30N/mm2とする。
 3. ※印鉄筋は、防錆処理鉄筋とする。

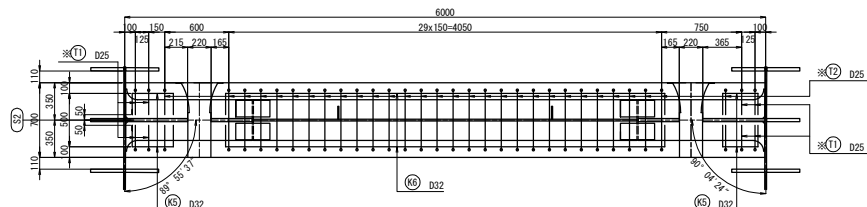
道 東 自 動 車 道				
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
図面の種類	トマム橋 巻き立てコンクリート(その2)			
縮 尺	図示	図面番号	24 / 75	
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			



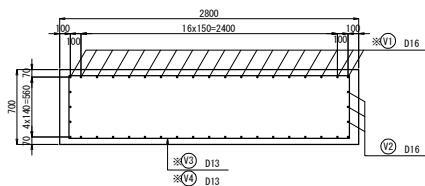
A - A



B - B

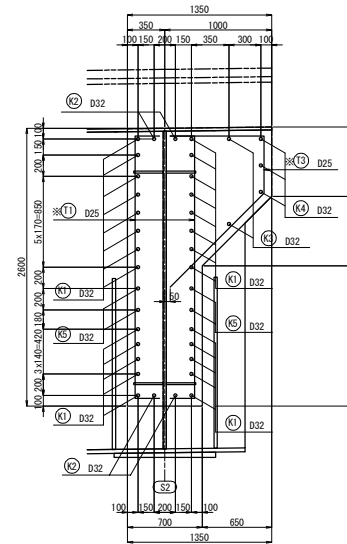


F - F

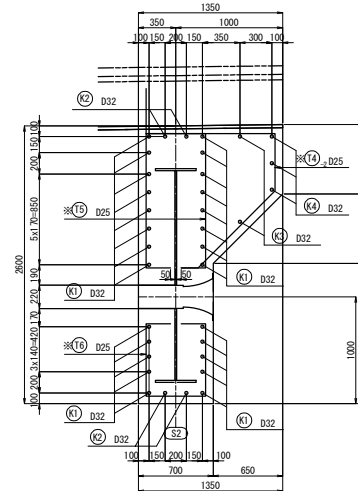


S2

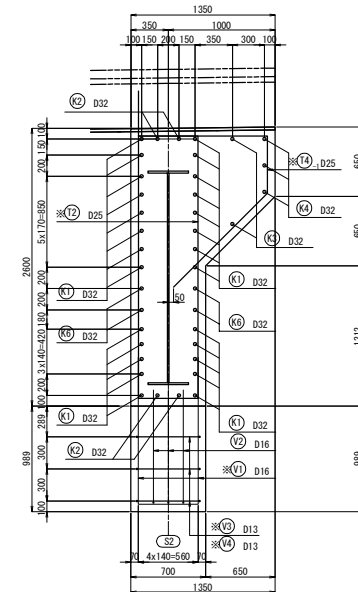
C - C



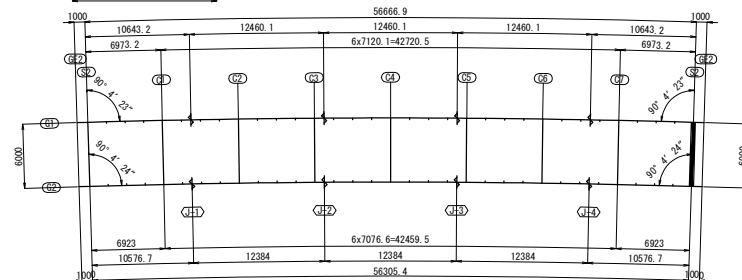
E - E



D - D



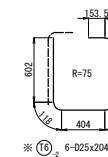
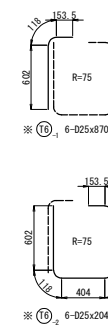
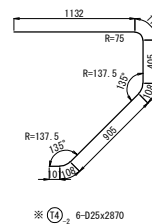
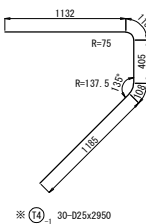
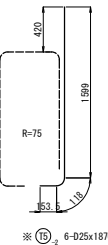
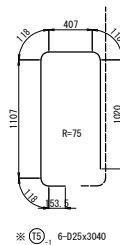
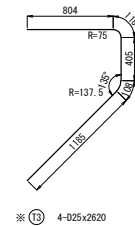
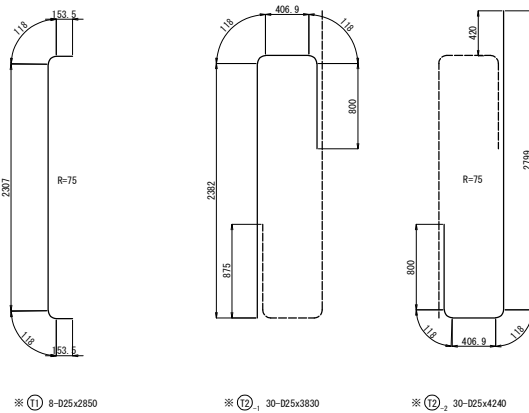
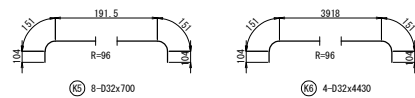
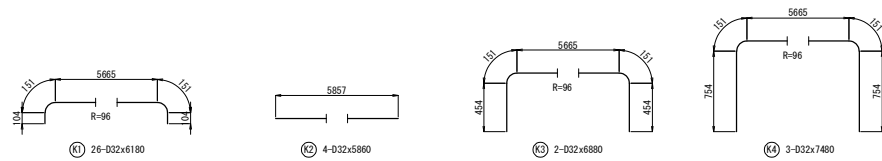
配置図



- 注記
1. 特記なき鉄筋材質は、全てSD345とする。
2. コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N}/\text{mm}^2$ とする。
3. ※印鉄筋は、防錆処理鉄筋とする。

道東自動車道 串内橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	トマム橋 巻き立てコンクリート(その3)		
縮尺	図示	図面番号	25 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

S2

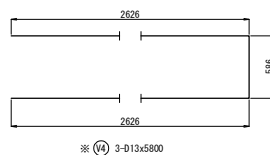
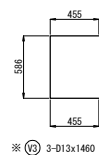
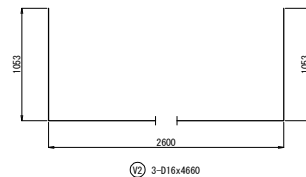
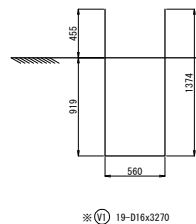
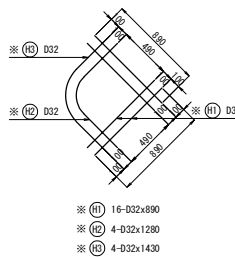


端支点S2

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘 要
K1	D32	6180	26	6.23	38.5	1001	
K2	D32	5860	4	6.23	36.5	146	
K3	D32	6880	2	6.23	42.9	86	
K4	D32	7480	3	6.23	46.6	140	
K5	D32	700	8	6.23	4.36	35	
K6	D32	4430	4	6.23	27.6	110	
T1	D25	2850	8	3.98	11.3	90	
T2-1	D25	3830	30	3.98	15.2	456	
T2-2	D25	4240	30	3.98	16.9	507	
T3	D25	2620	4	3.98	10.4	42	
T4-1	D25	2950	30	3.98	11.7	351	
T4-2	D25	2870	6	3.98	11.4	68	
T5-1	D25	3040	6	3.98	12.1	73	
T5-2	D25	1870	6	3.98	7.44	46	
T6-1	D25	870	6	3.98	3.46	21	
T6-2	D25	2040	6	3.98	8.12	49	
V1	D16	3270	19	1.56	5.10	97	
V2	D16	4660	3	1.56	7.27	22	
V3	D13	1460	4	1.00	1.45	6	
V4	D13	5800	4	1.00	5.77	23	
H1	D32	890	16	6.23	5.54	89	
H2	D32	1280	4	6.23	7.97	32	
H3	D32	1430	4	6.23	8.91	36	
3525 Kg							
鉄筋							
防錆処理鉄筋 D13 (SD345)							29 Kg
防錆処理鉄筋 D16 (SD345)							97 Kg
D16 (SD345)							22 Kg
防錆処理鉄筋 D25 (SD345)							1702 Kg
防錆処理鉄筋 D32 (SD345)							157 Kg
D32 (SD345)							1518 Kg
コンクリート体積 (σck=30N/mm ²)							4.34 m ³
型枠面積							44.80 m ²

鉄筋加工寸法表						
$\theta \leq 90^\circ$ $R = 3\phi$						
$\theta > 90^\circ$ $R = 5.5\phi$						
$\Delta L = 2L - a$						
径	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88	69	4
D25	75	118	32	137.5	108	6
D32	96	151	41	176	138	8

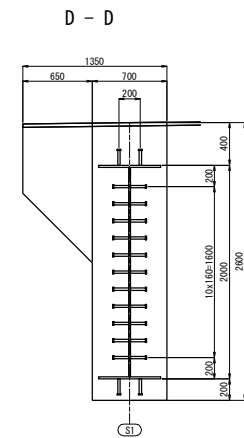
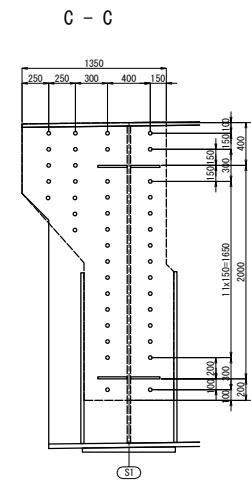
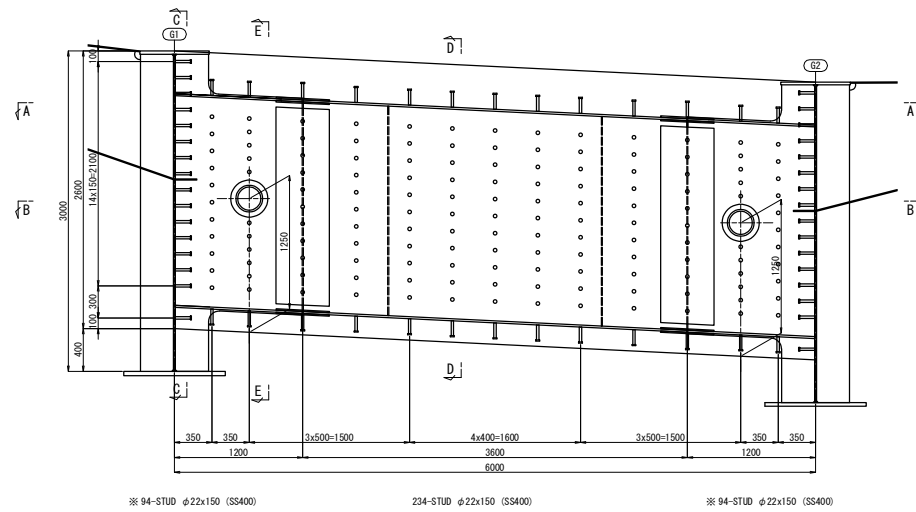
PCケーブル開口部補強



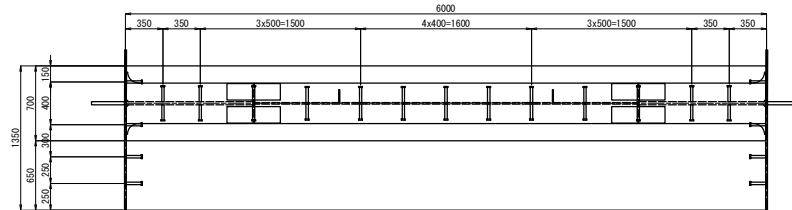
注記
 1. 特記なき鉄筋材質は、全てSD345とする。
 2. コンクリートの設計基準強度はσck=30N/mm²とする。
 3. ※印鉄筋は、防錆処理鉄筋とする。

道 東 自 動 車 道				
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
図面の種類		トマム橋 巻き立てコンクリート(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	26 / 75	
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所			

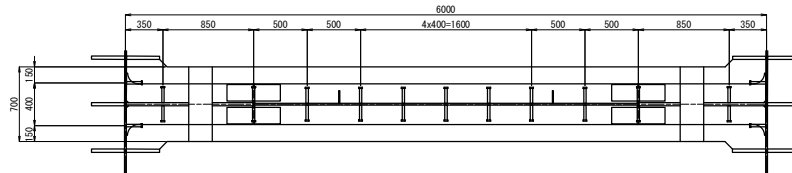
S1



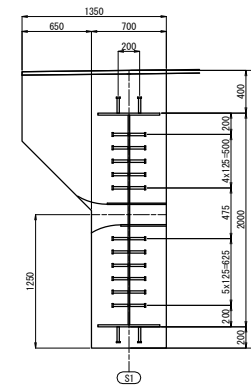
A - A



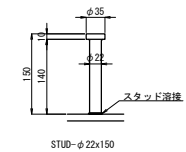
B - B



E - E



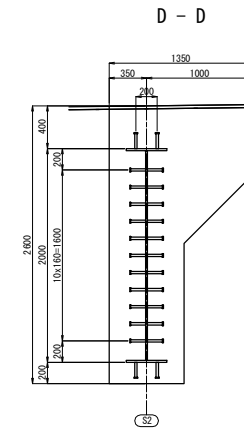
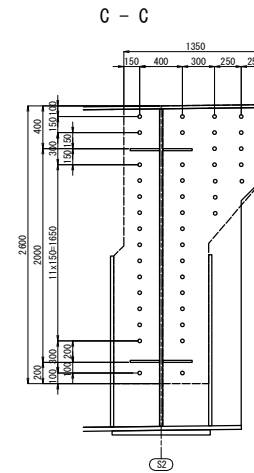
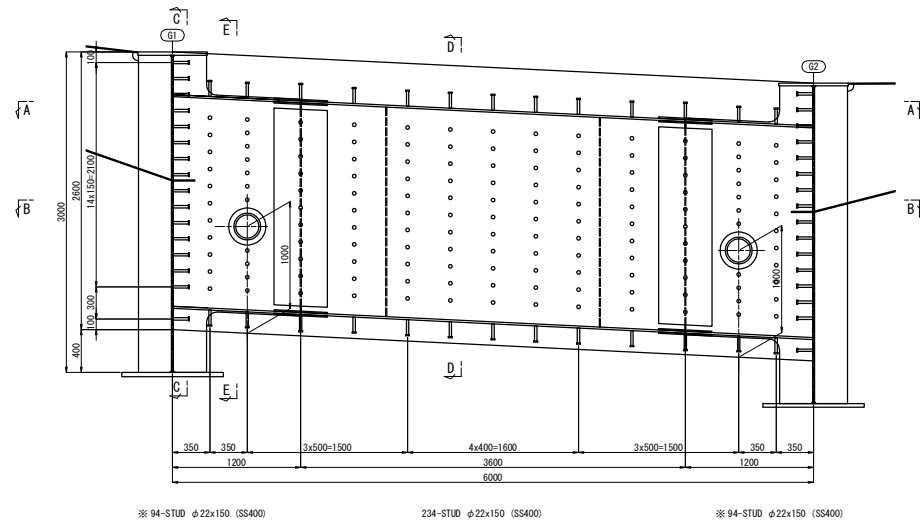
スタッドジベル詳細 S=1:10



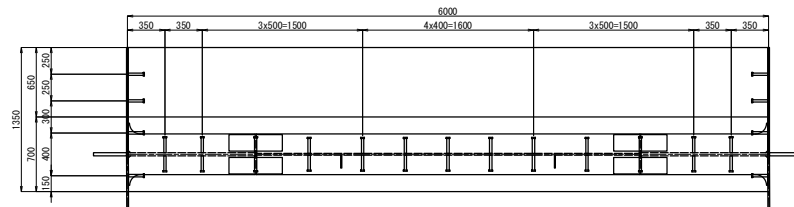
注記
1. ※印付きの数量は主桁にて計上のこと。

道 東 自 動 車 道			
串 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 巻き立てコンクリートスタッド配置図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	27 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

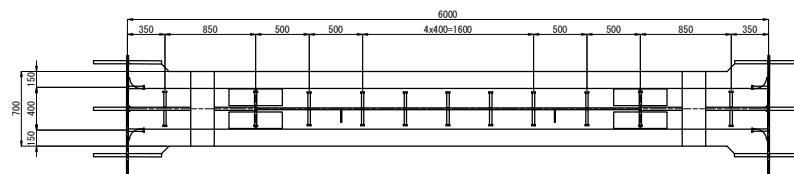
S2



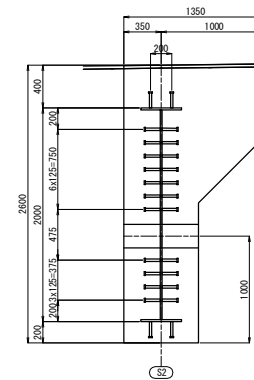
A - A



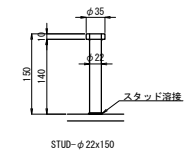
B - B



E - E



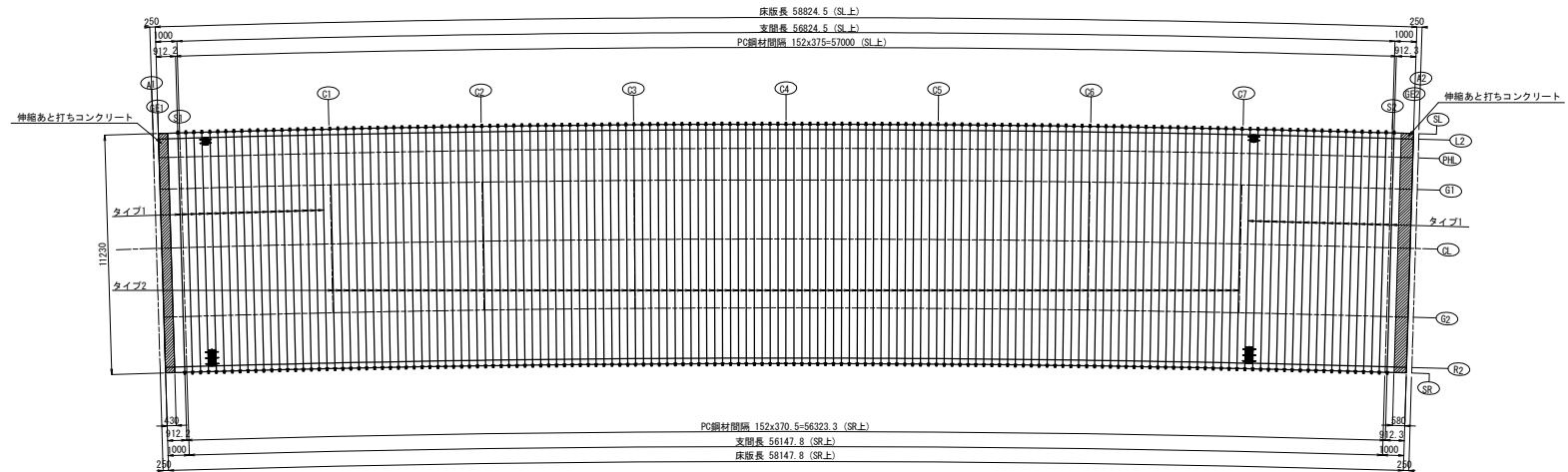
スタッドジベル詳細 S=1:10



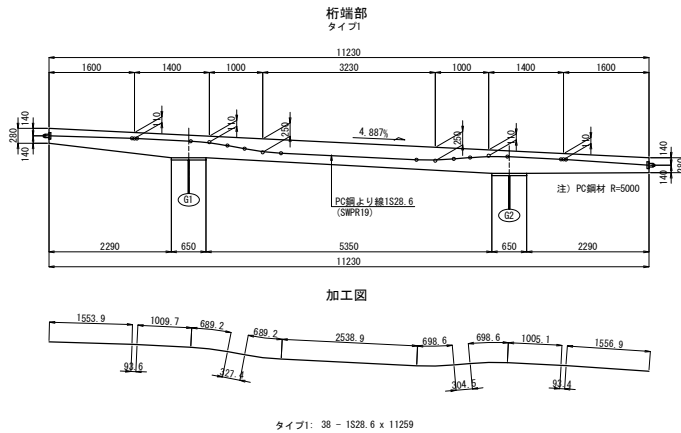
注記
1. ※印付きの数量は主桁にて計上のこと。

道 東 自 動 車 道				
串 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
図面の種類	トマム橋 巻き立てコンクリートスタッド配置図(その2)			
縮 尺	図示	図面番号	28 / 75	
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

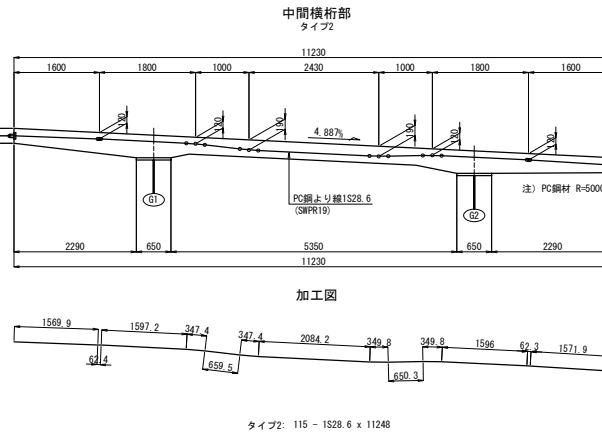
平面図



断面図 S=1:100

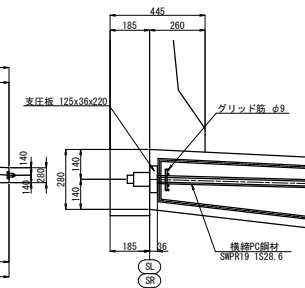


タイプ1: 38 - 1528.6 x 11259

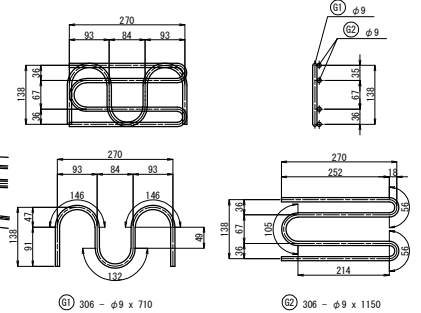


タイプ2: 115 - 1528.6 x 11248

横締定着部詳細図 S=1:25



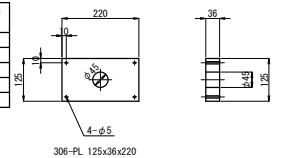
グリッド筋 S=1:25



グリッド筋質量表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	概要
G1	φ9	710	306	0.499	0.354	108	
G2	φ9	1150	306	0.499	0.574	176	
				延長合計	569 m		
				合計	284 kg		

長方形支圧板 S=1:25



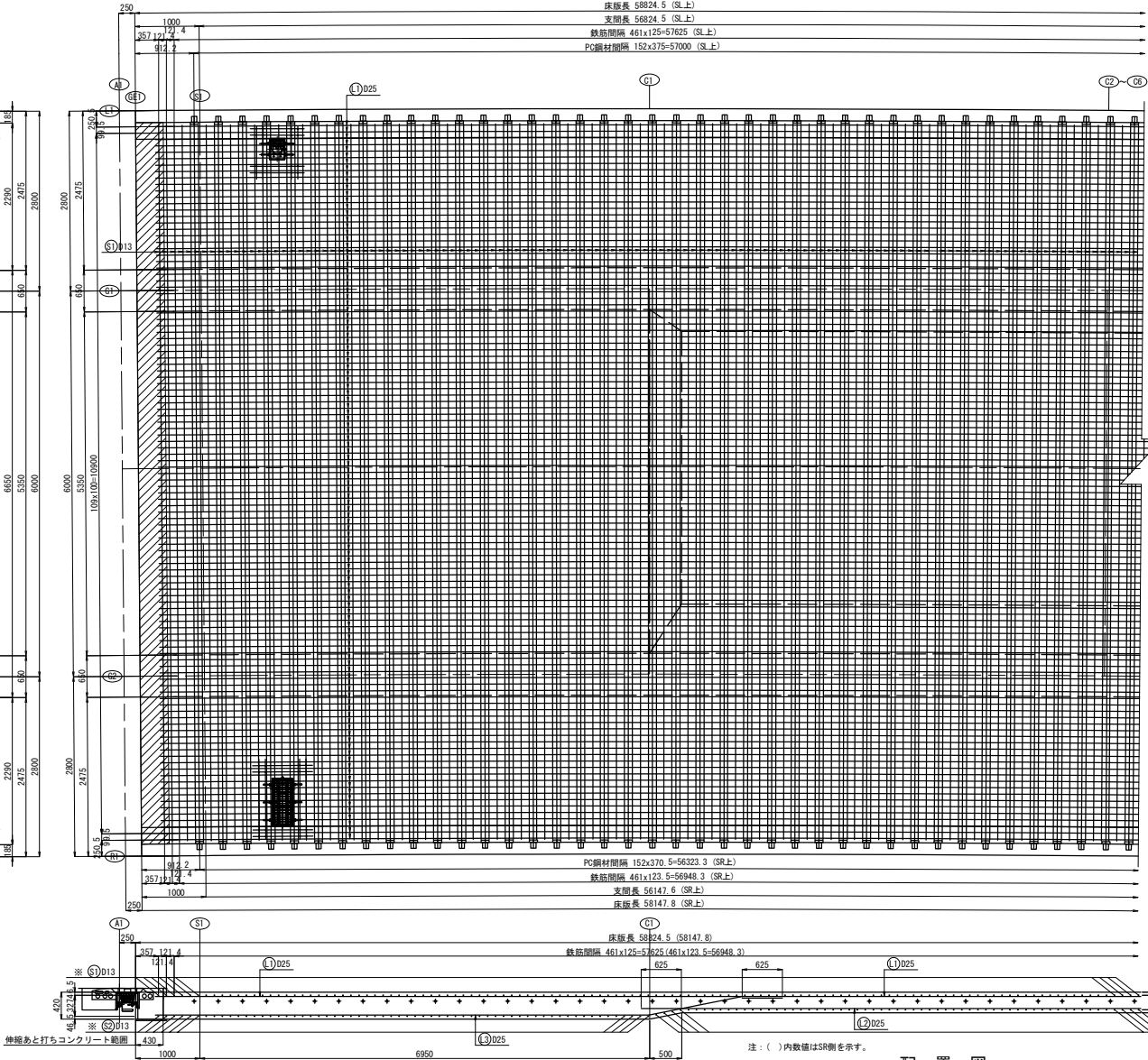
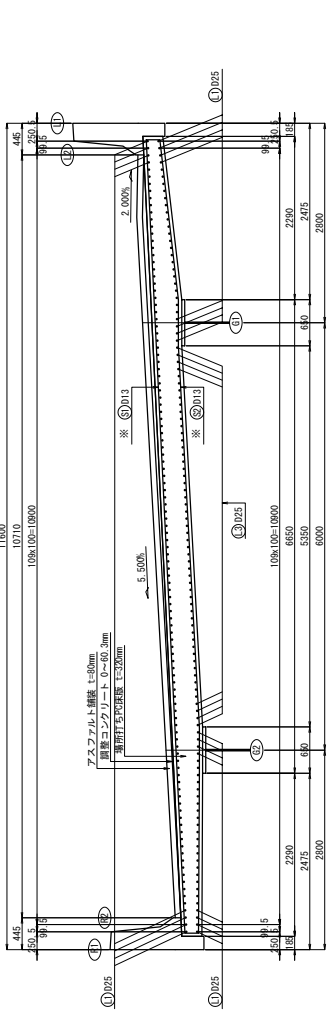
PC鋼材質量表

記号	長さ (m)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	延長 (m)	質量 (kg)	概要
タイプ1	11.259	38	4.23	427.8	1810	
タイプ2	11.248	115	4.23	1293.5	5472	
				延長合計	1721 m	
				質量合計	7282 kg	

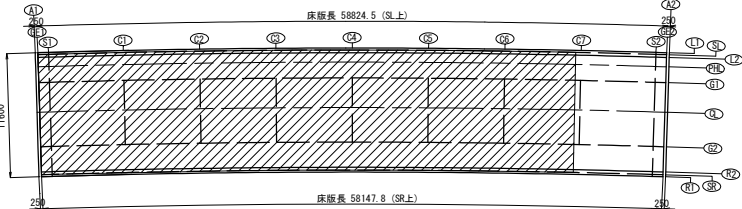
注記
1. PC鋼材の緊張方向は、交互引きとする。

道東自動車道 車内橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	トマム橋 PC鋼材配置図		
縮尺	図示	図面番号	29 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

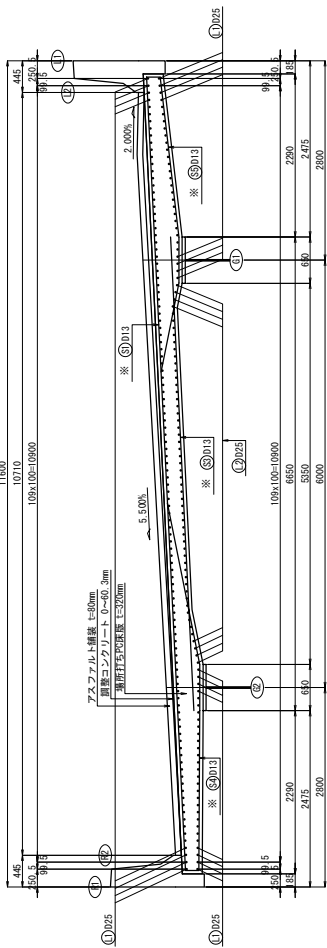
端支点上横桁S1



配置図



中間横桁C1~C7



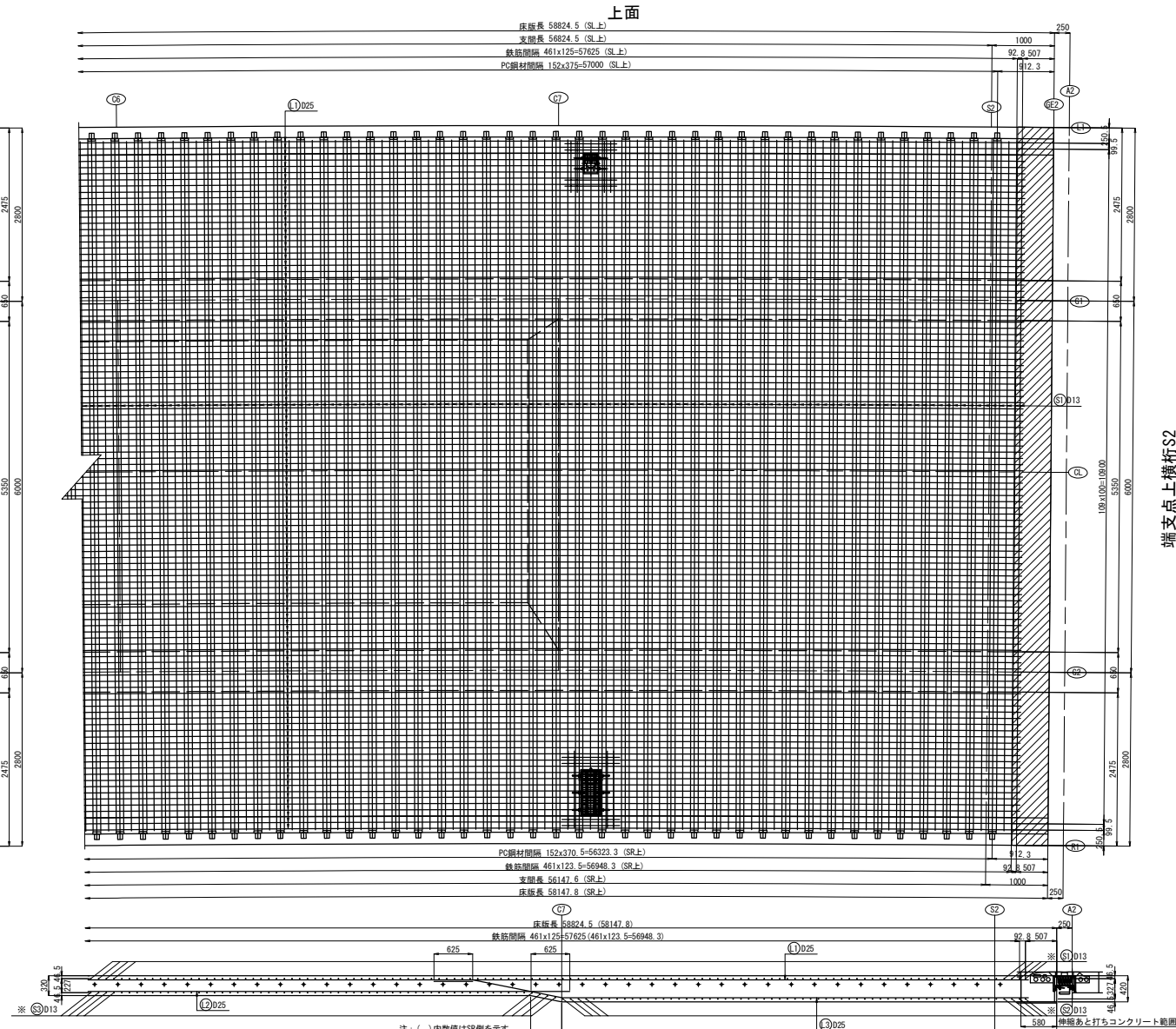
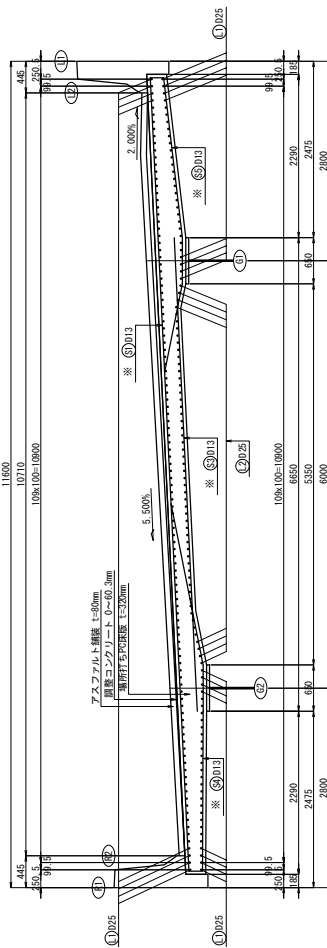
注記
1. 特記なき鉄筋材質は、SD345とする。
2. コンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ とする。
3. ※印鉄筋は、防錆処理鉄筋とする。

道 京 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 床版配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	30 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

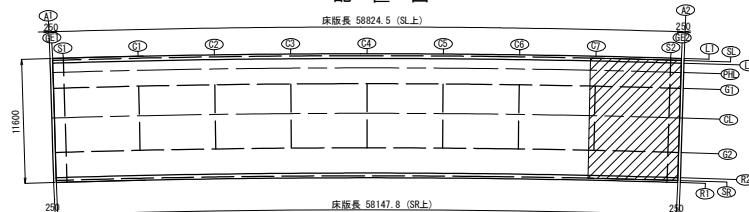
トマム橋 床版配筋図(その2) S=1:75

31 / 75

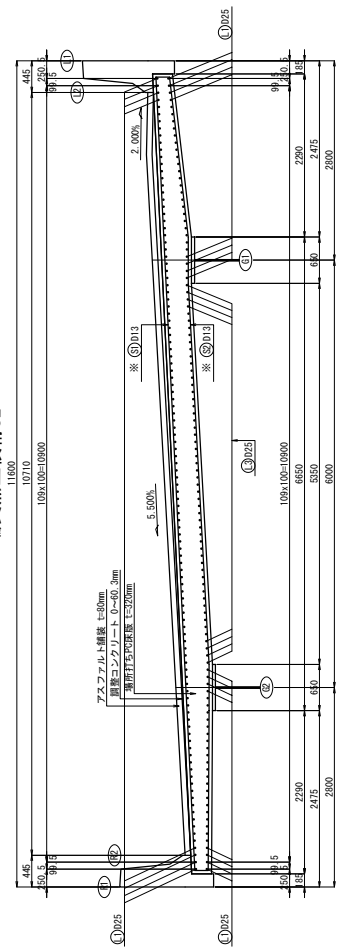
中間横桁C1~C7



注: () 内数値はSR側を示す。
配置図



端支点上横桁S2



注記
1. 特記なき鉄筋材質は、SD345とする。
2. コンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ とする。
3. ※印鉄筋は、防錆処理鉄筋とする。

道東自動車道 車内橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	トマム橋 床版配筋図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	31 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

Technical drawing of a bridge cross-section showing two views: a side elevation and a plan view.

Side Elevation (Left View):

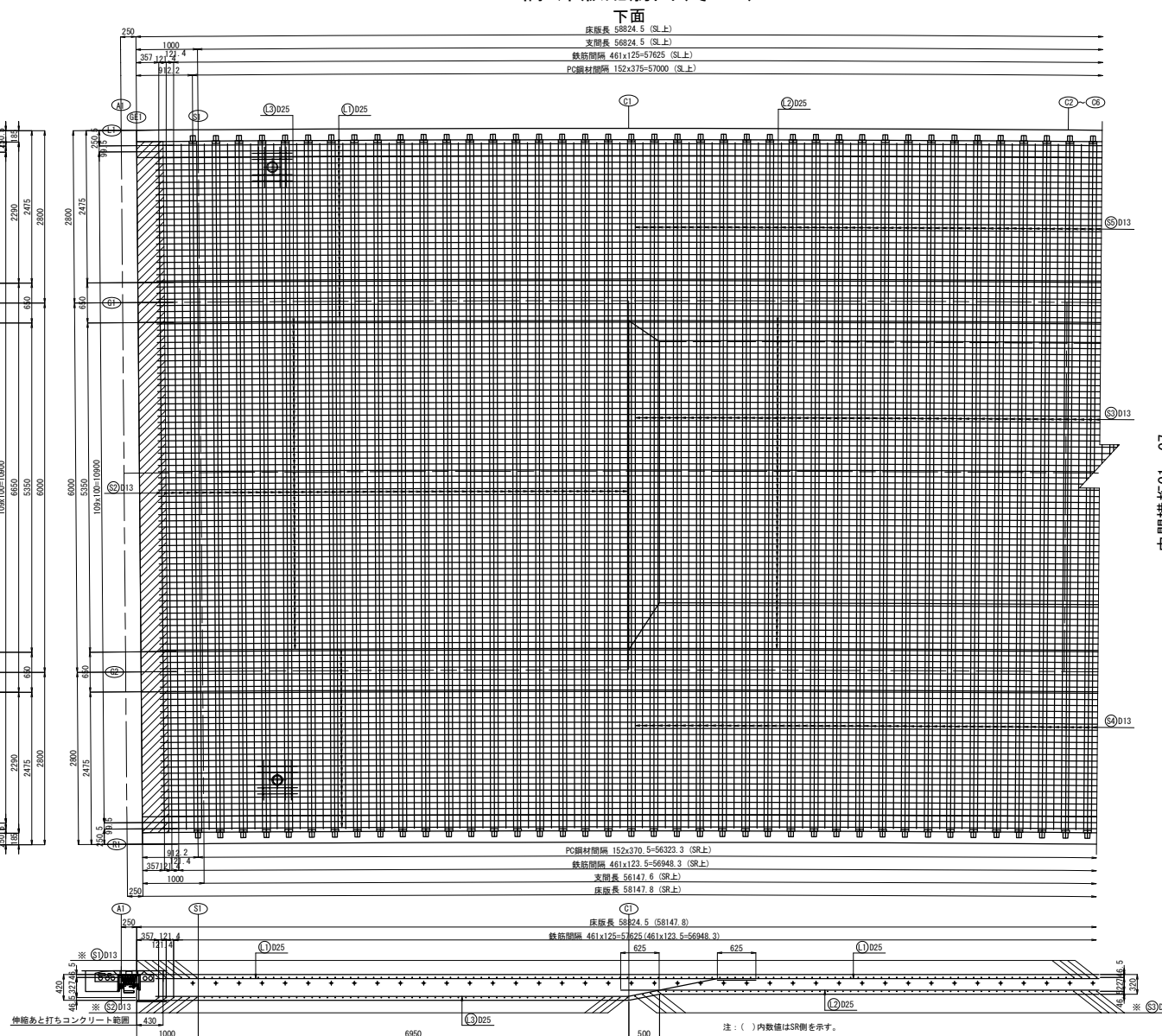
- Top width: 11600
- Bottom width: 10710
- Height: 145
- Bridge deck width: 10900
- Bridge deck height: 10900
- Bridge deck slope: 2.000%
- Bridge deck slope: 5.500%
- Bridge deck width: 10900
- Bridge deck height: 10900
- Bridge deck slope: 2.000%
- Bridge deck slope: 5.500%
- Bridge deck width: 10900
- Bridge deck height: 10900
- Bridge deck slope: 2.000%
- Bridge deck slope: 5.500%

Plan View (Right View):

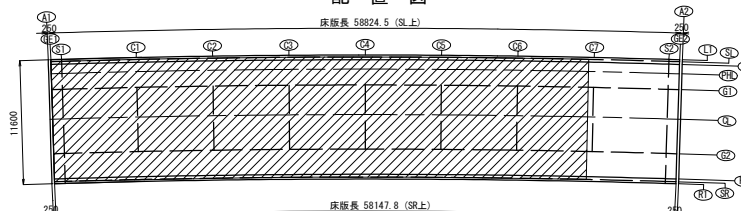
- Top width: 11600
- Bottom width: 10710
- Height: 145
- Bridge deck width: 10900
- Bridge deck height: 10900
- Bridge deck slope: 2.000%
- Bridge deck slope: 5.500%
- Bridge deck width: 10900
- Bridge deck height: 10900
- Bridge deck slope: 2.000%
- Bridge deck slope: 5.500%
- Bridge deck width: 10900
- Bridge deck height: 10900
- Bridge deck slope: 2.000%
- Bridge deck slope: 5.500%

Labels and Dimensions:

- 11600
- 10710
- 145
- 10900
- 10900
- 2.000%
- 5.500%
- 10900
- 10900
- 2.000%
- 5.500%
- 10900
- 10900
- 2.000%
- 5.500%



配置图

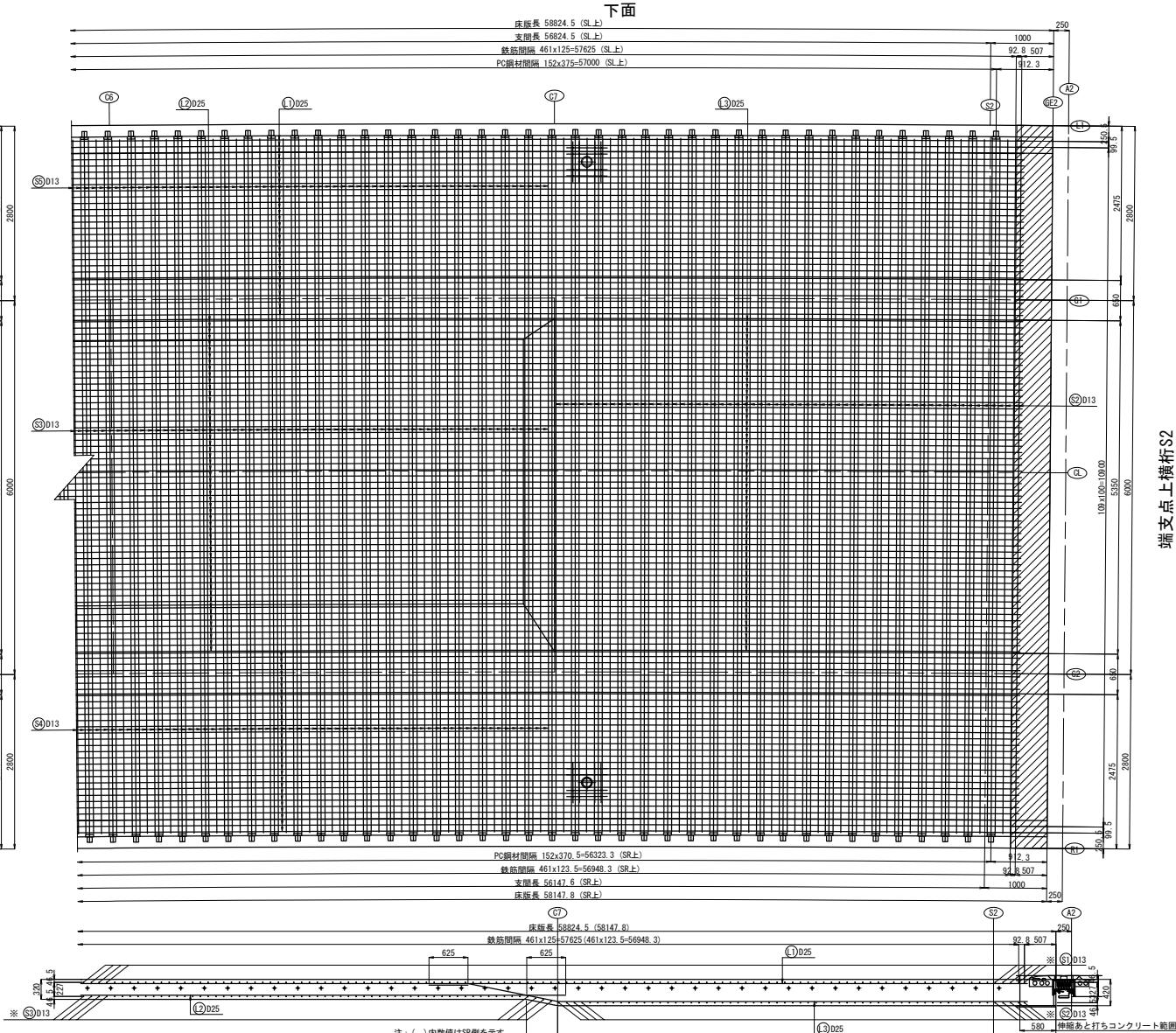
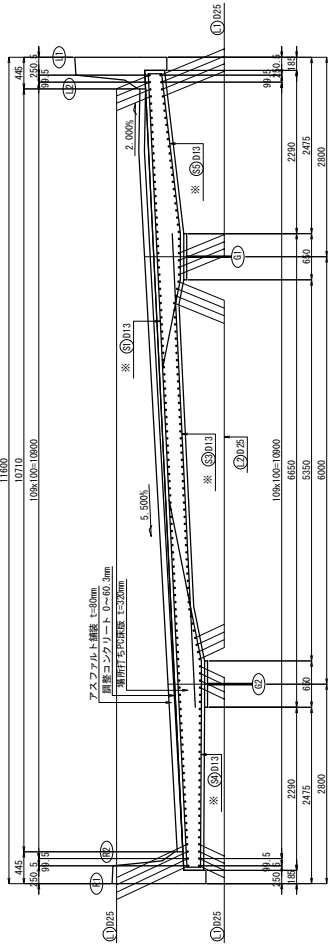


- 注記
1. 特記なき鉄筋材質は、SD345とする。
2. コンクリート強度は $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ とする。
3. ※印鉄筋は、防錆処理鉄筋とする。

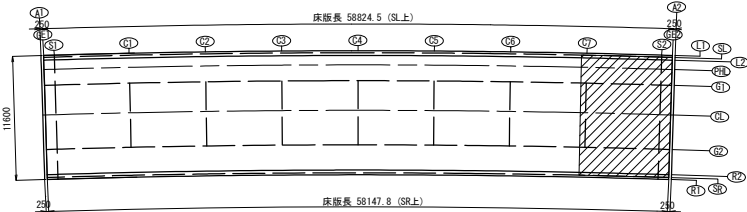
道東自動車道 車内橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	トマム橋 床版配筋図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	32 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 工務工事課		

トマム橋 床版配筋図(その4) S=1:75

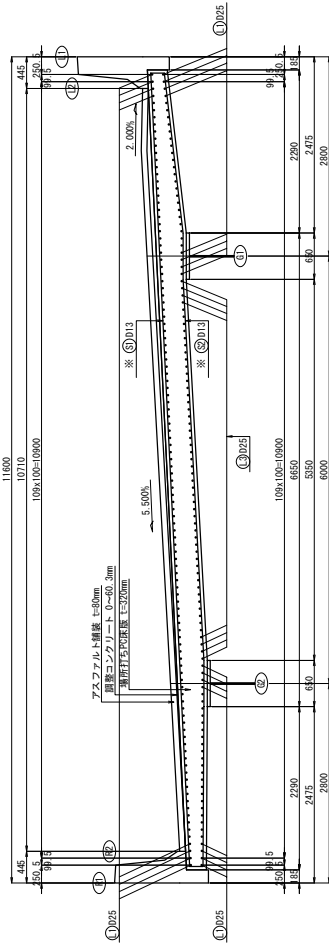
中間横桁C1~C7



配置図

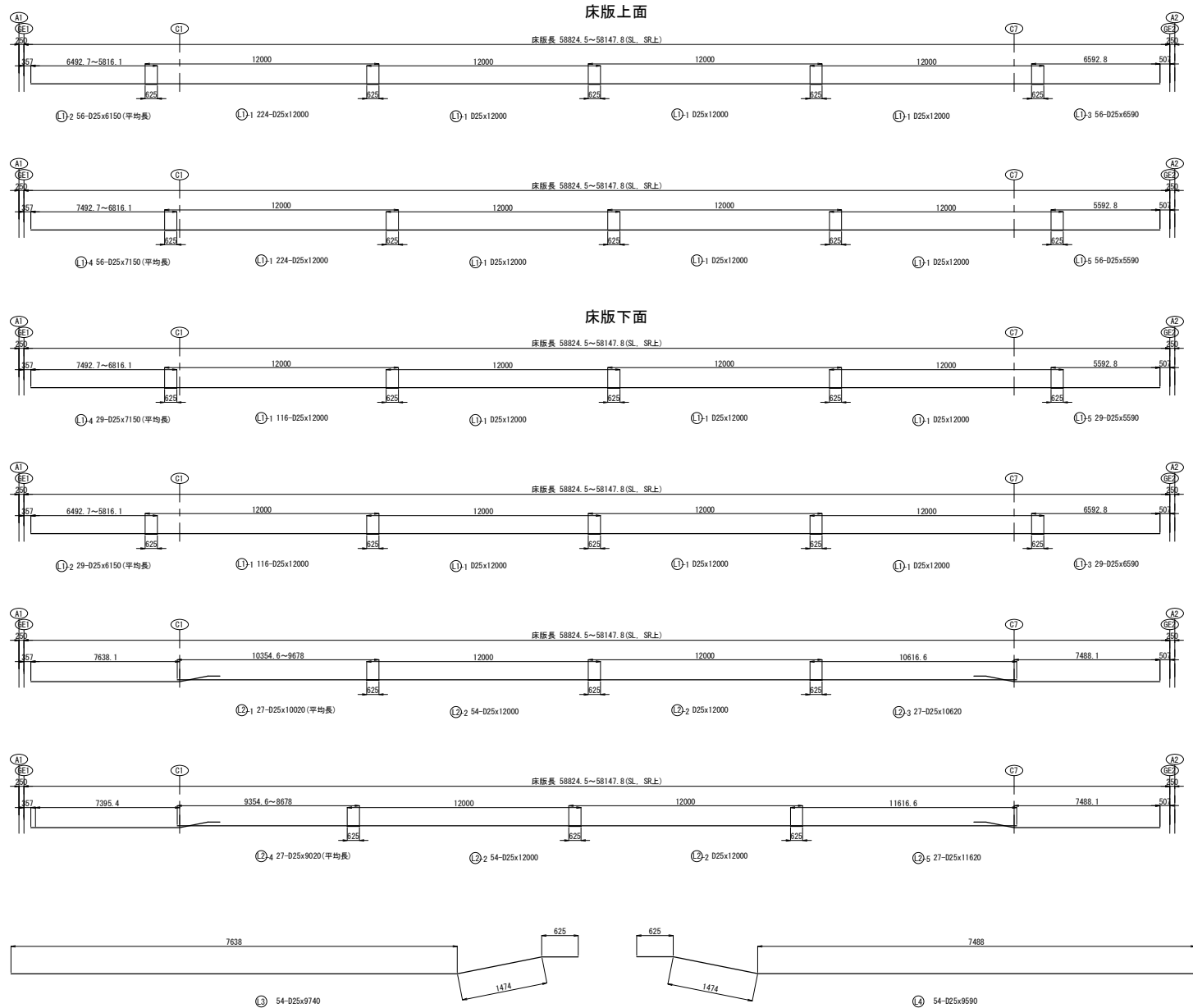


端支点上横桁S2



- 注記
1. 特記なき鉄筋材質は、SD345とする。
 2. コンクリート強度は $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ とする。
 3. ※印鉄筋は、防錆処理鉄筋とする。

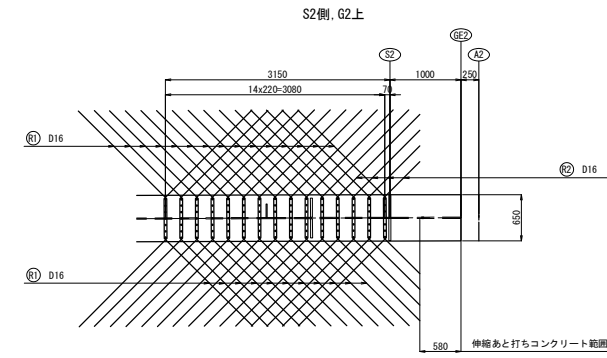
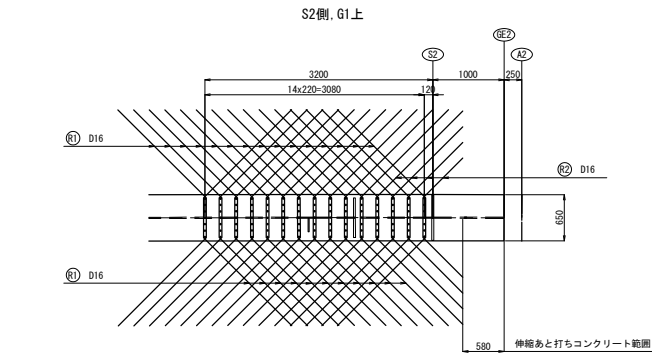
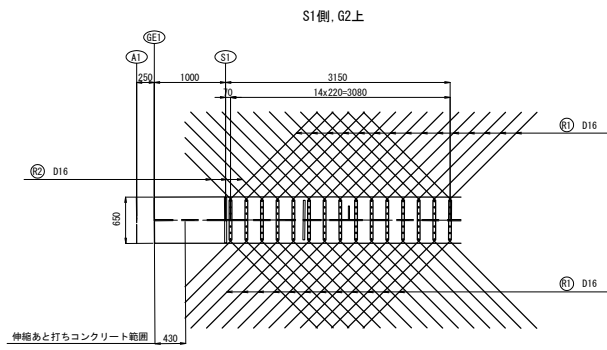
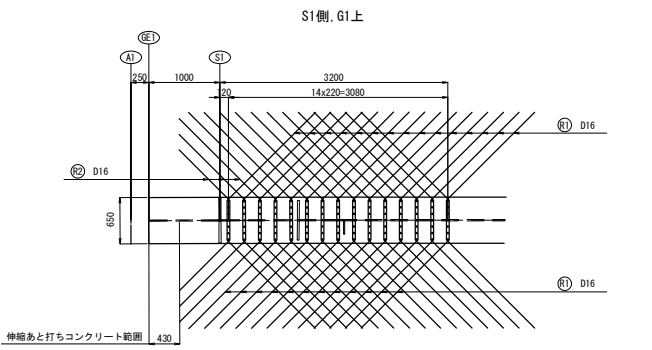
道東自動車道 単内橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	トマム橋 床版配筋図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	33 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		



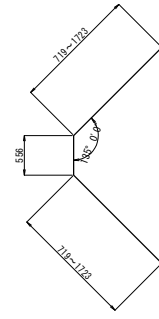
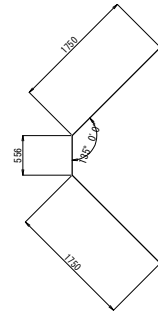
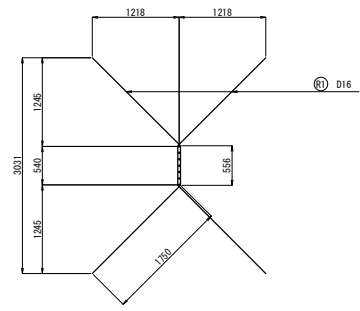
注記
1. 特記なき鉄筋材質は、SD345とする。
2. コンクリート強度は $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ とする。
3. ※印鉄筋は、防錆処理鉄筋とする。

道 東 自 動 車 道				
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
図面の種類	トマム橋			
	床版配筋図 (その5)			
縮 尺	図示	図面番号	34 / 75	
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所			

トマム橋 床版配筋図(その6) S=1:75



ジベル補強筋組合せ寸法



R1 106-D16x4050

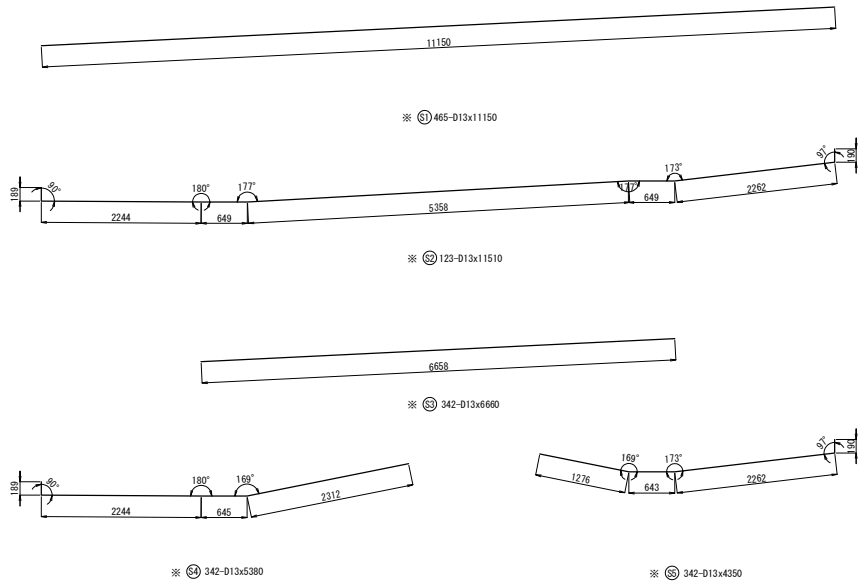
R2 14-D16x2990 (平均長)

鉄筋曲げ加工表

径	R=3φ	5.5φ	θ = 45°		θ = 60°		θ = 90°		θ = 135°	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6

- 注記
1. 特記なき鉄筋材質は、SD345とする。
2. コンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ とする。
3. ※印鉄筋は、防錆処理鉄筋とする。

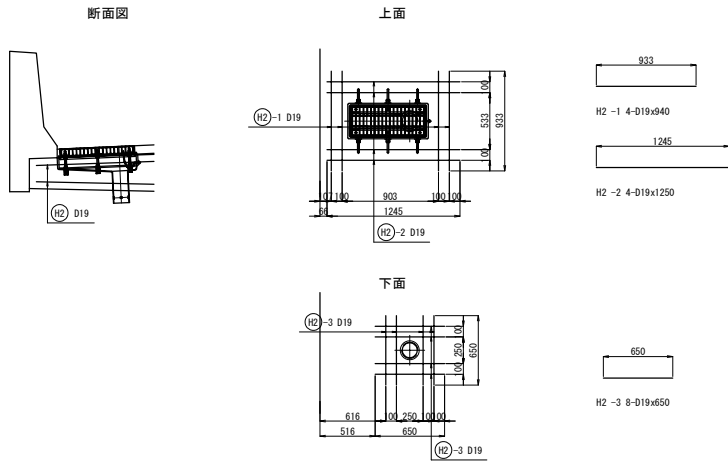
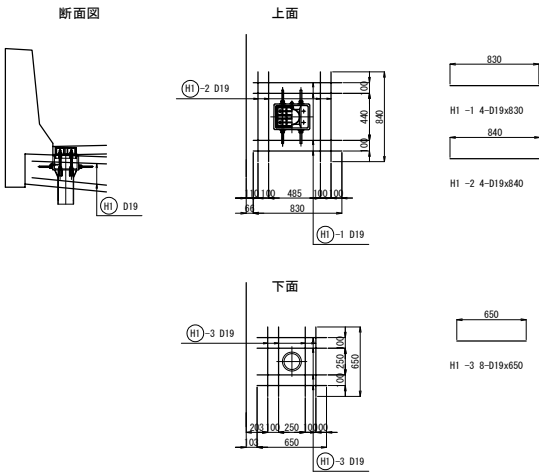
道 東 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
図面の種類		トマム橋 床版配筋図(その6)		
縮 尺	図示	図面番号	35 / 75	
設計会社名		中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



排水桝補強筋 S=1:50

製作数 : 2

製作数 : 2



鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D13	11150	465	0.995	11.1	5162	
S2	D13	11510	123	0.995	11.5	1415	
S3	D13	6660	342	0.995	6.63	2267	
S4	D13	5380	342	0.995	5.35	1830	
S5	D13	4350	342	0.995	4.33	1481	
L1-1	D25	12000	680	3.98	47.8	32504	
L1-2	D25	6150	85	3.98	24.5	2083	平均長
L1-3	D25	6590	85	3.98	26.2	2227	
L1-4	D25	7150	85	3.98	28.5	2423	平均長
L1-5	D25	5590	85	3.98	22.2	1887	
L2-1	D25	10020	27	3.98	39.9	1077	平均長
L2-2	D25	12000	108	3.98	47.8	5162	
L2-3	D25	10620	27	3.98	42.3	1142	
L2-4	D25	9020	27	3.98	35.9	969	平均長
L2-5	D25	11620	27	3.98	46.2	1247	
L3	D25	9740	54	3.98	38.8	2095	
L4	D25	9590	54	3.98	38.2	2063	
R1	D16	4050	106	1.56	6.32	670	
R2	D16	2990	14	1.56	4.66	65	平均長
H1-1	D19	830	8	2.25	1.87	15	
H1-2	D19	840	8	2.25	1.89	15	
H1-3	D19	650	16	2.25	1.46	23	
H2-1	D19	940	8	2.25	2.12	17	
H2-2	D19	1250	8	2.25	2.81	22	
H2-3	D19	650	16	2.25	1.46	23	
67884 kg							
SD345 鉄筋 D25 54879 kg							
SD345 鉄筋 D19 115 kg							
SD345 鉄筋 D16 735 kg							
防錆処理鉄筋 SD345 鉄筋 D13 12155 kg							
SD345 合計 67884 kg							
コンクリート体積 (σck=40N/mm2) 228.5 m3							
型枠面積 615.8 m2							

注) ※印鉄筋は、防錆処理鉄筋とする。

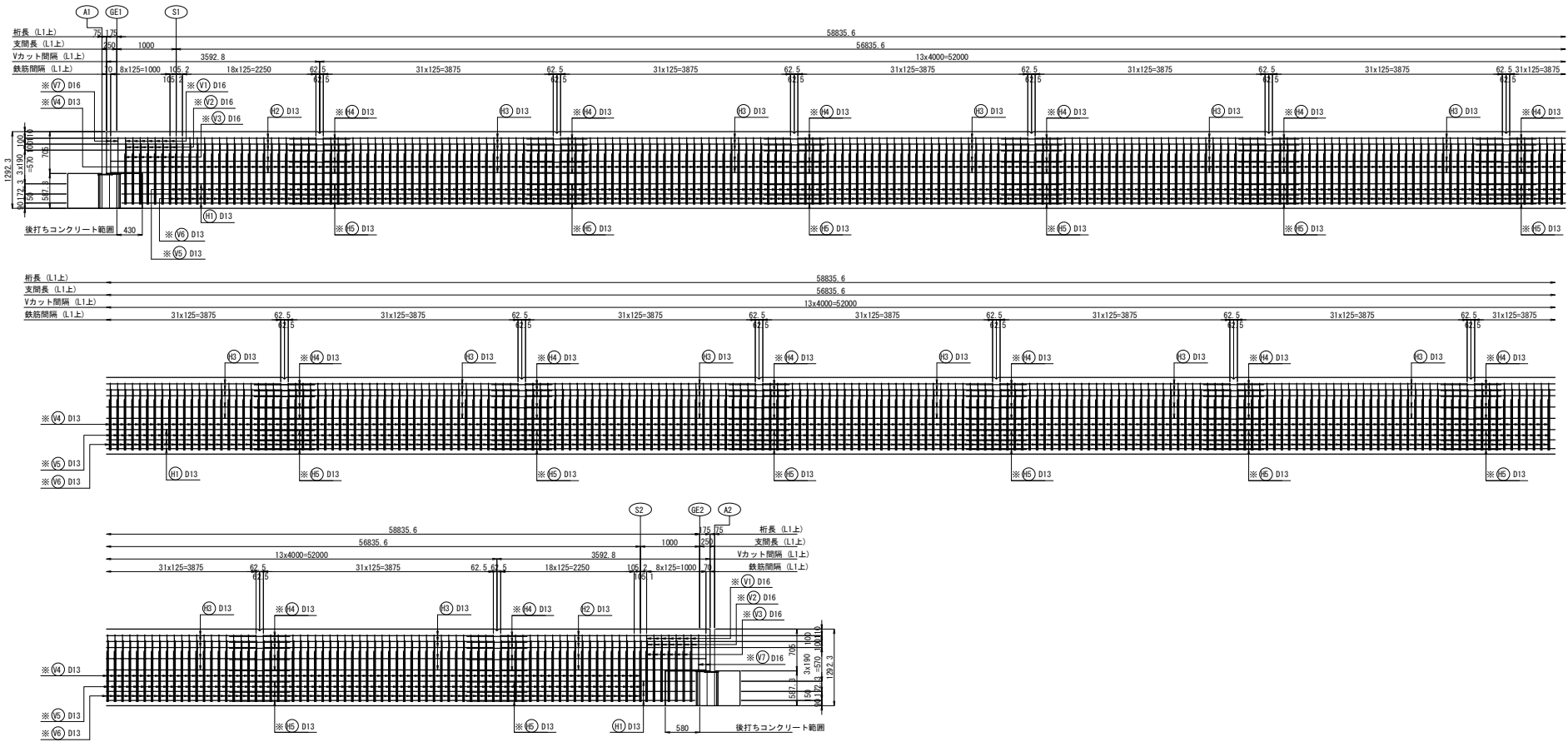
鉄筋曲げ加工表

径	R=3φ	5.5φ	θ=45°	θ=60°	θ=90°	θ=135°
D13	39	71.5	92	96	82	53
D16	48	88	113	119	100	66
D19	57	104.5	134	141	119	78
D22	66	121	155	164	138	91
D25	75	137.5	177	185	157	103

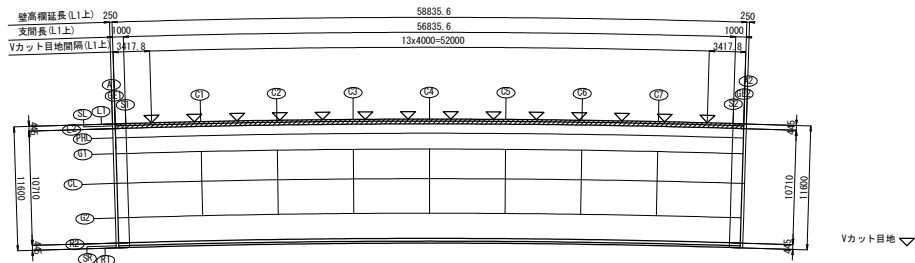
注記
1. 特記なき鉄筋材質は、SD345とする。
2. コンクリート強度はσck=40N/mm2とする。
3. ※印鉄筋は、防錆処理鉄筋とする。

道 東 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 床版配筋図(その7)		
縮 尺	図示	図面番号	36 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

L1側



配置図



- 注記
1. 特記なき鉄筋材質は、SD345とする。
 2. コンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=30\text{N}/\text{mm}^2$ とする。
 3. ※印は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

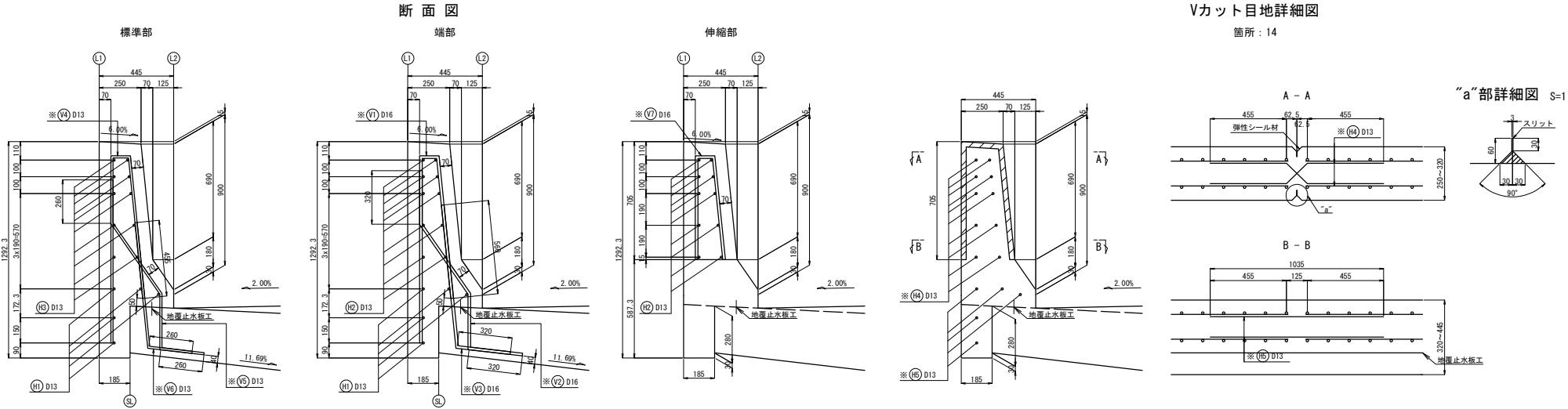
道 交 自 動 車 道			
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋		
	壁高欄配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	37 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

L1側

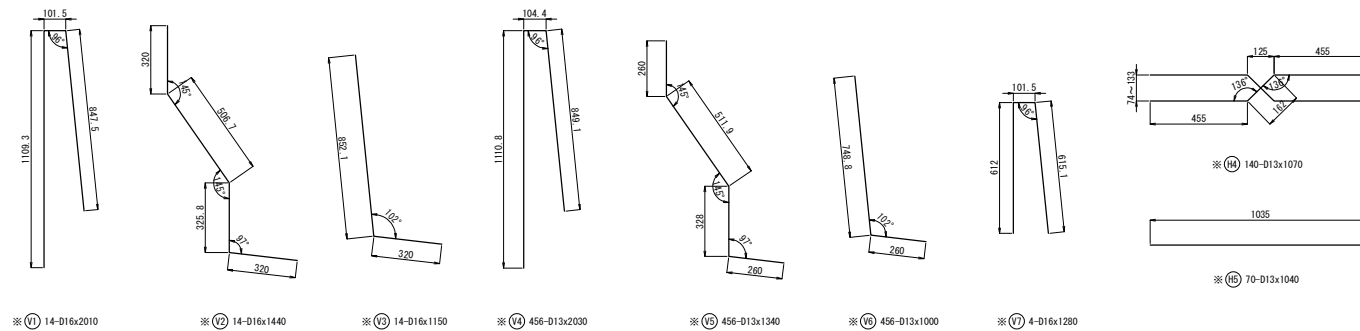
Vカット目地詳細図

箇所: 14

"a"部詳細図 S=1:10



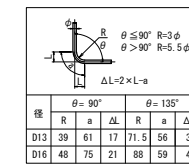
鉄筋加工図



鉄筋表 (L1側壁高欄工鉄筋重量)

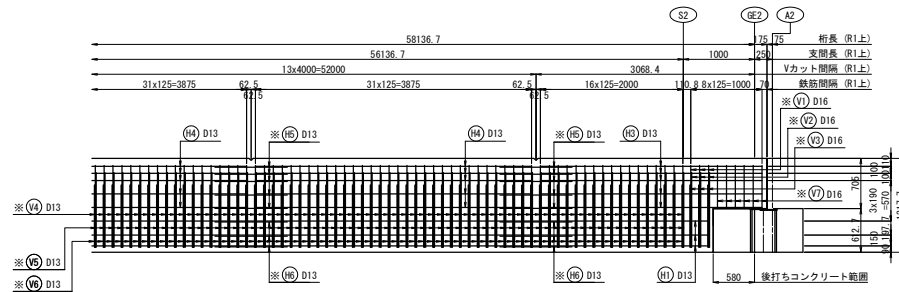
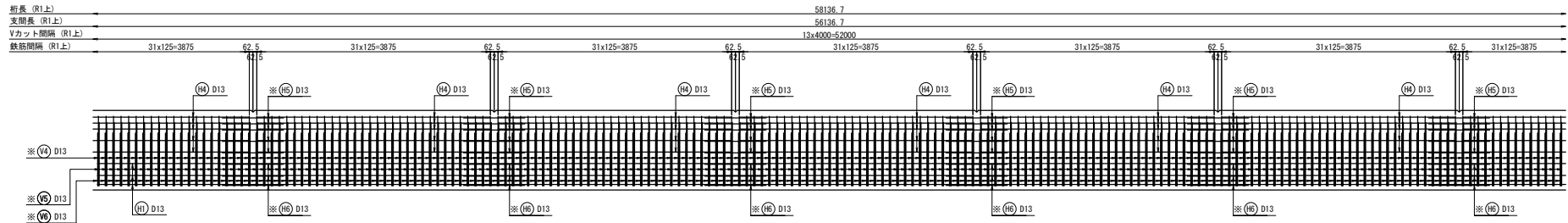
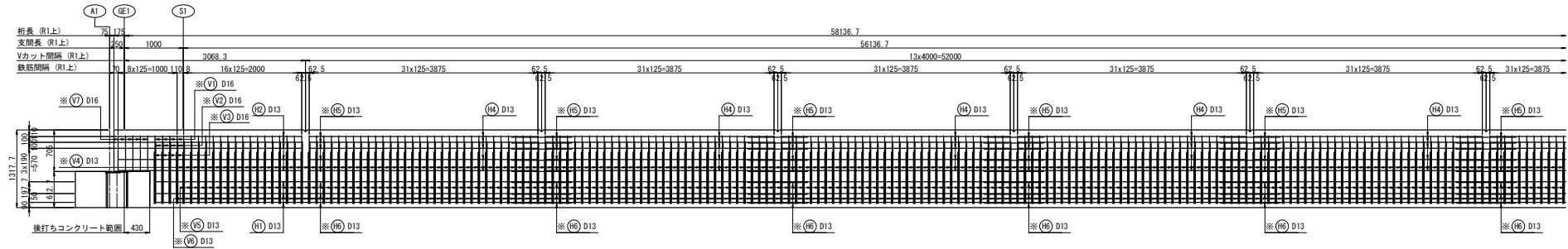
記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量 (kg)	備 考
※ V1	D16	2010	14	1.56	3.14	44	
※ V2	D16	1440	14	1.56	2.25	32	
※ V3	D16	1150	14	1.56	1.79	25	
※ V4	D13	2030	456	0.995	2.02	921	
※ V5	D13	1340	456	0.995	1.33	606	
※ V6	D13	1000	456	0.995	1.00	454	
※ V7	D16	1280	4	1.56	2.00	8	
H1-1	D13	6320	5	0.995	6.29	31	
H1-2	D13	12000	20	0.995	11.90	238	
H1-3	D13	6320	5	0.995	6.29	31	
H2	D13	3460	20	0.995	3.44	69	
H3	D13	3880	130	0.995	3.86	502	
H4	D13	1070	140	0.995	1.06	148	
※ H5	D13	1040	70	0.995	1.03	72	
合計						3181 kg	
鉄筋質量						D13	871 kg
						※D16	109 kg
						※D13	2201 kg
						合計	3181 kg
コンクリート体積 (σok=30N/mm2)						21.88 m3	
型 枠 面 積						167.045 m2	
弾性シーリング材体積						0.021 m3	

注記
 1. 特記なき鉄筋材質は、S345とする。
 2. コンクリート強度はσok=30N/mm2とする。
 3. ※印は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

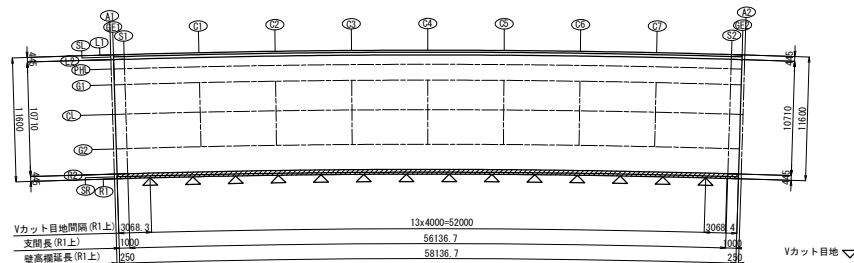


道 東 自 動 車 道			
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 壁高欄配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	38 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

R1側

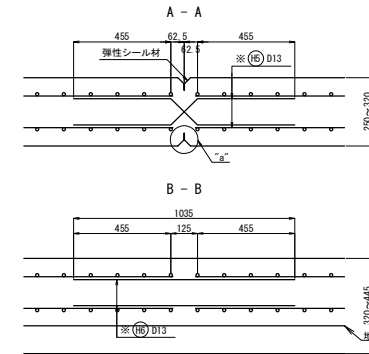
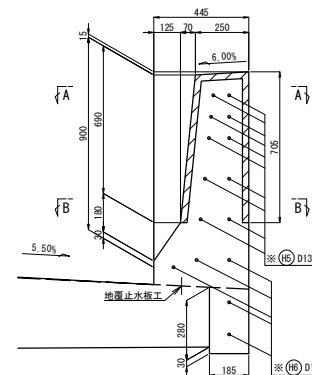


配置図

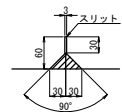


Vカット目地詳細図

箇所：14



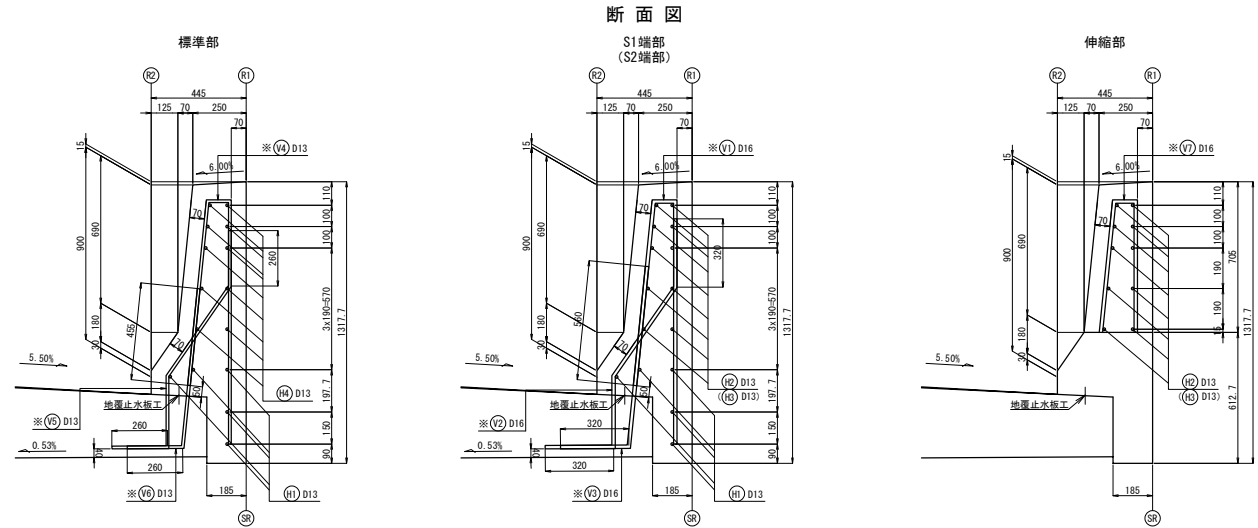
"a"部詳細図 S=1:10



- 注記
1. 特記なき鉄筋材質は、SD345とする。
 2. コンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=30\text{N}/\text{mm}^2$ とする。
 3. ※印は、エポキシ樹脂塗装数を示す。

道交自動車道 車内橋(鋼上工)工事			
図面の種類	トマム橋 壁高欄配筋図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	39 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

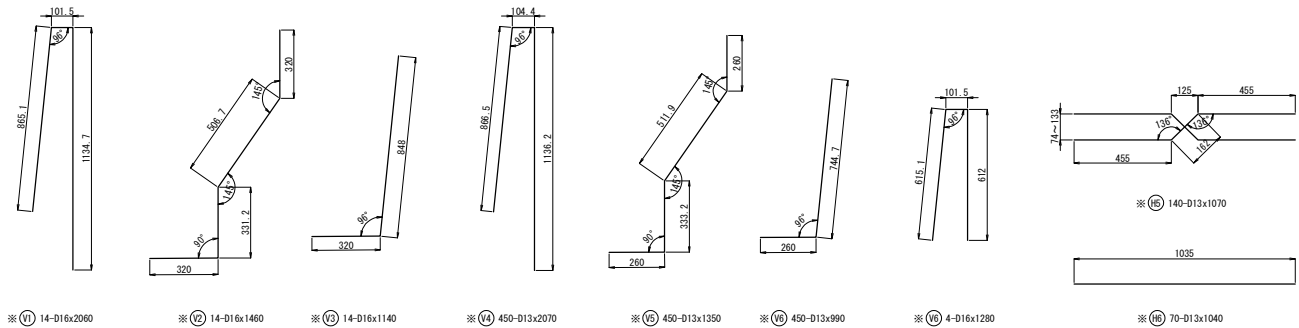
R1側



鉄筋表 (R1側壁高欄工鉄筋重量)

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量 (kg)	換 算
※ V1	D16	2060	14	1.56	3.21	45	
※ V2	D16	1460	14	1.56	2.28	32	
※ V3	D16	1140	14	1.56	1.78	25	
※ V4	D13	2070	450	0.995	2.06	927	
※ V5	D13	1350	450	0.995	1.34	603	
※ V6	D13	990	450	0.995	0.99	443	
※ V7	D16	1280	4	1.56	2.00	8	
H1-1	D13	5970	5	0.995	5.94	30	
H1-2	D13	12000	20	0.995	11.90	238	
H1-3	D13	5970	5	0.995	5.94	30	
H2	D13	3120	10	0.995	3.10	31	
H3	D13	3120	10	0.995	3.10	31	
H4	D13	3880	130	0.995	3.86	502	
※ H5	D13	1070	140	0.995	1.06	148	
※ H6	D13	1040	70	0.995	1.03	72	
合計						3165 kg	
鉄筋質量							
SD345						D13	862 kg
						※D16	110 kg
						※D13	2193 kg
						合計	3165 kg
コンクリート体積 (σ ck=30N/mm2)							21.979 m3
型 枠 面 積							166.579 m2
弾性シール材体積							0.021 m3

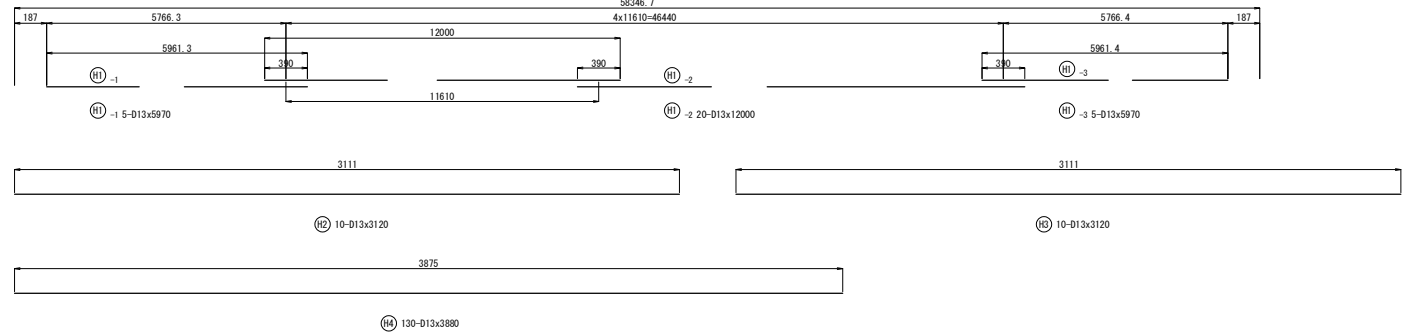
鉄筋加工図



鉄筋曲げ加工表

$\theta \leq 90^\circ$ $R=3\phi$
 $\theta > 90^\circ$ $R=5.5\phi$
 $\Delta L=2 \times L-a$

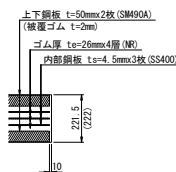
径	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 135^\circ$		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88	59	4



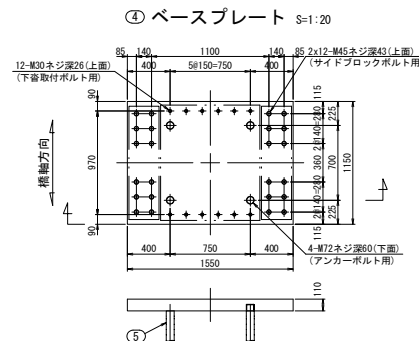
注記
1. 特記なき鉄筋材質は、SD345とする。
2. コンクリート強度はσ ck=30N/mm2とする。
3. ※印は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

道 交 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 壁高欄配筋図 (その4)		
縮 尺	図示	図面番号	40 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

設計条件

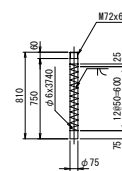
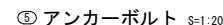
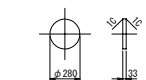


反 力 (kN)			A2
最大 反力		Rmax	45
最大 反力 (回転装置用)		Rmax2	38
死者 反力		Ro	30
死者 荷重		RIL	7
最大 水平力	横軸 方向	RHsq1	4
	横軸 直交 方向	RHsq2	19
	サイド ブロック	RHsq3	19
上向き の 地震力		Ru	-9
変 位 量 (mm)			
照査荷重時 の 変位量		d.c.	0.3
回転変位量		d.r	1.2
水平変位量	温度時・横軸 方向	d.L1	
	地震時・横軸 方向	d.Lel	
	地震時・横軸 直交 方向	d.Le2	
性 能			
ゴムの弾戻り及び呼び	材料-G	弾-G	
せん断ばね定数 (kN/mm)		KS	6.9
試験変位量	せん断ひずみ (%)	r.S	
	変位量 (mm)	UB	
2 次 形状係数		S1	8
2 次 形状係数		S2	8
圧縮ばね定数 (kN/mm)		Ky	19



材 料 表 (1組当り)

品番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
(1)	ゴム 乗乗	NR S540Q SM490A	1	375.2	順(天然ゴム)
(2)	上	SM490A	1	461.0	
(3)	下	SM490A	1	752.5	
(4)	ベスプレート	SM490A	1	1516.9	
(5)	アンカーボルト	S35C、SR235	4	115.7	
(6)	サイドブロック	SM490A or S540Q	2	804.6	
(7)	せんりんキ	SM490A or S35C	1	49.8	上 用
(8)	せんりんキ	SM490A or S35C	1	16.0	下 用
9	乗乗取付ボルト (六角付)	強度区分 10.9	12	7.6	上 用
10	乗乗取付ボルト (六角付)	強度区分 10.9	12	6.3	下 用
(11)	下乗付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	12	8.8	
(12)	サイドブロックボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	24	83.6	
(13)	組取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	8	12.6	
		合計		4200.6 (kg)	



※1 道路橋支保覆(100)準拠。
※2 使用材料は道路橋支保覆第3章に適合。
※3 部番をのて開いた部品はアルミニウム・マグネシウム合金溶射+フッ素塗装とする。
※4 ポルトに頭部のアルミニウム・マグネシウム合金溶射+フッ素塗装とする。
※5 ゴム支重の重量は施工上の参考重量とする。
※6 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
※7 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
※8 アイボルト穴は潤滑後穴埋めすること。
※9 桁取付ポルト重量はL=100mmとして参考に向上する。
※10 六角穴付きポルトは、黒色酸化皮膜処理とする。

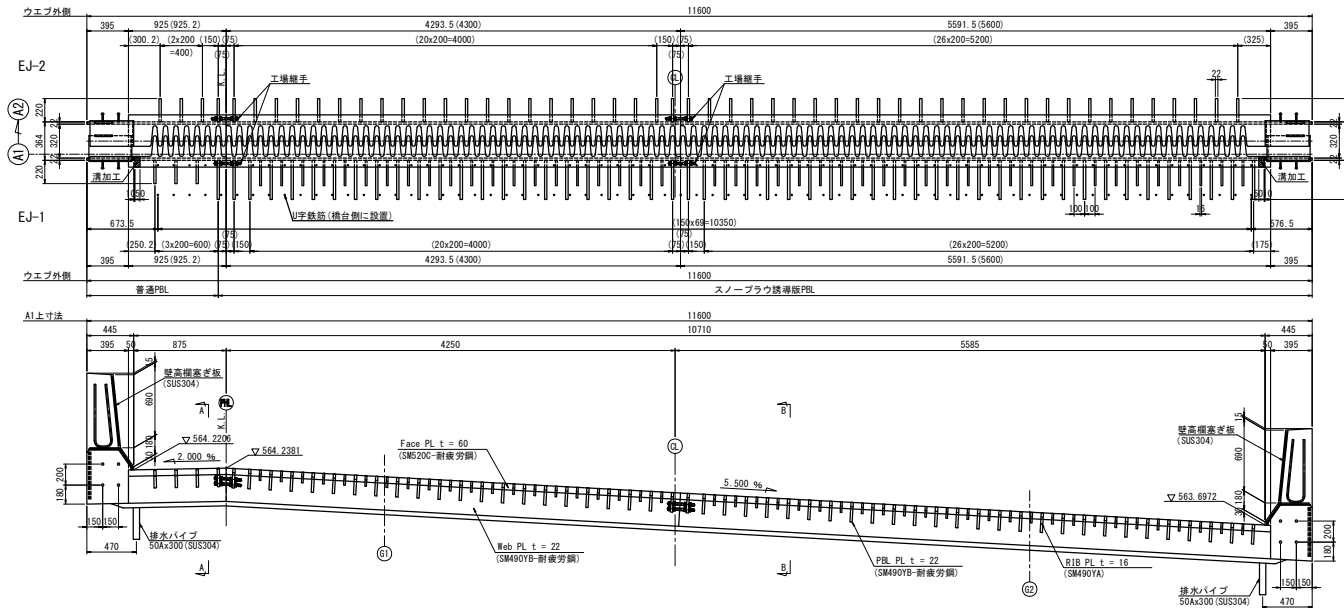
⑨	支承受取付ボルト (六角穴付)	M30 x 70	強度区分 10.9 (上用)
⑩	支承受取付ボルト (六角穴付)	M30 x 50	強度区分 10.9 (下用)
⑪	下査取付ボルト, ワッシャー	M30 x 80	強度区分 8.8
⑫	サイドブロックボルト, ワッシャー	M45 x 200	強度区分 8.8
⑬	桁取付ボルト, ワッシャー	M39 x 100	強度区分 8.8

位置图

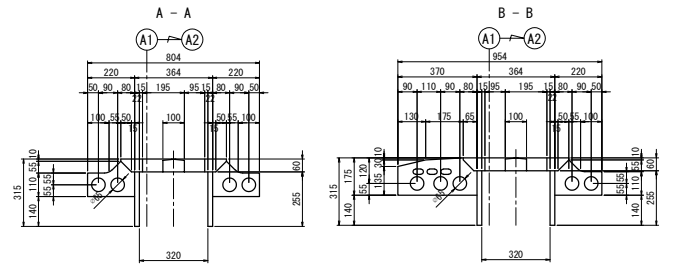


道東自動車道 車内橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	トマム橋 支床図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	42 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

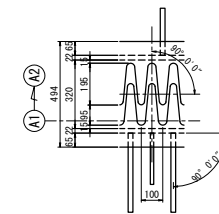
A1橋台



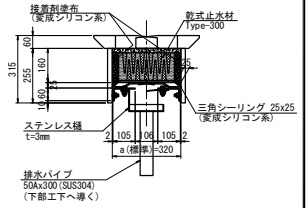
断面図 S=1:25



フェイスプレート詳細図 S=1:25



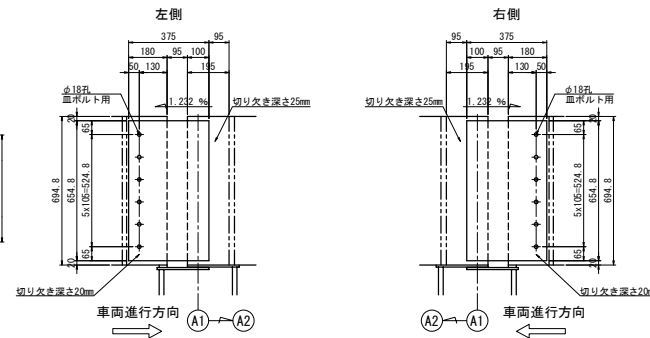
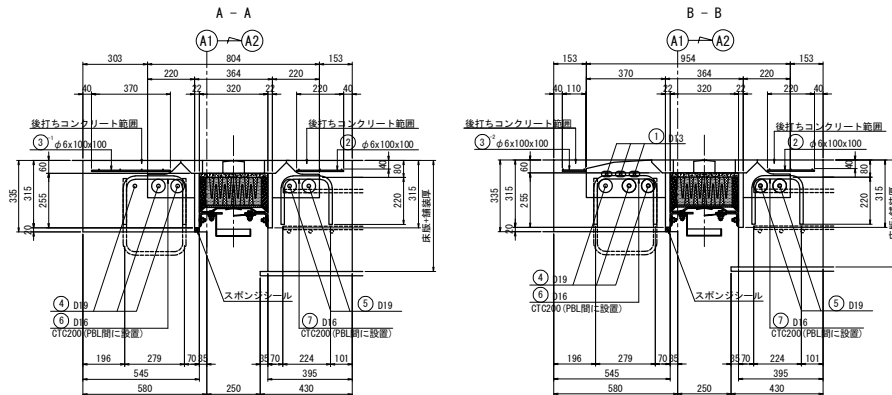
非排水断面図 S=1:25



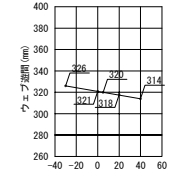
配筋図 S=1:25

壁高欄カープレート詳細図 S=1:25

※ カープレートの取付ボルトは車両進行方向の手前側に設置する。



遊間グラフ



設計条件	
温度変化移動量	11.0 mm
遊間量	250 mm

伸縮装置材料表

記号	項目	種別	規格	数量	備考
1	SEFジョイント100	車道部	185	11.600 m	止水緩付
2	鉄筋(網鉄筋)	網鉄筋	SR235(標準)	16 kg	
3	鉄筋	補強筋	S3045	263 kg	
4	後打ちコンクリート		240mm厚以上	4.33 m ³	

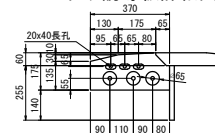
壁高欄カープレート材料表

記号	項目	種別	規格	数量	備考
1	壁高欄カープレート	壁高欄	SUS304	2 根	

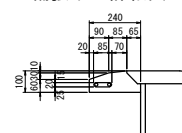
鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本質量	質量	備考
(1)	D13	10330	3	0.995	10.3	31	
(2)	φ6x100x100	220x10730	—	4.44	—	10	
(3)	φ6x100x100	370x 880	—	4.44	—	1	
(3')	φ6x100x100	110x10730	—	4.44	—	5	
(4)	D19	10930	3	2.25	24.6	74	
(5)	D19	10930	2	2.25	24.6	49	
(6)	D16	680	53	1.56	1.06	56	
(7)	D16	630	54	1.56	0.983	53	
※ 鉄筋はすべてエポキシ樹脂塗装鉄筋とする							
				D19	123 kg (S3045)		
				D16	109 kg (S3045)		
				D13	31 kg (S3045)		
				φ6x100x100	16 kg (SR235標準)		
				合計	279 kg		

プラウ誘導板詳細図 S=1:25



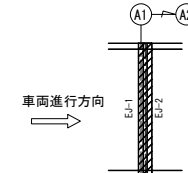
補強リブ詳細図 S=1:25



フェイスプレート先端加工 S=1:25



配置図



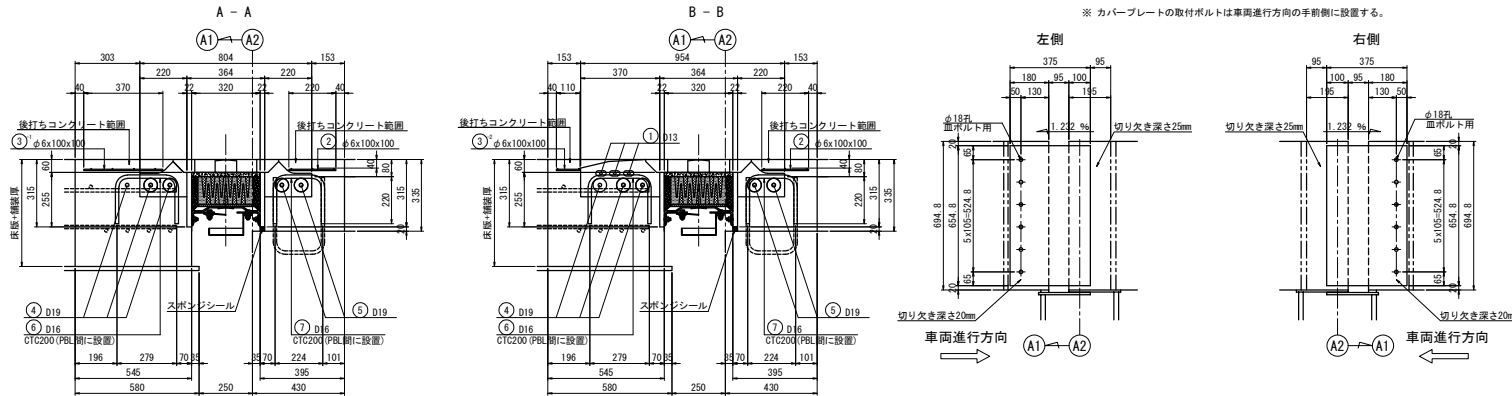
注記

1. 施工において図面相物品とする。
2. 特記なき材質はすべて SM400Aとする。
3. () 内の寸法は横断勾配を考慮した値とする。
4. 鉄筋は伸縮装置に含むものとする。

道 京 自 動 車 道			
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 伸縮装置(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	43 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

Technical drawing of a bridge deck cross-section showing reinforcement details. The drawing includes dimensions for the deck width (5600mm), reinforcement spacing (100mm), and various reinforcement diameters (e.g., 16mm, 22mm, 18mm). It also shows the location of the reinforcement relative to the deck edges and the centerline.

※ カバープレートの取付ボルトは車両進行方向の手前側に設置する。



記号	径	長さ	本数	単位質量	積算質量	質量	備考
①	D13	10330	3	0.995	10	31	—
②	φ610x100x10	220x10730	—	4.44	—	10	—
③	φ610x100x10	370x 880	—	4.44	—	1	—
④	φ610x100x10	110x10730	—	4.44	—	5	—
⑤	D19	10930	3	2.25	24.6	74	—
⑥	D19	10930	2	2.25	24.6	49	—
⑦	D16	680	53	1.56	1.06	56	—
⑧	D16	630	54	1.56	0.983	53	—

※ 鉄筋はすべてエポキシ樹脂塗装鉄筋とする

D19	123	kg (S0345)
D16	109	kg (S0345)
D13	31	kg (S0345)
φ610x100x10	16	kg (SR233補筋)
合計	279	kg

Technical drawing of a mechanical part with dimensions. The drawing shows a side view of a component with a total width of 240. The top edge has a profile with a central section of 90, flanked by 85 on the left and 65 on the right. The bottom edge has a profile with a central section of 85, flanked by 20 on the left and 70 on the right. The total height is 100. The drawing includes a section line and a hatched area, indicating a cross-section.

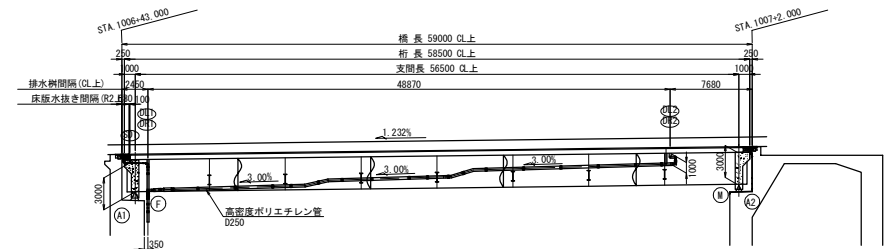
車両進行方向

A1 A2

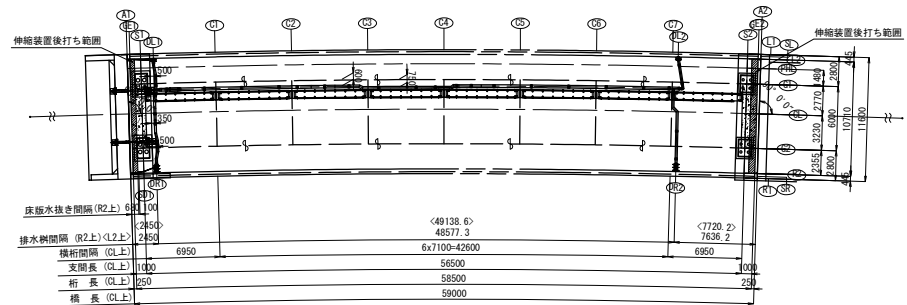
E-3 E-4

道 東 自 動 車 道 串 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 伸縮装置 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	44 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 事務工車庫事務所		

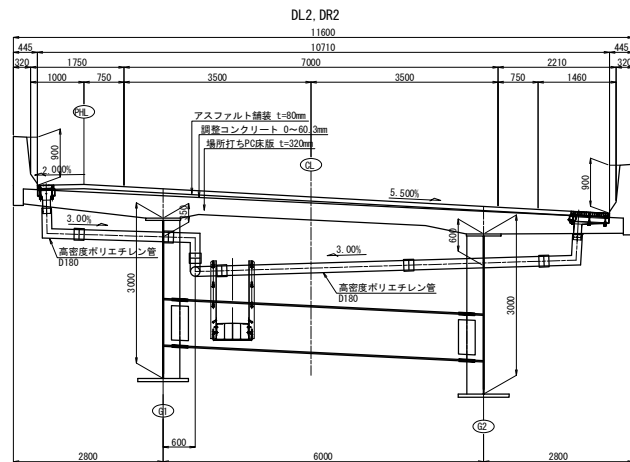
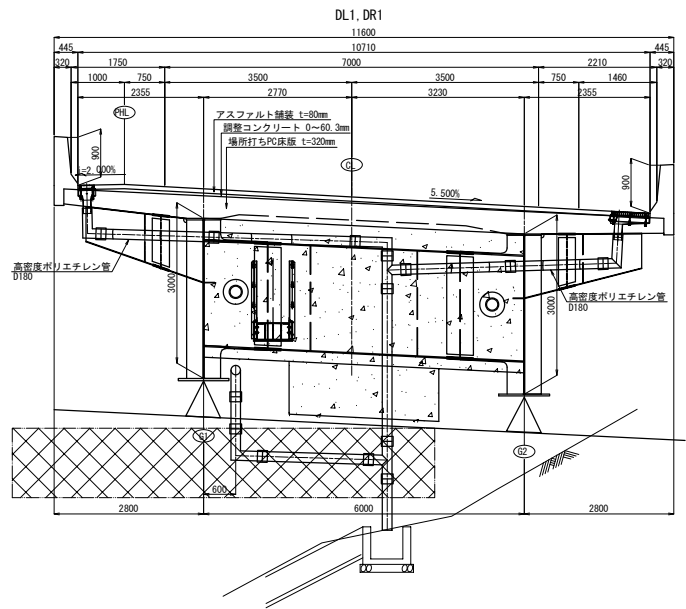
側 面 図



平 面 図



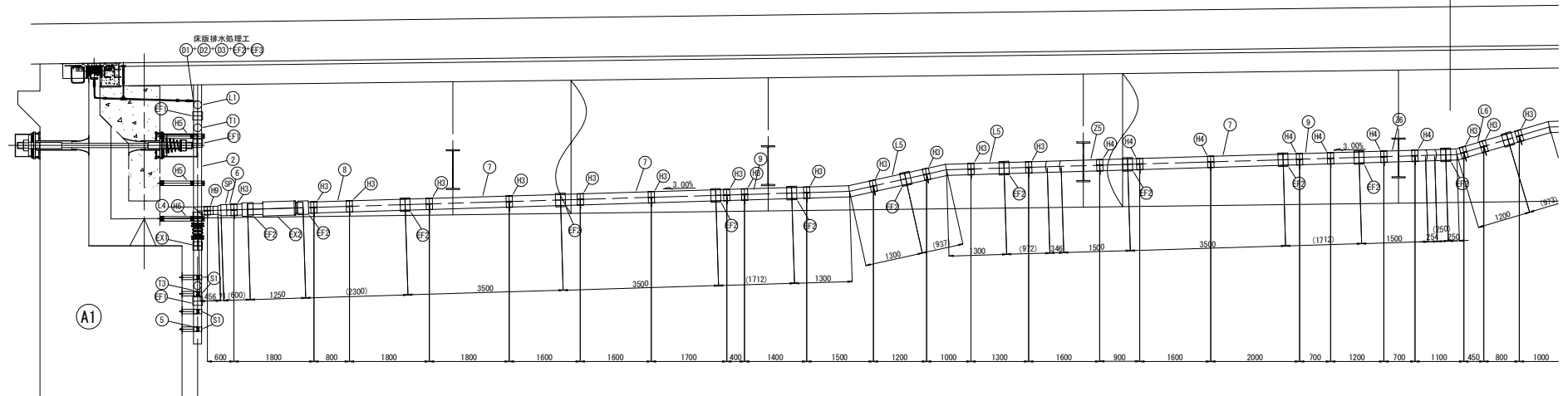
断 面 図 S=1:100



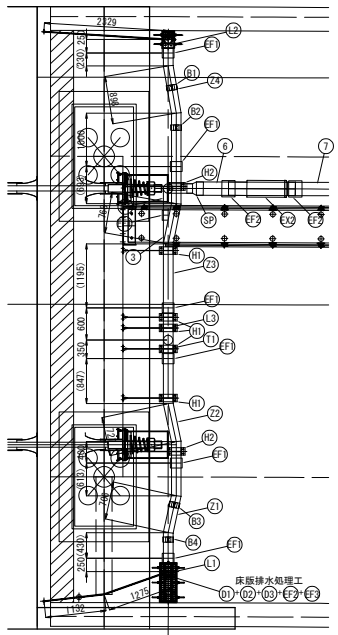
道 京 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 排水系統図		
縮 尺	図示	図面番号	45 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

側面図

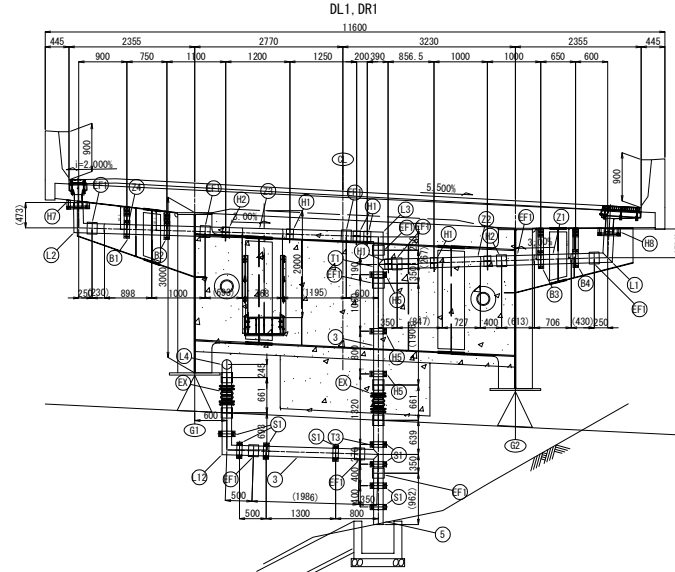
その1で計上 その2で計上



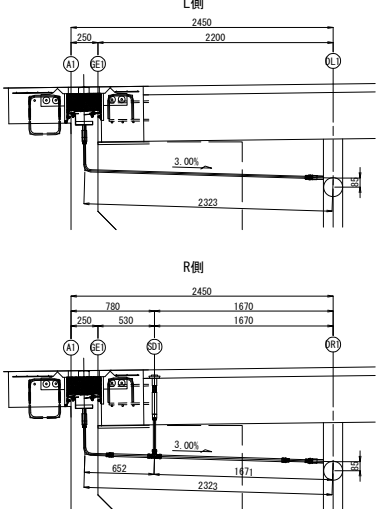
平面図



断面図



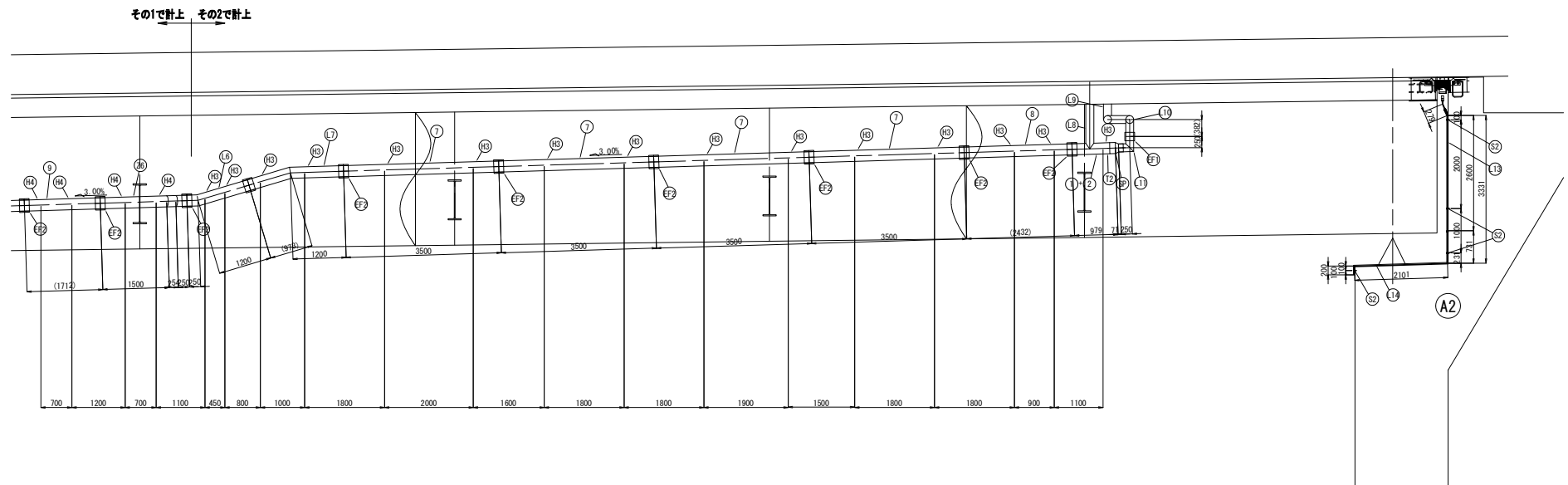
桁端排水詳細 S=1:50



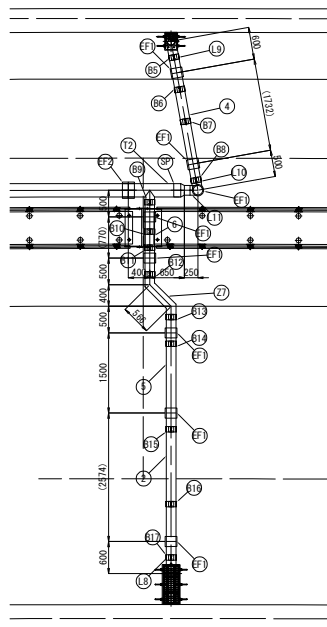
注記
1. 排水管は、高密度ポリエチレン管とする。

道 交 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
トマム橋 排水装置図(その1)			
図面の種類	縮 尺	図示	図面番号 46 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

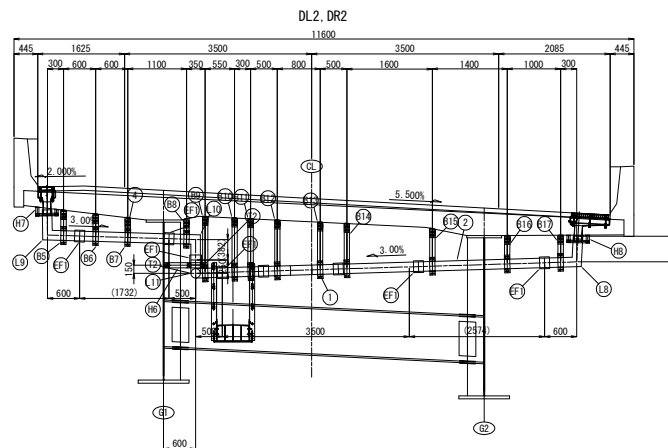
側面図



平面図



断面図



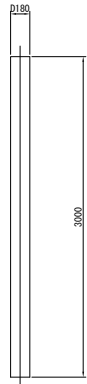
注記
1. 排水管は、高密度ポリエチレン管とする。

道 東 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
トマム橋 排水装置図(その2)			
図面の種類	縮 尺	図示	図面番号 47 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

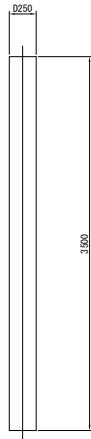
① 製作数:1本



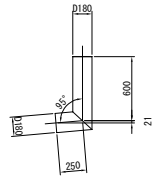
② 製作数:1本



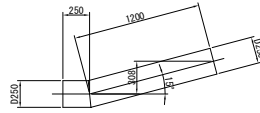
⑦ 製作数:7本



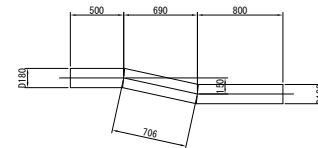
①① 製作数:1本



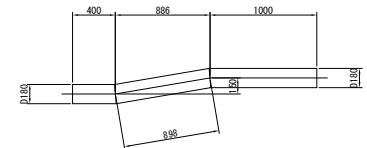
①⑤ 製作数:1本



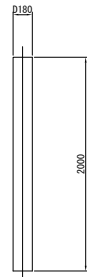
②① 製作数:1本



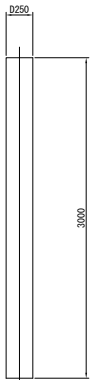
②④ 製作数:1本



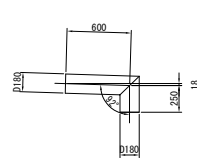
④ 製作数:1本



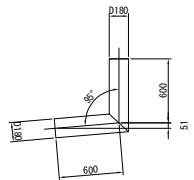
⑧ 製作数:2本



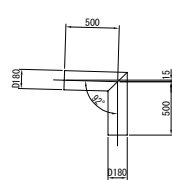
③ 製作数:1本



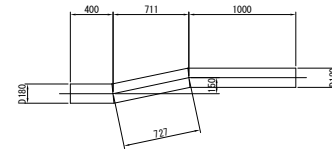
③ 製作数:1本



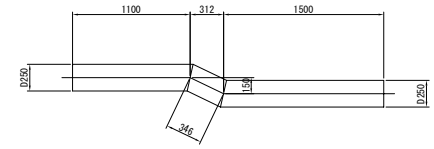
③⑩ 製作数:1本



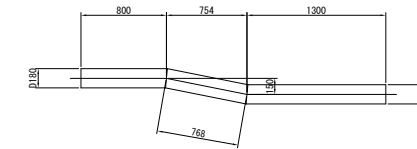
②② 製作数:1本



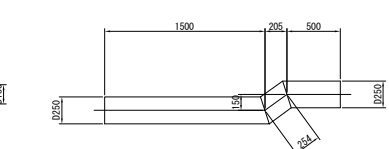
②⑤ 製作数:1本



②③ 製作数:1本



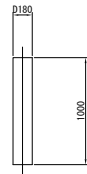
②⑥ 製作数:1本



③ 製作数:2本



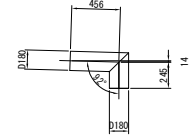
⑥ 製作数:2本



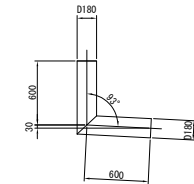
⑨ 製作数:2本



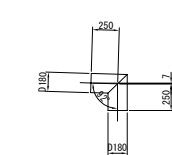
④④ 製作数:1本



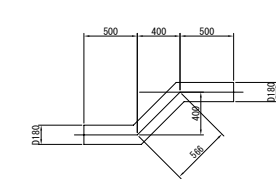
④⑤ 製作数:1本



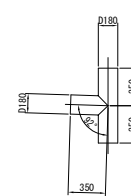
④① 製作数:1本



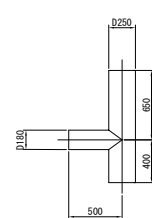
⑦① 製作数:1本



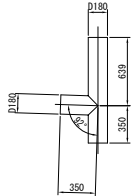
⑦① 製作数:1本



⑦② 製作数:1本



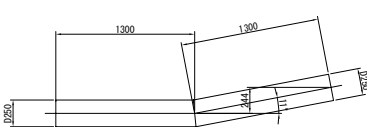
⑦③ 製作数:1本



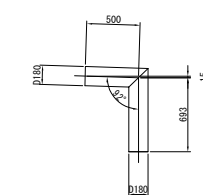
⑤ 製作数:2本



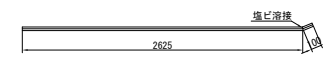
⑤⑤ 製作数:2本



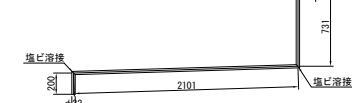
⑤② 製作数:1本



⑬③ 製作数:2本

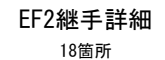
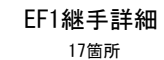
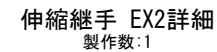


⑬④ 製作数:2本

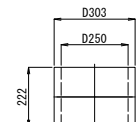
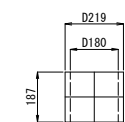
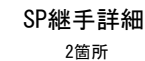


注記
1. 排水管は、高密度ポリエチレン管とする。

道 東 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
トマム橋 排水装置図(その3)				
図面の種類	縮 尺	図示	図面番号	48 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所			



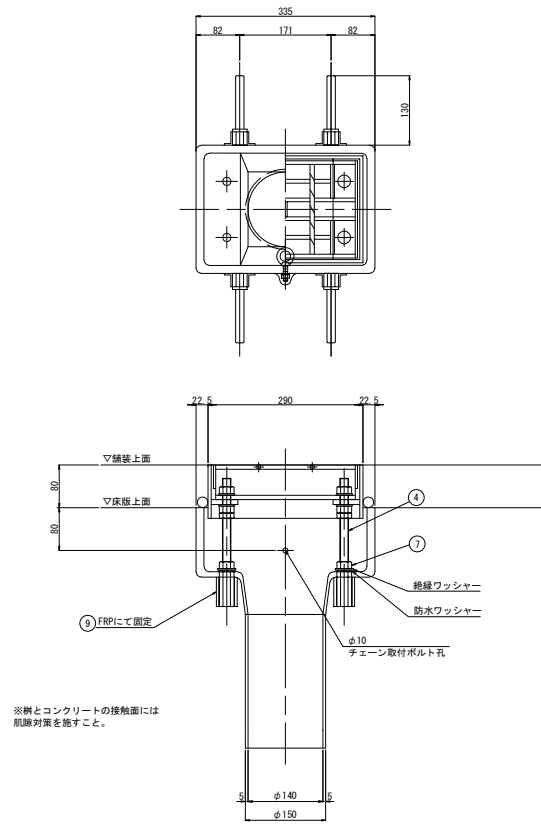
コンクリート用止め金具詳細 S=1:5



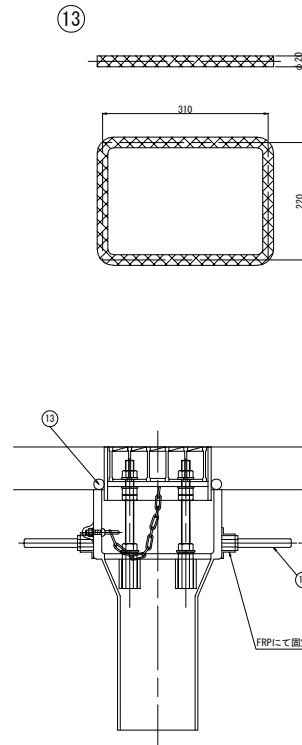
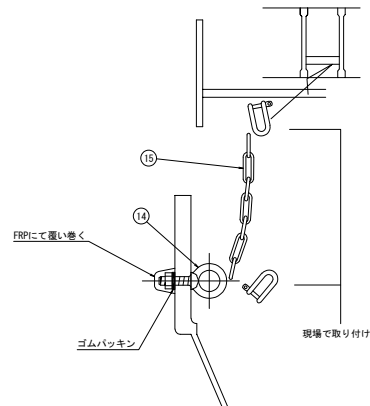
注記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ボルト付ナットは、全て締め止めナットを使用すること。
3. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
重鉛の膜厚は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm未満の部材、ボルト・ナット類はHDZ49とする。
4. ボルトは、めっき付着を考慮し、ボルト径+3mmとする。

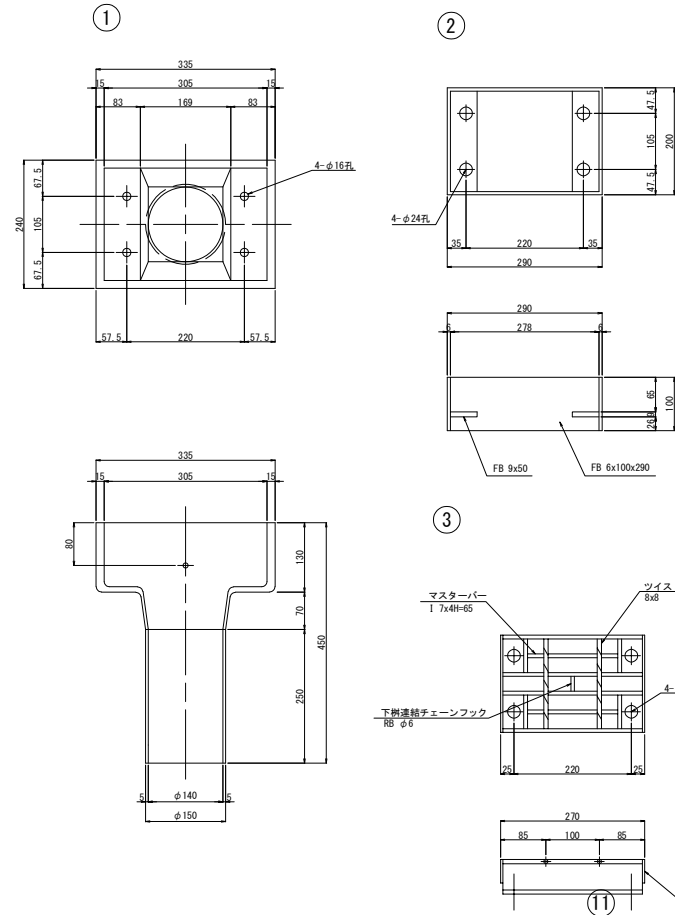
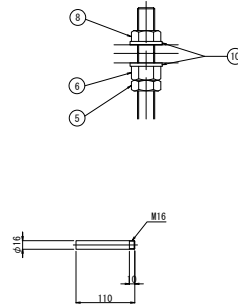
道東自動車道 串内橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	トマム橋 排水装置図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	49 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 旭川工事事務所		



チェーン取付部詳細 S=1:5



グレーチング枠止ボルト部詳細 S=1:5



製作数:2

番号	材料表	部品名称	材質	寸法	数量	重量	備考
1	本体上部	FRP		240x235x450	1	5.5	
2	本体下部	SS400		200x290x100	1	5.83	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)
3	グレーチング	SS400		182x270x65	1	5.20	溶融亜鉛メッキ (HDZ50)
4	調整ボルト	SS400		M16x220+1切頭	4	1.40	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)
5	調整ナット (1)	SS400		M16 JIS 1種	4	0.12	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)
6	調整ナット (2)	SS400		M16 JIS 1種	4	0.18	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)
7	固定ナット	SS400		M16 JIS 1種	4	0.18	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)
8	グレーチング固定ナット	SS400		M16 JIS 1種	4	0.18	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)
9	支持ナット	SS400		M16x50高ナット	4	0.52	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)
10	平度金	SS400		呼びF16並丸	8	0.10	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)
11	アンカーバー	SS400		φ16x110	4	0.70	
12	インサートナット	SS400		M16x30高ナット	4	0.05	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)
13	ペーゾドレン	ポリエスチル		φ20	1	—	
14	アイボルト	SS400		M8x30	1	—	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)
15	チェーン	SS400		φ5x200	1	—	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)
合計重量						19.96 kg	

※絶縁w、防水w含む

※ナット、ゴムw含む
※2-シャックル含む

注記
1. 本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なる。
2. 図取りは全てR10とする。

道 交 自 動 車 道			
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋		
	排水装置図(その7)		
縮 尺	図示	図面番号	52 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

排水管 A 材料表

流芯延長 11.5m

番号	項 目	種 別	規 格・寸 法	単 位	数 量	備 考
L13	直 管	VP25	L=2.725m	本	2	
L14			L=3.032m	本	2	

排水管 C1 材料表

流芯延長 38.3m

番号	項 目	種 別	規 格・寸 法	単 位	数 量	備 考
1	直 管	D180	L=3.500m	本	1	
2			L=3.000m	本	1	
3			L=2.500m	本	2	下部工：1本
4			L=2.000m	本	1	
5			L=1.500m	本	2	下部工：1本
6			L=1.000m	本	2	
L1	接続管（加工管）	D180用	L=0.850m	本	1	
L2			L=0.850m	本	1	
L3			L=0.850m	本	1	
L4			L=0.701m	本	1	
L8			L=1.200m	本	1	
L9			L=1.200m	本	1	
L10			L=1.000m	本	1	
L11			L=0.500m	本	1	
L12			L=1.193m	本	1	下部工
Z1			L=2.006m	本	1	
Z2			L=2.127m	本	1	
Z3			L=2.868m	本	1	
Z4			L=2.298m	本	1	
Z7			L=1.566m	本	1	
T1			L=1.050m	本	1	
T3			L=1.339m	本	1	下部工
EX1	伸縮管			個	2	
EX2				個	1	

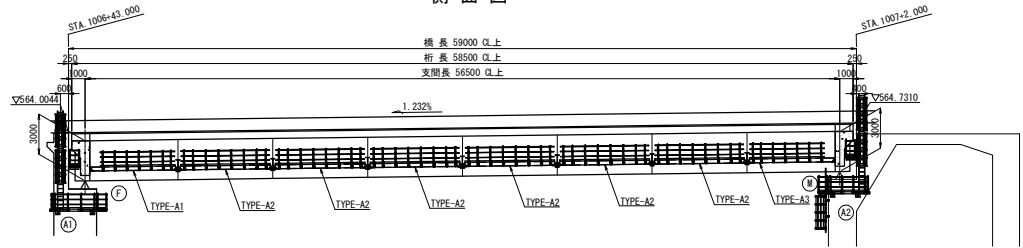
排水管 C2 材料表

流芯延長 47.5m

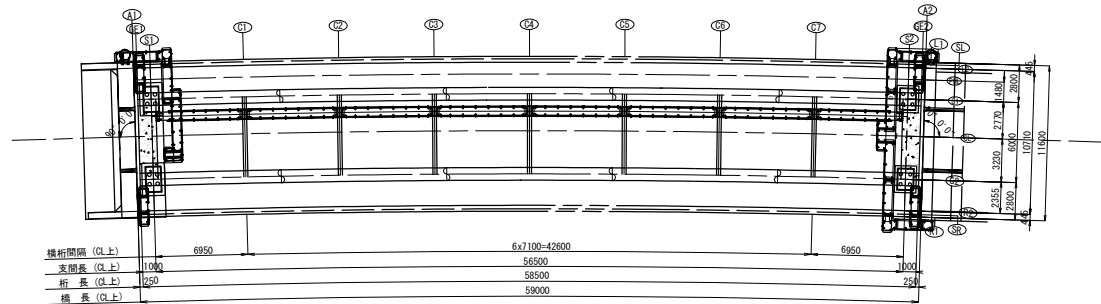
番号	項 目	種 別	規 格・寸 法	単 位	数 量	備 考
7	直 管	D250	L=3.500m	本	7	
8			L=3.000m	本	2	
9			L=2.000m	本	2	
L5	接続管（加工管）	D250用	L=2.600m	本	2	
L6			L=1.450m	本	1	
L7			L=2.400m	本	1	
Z5			L=2.946m	本	1	
Z6			L=2.254m	本	1	
T2			L=1.550m	本	1	

道 交 自 動 車 道 車 内 橋（鋼 上 部 工）工 事			
図面の種類	トマム橋 排水装置図(その8)		
縮 尺	図示	図面番号	53 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

側面図

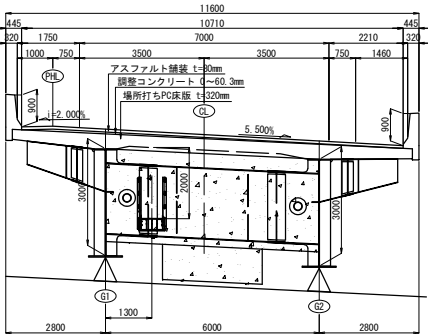


平面図

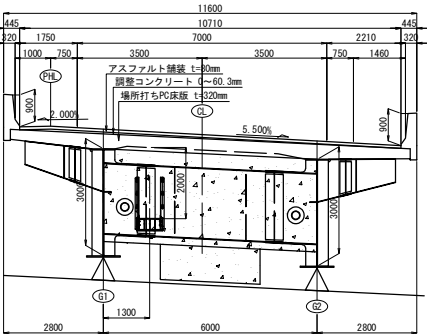


断面図 S=1:150

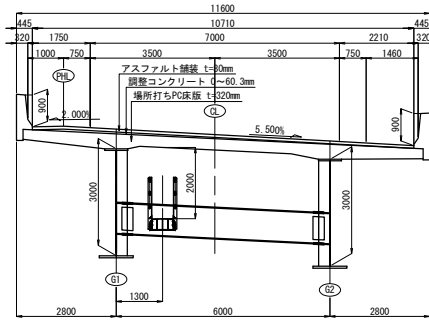
端支点上横桁S1



端支点上横桁S2



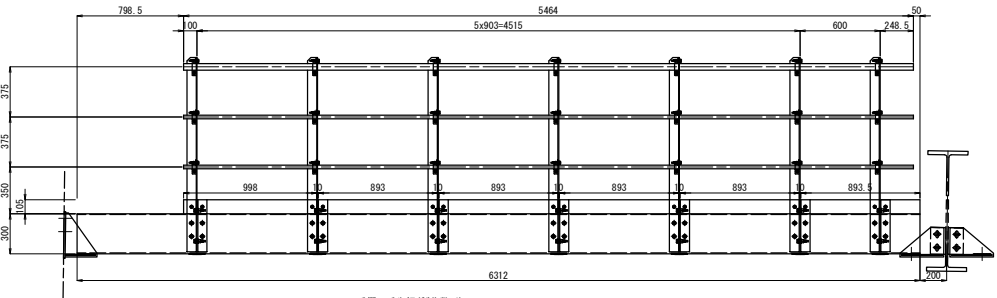
中間横桁C1～C7



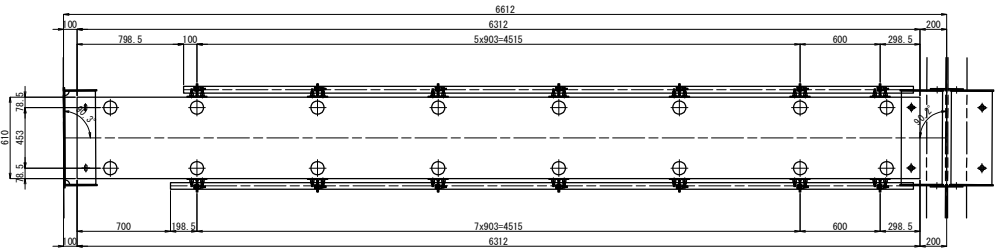
道 東 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 検査路系統図		
縮 尺	図示	図面番号	54 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

TYPE-A1

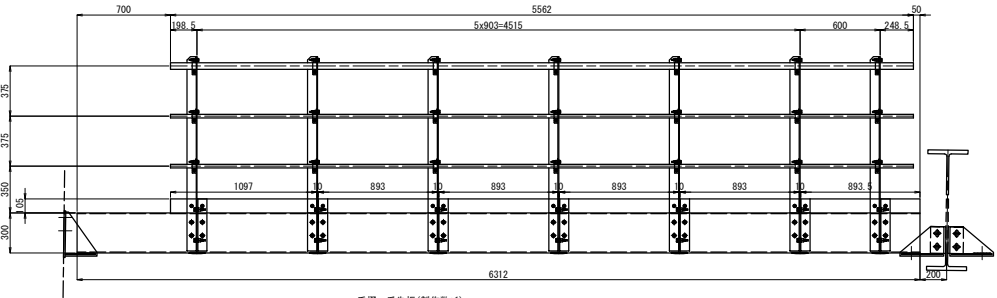
製作数：1



- 手摺・爪先板(製作数:1)
- 1-P1 PE φ50 × 6×5464 (FRP)
 - 2-P1 PE φ27 × 3.5 × 5464 (FRP)
 - 7-L 100 × 75 × 6 × 1455 (FRP)
 - 7-L 100 × 75 × 6 × 390 (FRP)
 - 7-ストップバ φ50用 (FRP)
 - 14-ストップバ φ27用 (FRP)
 - 1-PL 105 × 5 × 998 (FRP)
 - 4-PL 105 × 5 × 893 (FRP)
 - 1-PL 105 × 5 × 894 (FRP)
 - 28-BN M16 × 43L (IN, 2W) (FRP)
 - 14-BN M16 × 35L (IN, 2W) (FRP)
 - 42-BN M12 × 30L (IN, 2W) (FRP)
 - 14-BN M12 × 30L (IN, 2W) (FRP)



- FRP検査路(製作数:1)
- 1-床版 610 × 300 × 6312 (FRP)
 - 16-主桁下面閉塞カバー φ100 (EPDM)
 - 4-主桁固定部補強部材 t12 (FRP)
 - 28-支柱取付部補強部材 t8 (FRP)
 - ※ 4-BN M16 × 55 (1-W, U-ナット付) (SS400)
 - 16-BN M12 × 30L (IN, 2W) (FRP)
- 8-端部閉塞部材 t=6mm (FRP)



- 手摺・爪先板(製作数:1)
- 1-P1 PE φ50 × 6×5562 (FRP)
 - 2-P1 PE φ27 × 3.5 × 5562 (FRP)
 - 7-L 100 × 75 × 6 × 1455 (FRP)
 - 7-L 100 × 75 × 6 × 390 (FRP)
 - 7-ストップバ φ50用 (FRP)
 - 14-ストップバ φ27用 (FRP)
 - 1-PL 105 × 5 × 1097 (FRP)
 - 4-PL 105 × 5 × 893 (FRP)
 - 1-PL 105 × 5 × 894 (FRP)
 - 28-BN M16 × 43L (IN, 2W) (FRP)
 - 14-BN M16 × 35L (IN, 2W) (FRP)
 - 42-BN M12 × 30L (IN, 2W) (FRP)
 - 14-BN M12 × 30L (IN, 2W) (FRP)

検査路数量表

項目	種別	規格	数量	単位
検査路	A1	FRP検査路	施工延長	52.890 m
			質量	4.760 t
		鋼材質量	支持金具 (総質量)	0.440 t
			支持金具 (メッキ質量)	0.391 t
			支持金具 (換付付)	0.049 t
		ANCHER M16×100 (1-W, U-ナット付)	SS400 (メッキ)	20 本
		M20×50 (2W, U-ナット付)	SS400 (メッキ)	56 本
		M16×55 (1W, U-ナット付)	SS400 (メッキ)	32 本
		130 × 5 × 620	EPDM	16 枚

FRP検査路材料表

TYPE	形状・寸法	単位質量	長さ	質量 (kg)	材質
A1	610 × 300 × 6,312	90 kg/m	1	568	FRP
A2	610 × 300 × 6,711	90 kg/m	6	3,624	FRP
A3	610 × 300 × 6,312	90 kg/m	1	568	FRP
計			8	4,760	

鋼材質量

種別	型材寸法 (mm)	個数	単位質量 (kg)	1個当たり質量 (kg)	質量 (kg)	材質	ネット率 (%)	消費
A1 支持金具 S1		個所数: 1箇所						
PL	350 × 12 × 738	1	32.970	24.332	24	SM400A	100	BASE
PL	228 × 9 × 700	1	16.108	11.276	11	SM400A	100	梁台
PL	228 × 9 × 330	2	16.815	3.274	7	SM400A	59	WEB
		小計			42			
		合計 1箇所			42			

種別	型材寸法 (mm)	個数 (個)	単位質量 (kg)	1個当り質量 (kg)	質量 (kg)	材質	ネット率 (%)	消費
A2 支持金具 S2	個所数: 1箇所							
PL 350 × 12 × 738	1	32.970	24.332	24	SM400A	100	BASE	
PL 228 × 9 × 700	1	16.108	11.276	11	SM400A	100	梁台	
PL 238 × 9 × 333	2	16.815	3.248	6	SM400A	58	WEB	
	小計				41			
	合計	1箇所			41			

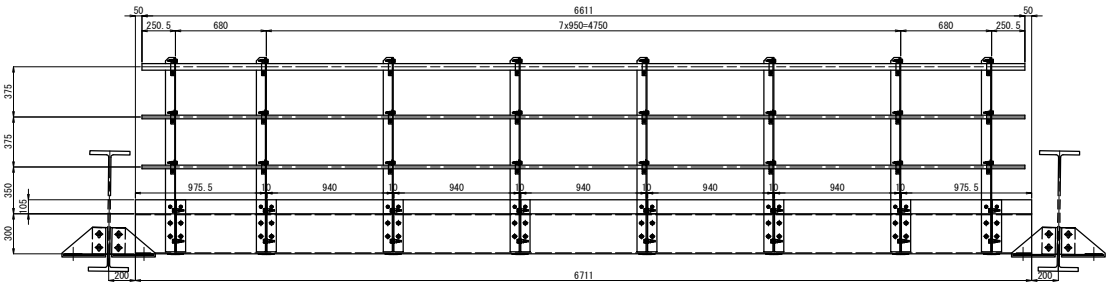
種別	型材寸法 (mm)	個数	単位質量	1個当り質量	質量	材質	ネット率 (%)	消費
C1~C7	支持金具	個所数: 7箇所						
PL	307 × 9 × 700	2	21.690	15.183	30	SM400A	100	梁台
PL	225 × 9 × 327	2	15.543	3.558	7	SM400A	70	支持材
PL	225 × 9 × 267	2	15.896	3.639	7	SM400A	70	支持材
PL	115 × 9 × 200	4	8.125	1.625	7	SM400A	100	換付付
小計					51			
合計					7箇所	357		

注記

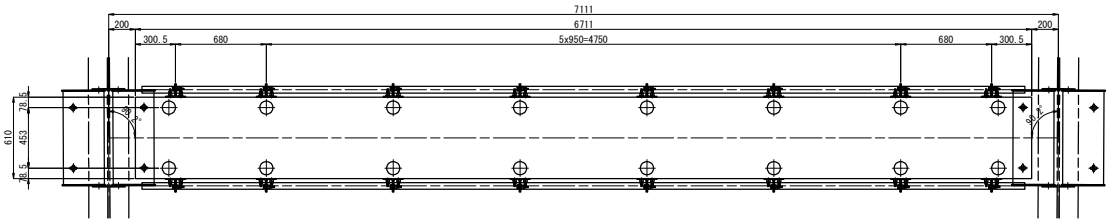
- 特記無き材質は全てSS400とする。
- 普通ボルトは全てゆるみ止めナット付とする。
- ※印部材は溶融亜鉛メッキを施すものとする。
膜厚はJIS H 8641 H02T 77によるものとし、ボルト・ナット類はJIS H 8641 H02T49とする。
- 多行面は滑り止め加工を行うものとする。
- FRP部材の外表面にはフッ素樹脂塗装を施す。
- FRP部材の標準色はマンセル記号N7 近似的とする。

道 東 自 動 車 道				
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
図面の種類	トマム橋 上部工検査路(その1)			
縮 尺	図示	図面番号	55 / 75	
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

TYPE-A2
製作数：6



- 手摺・爪先板(製作数:2)
- 1-P1 PE φ50× 6×6611 (FRP)
 - 2-P1 PE φ27×3.5×6611 (FRP)
 - 8-L 100×75×6×1455 (FRP)
 - 8-L 100×75×6× 390 (FRP)
 - 8-ス トップ φ50用 (FRP)
 - 16-ス トップ φ27用 (FRP)
 - 2-PL 105×5×976 (FRP)
 - 5-PL 105×5×940 (FRP)
 - 32-BN M16×43L (IN, 2W) (FRP)
 - 16-BN M16×35L (IN, 2W) (FRP)
 - 48-BN M12×30L (IN, 2W) (FRP)
 - 16-BN M12×30L (IN, 2W) (FRP)

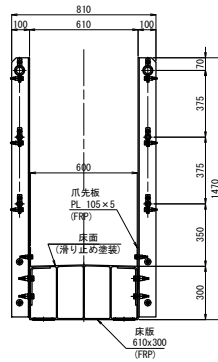


- FRP検査路(製作数:1)
- 1-床版 610×300×6711 (FRP)
 - 16-主桁下面閉塞カバー φ100 (EPDM)
 - 4-主桁固定部補強部材 t12 (FRP)
 - 36-支柱取付部補強部材 t8 (FRP)
- ※ 4-BN M16×55 (1-W, U-ナット付) (SS400)
- 16-BN M12×30L (IN, 2W) (FRP)
- 8-端部閉塞部材 t=6mm (FRP)

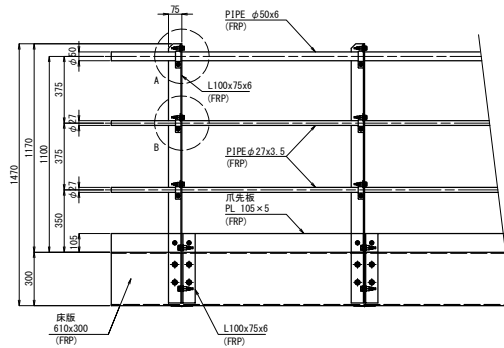
注記

- 特記無き材質は全てSS400とする。
- 普通ボルトは全てゆるみ止めナット付とする。
- ※印部材は溶融亜鉛メッキを施すものとする。
膜厚はJIS H 8641 HDZT 77によるものとし、ボルト・ナット類はJIS H 8641 HDZT49 とする。
- 多行面は滑り止め加工を行うものとする。
- FRP部材の外面にはフッ素樹脂塗装を施す。
- FRP部材の標準色はマンセル記号N7 近似色とする。

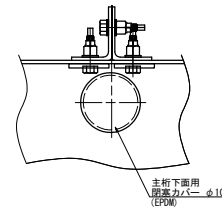
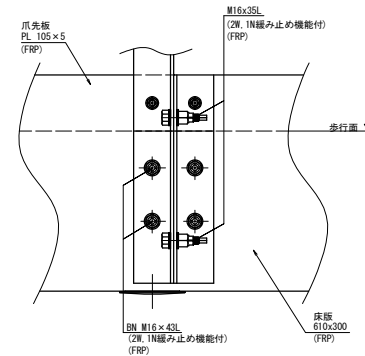
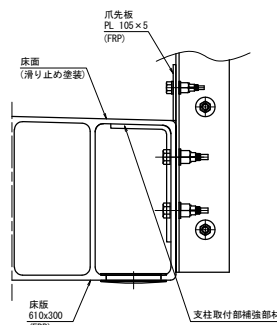
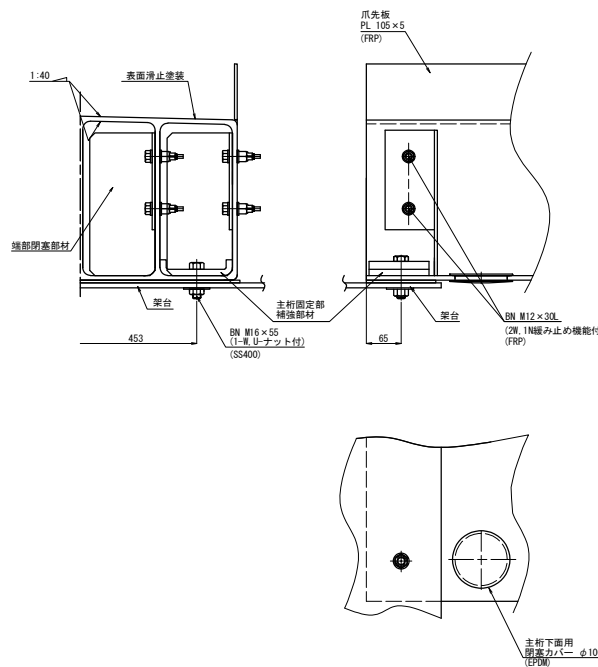
道 交 自 動 車 道				
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
図面の種類	トマム橋			
	上部工検査路(その2)			
縮 尺	図 示	図面番号	56 / 75	
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			



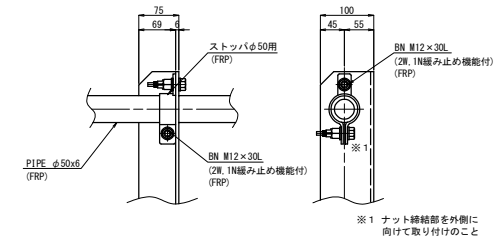
検査路端部構造図 S=1:10



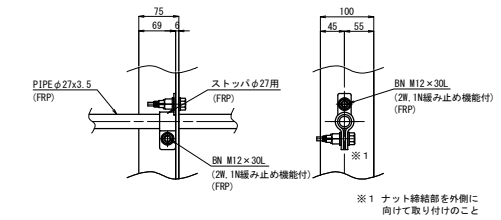
支柱固定部断面構造図 S=1:10



A部詳細 (手摺上段) S=1:5



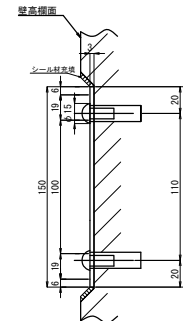
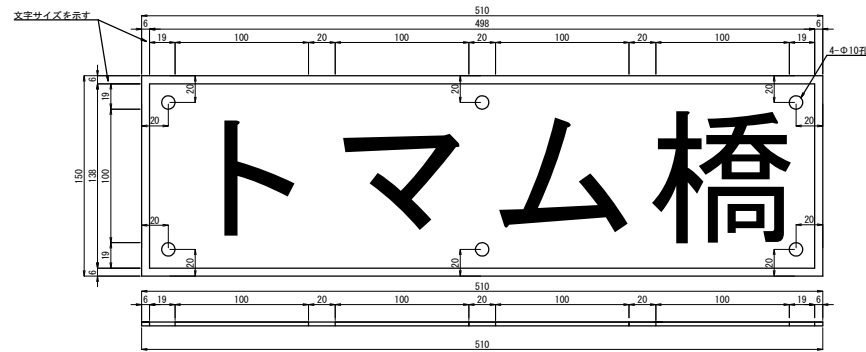
B部詳細 (両端部手摺中下段) S=1:5



- 注記
- FRP部材の標準色はマンセル記号N7近似色とする。
 - ナットは構造物施工管理要領2-5-9のゆるみ止め機能有するものを使用する。
 - 主桁と支柱をボルト固定するため、支柱設置部付近の主桁下面にφ100の孔加工を施す。
 - 主桁下面の孔 (φ100) は、検査路組立後閉塞カバーで閉塞する。
 - 主桁の端部は、端部閉塞部材により閉塞する。
 - FRP部材の外周にはフッ素樹脂塗装を施す。

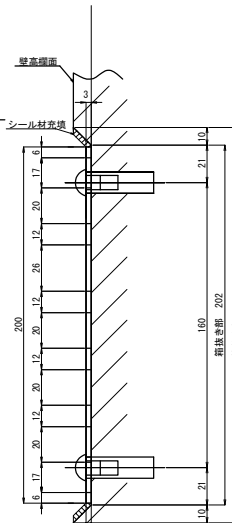
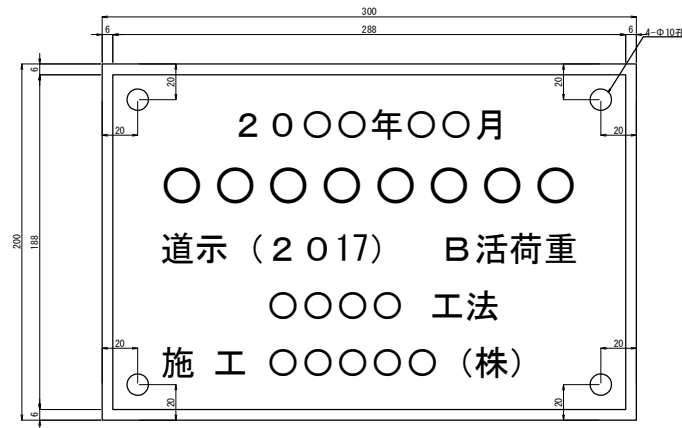
道 東 自 動 車 道				
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
図面の種類	トマム橋 上部工検査路(その4)			
縮 尺	図示	図面番号	58	/ 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

橋 名 板
製作数：1



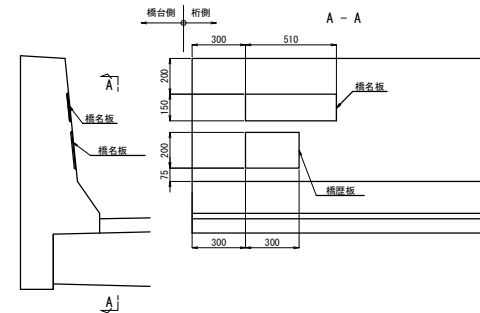
6-ホールインアンカー M8×35 (めねじアンカー) (SUS304)
6-ボルト M8×15 (すりわり付丸頭) (SUS304)

橋 歴 板
製作数：1

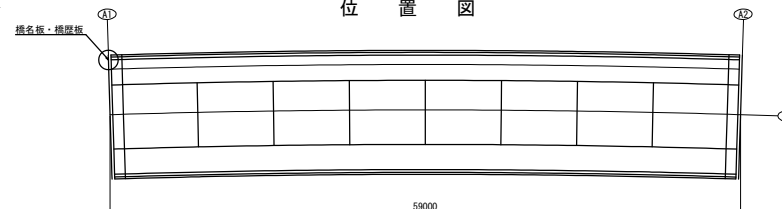


4-ホールインアンカー M8×35 (めねじアンカー) (SUS304)
4-ボルト M8×15 (すりわり付丸頭) (SUS304)

取 付 詳 細 図 S=1:30



位 置 図

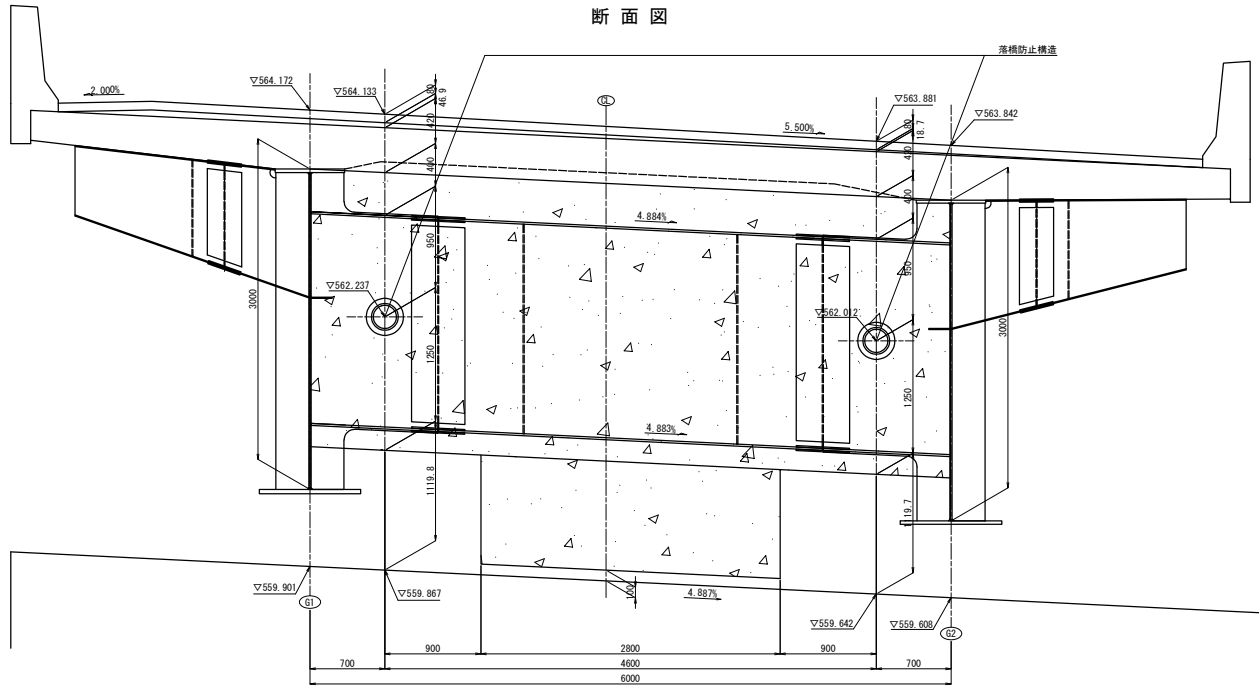


- 注記
1. JIS H4000 A 5052P (アルミニウム板)
2. 表面は高耐候性フィルム被覆とする。
3. 地：黒色 文字、縁6mm：金色とする。
4. 字体は橋名板は丸ゴシック、橋歴板はゴシックとする。
5. 取付後、シール材を施すものとする。

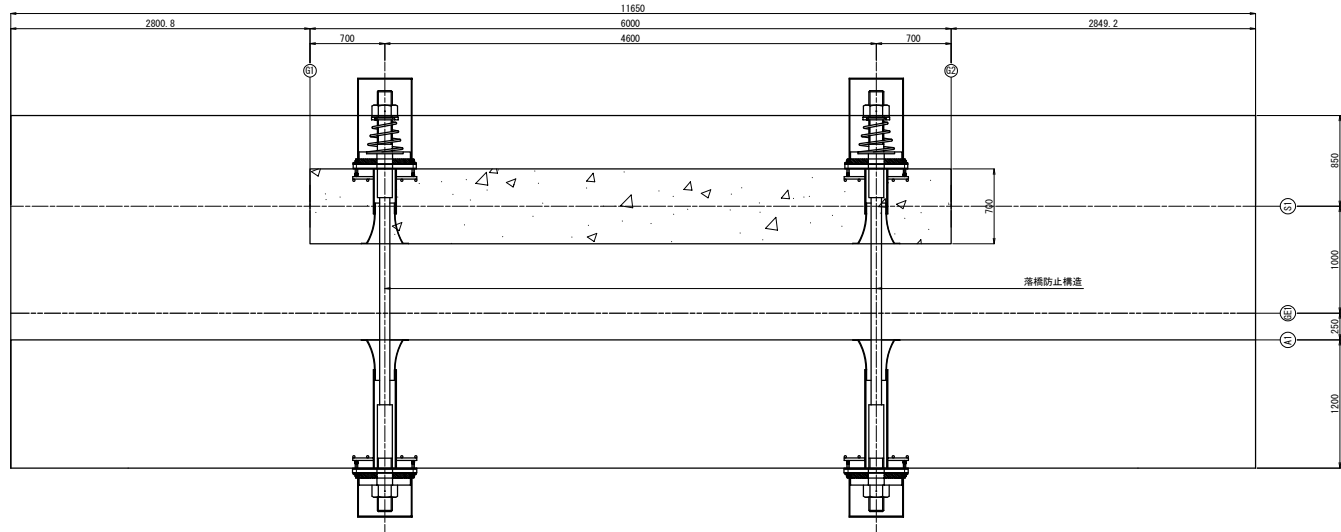
道 東 自 動 車 道 串 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
図面の種類	トマム橋 橋名板・橋設板			
縮 尺	図示	図面番号	60 / 75	
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

S1

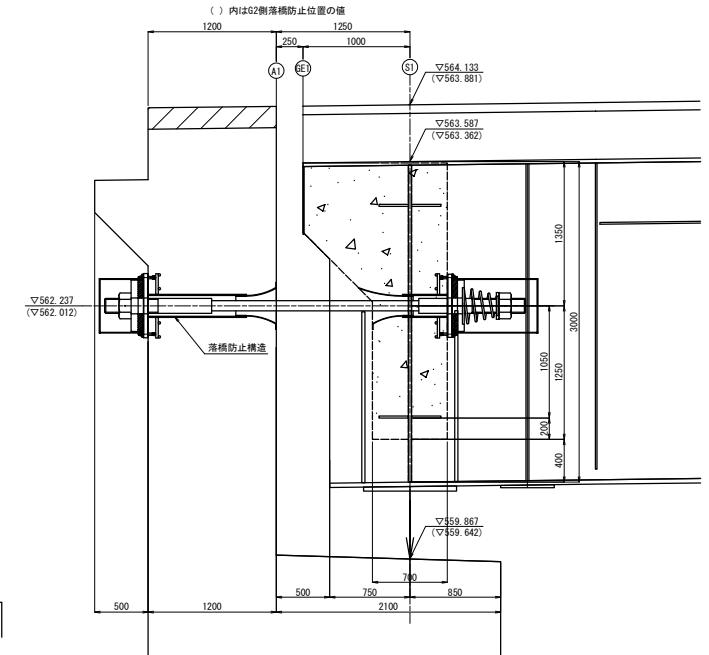
断面図



平面図



側面図



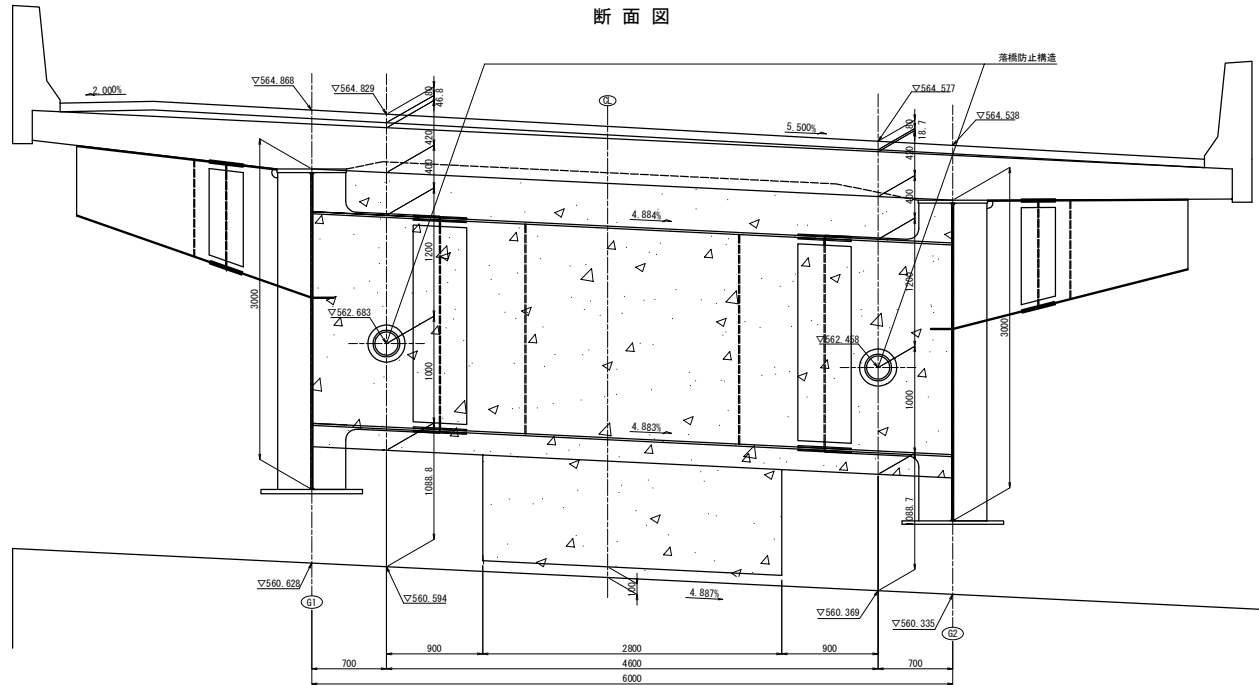
設計条件

項目	記号	単位	A1橋台
死荷重反力	Rd	kN	8556
設計移動量	SF	mm	300
設計水平力(1本当り)	H	kN	4279

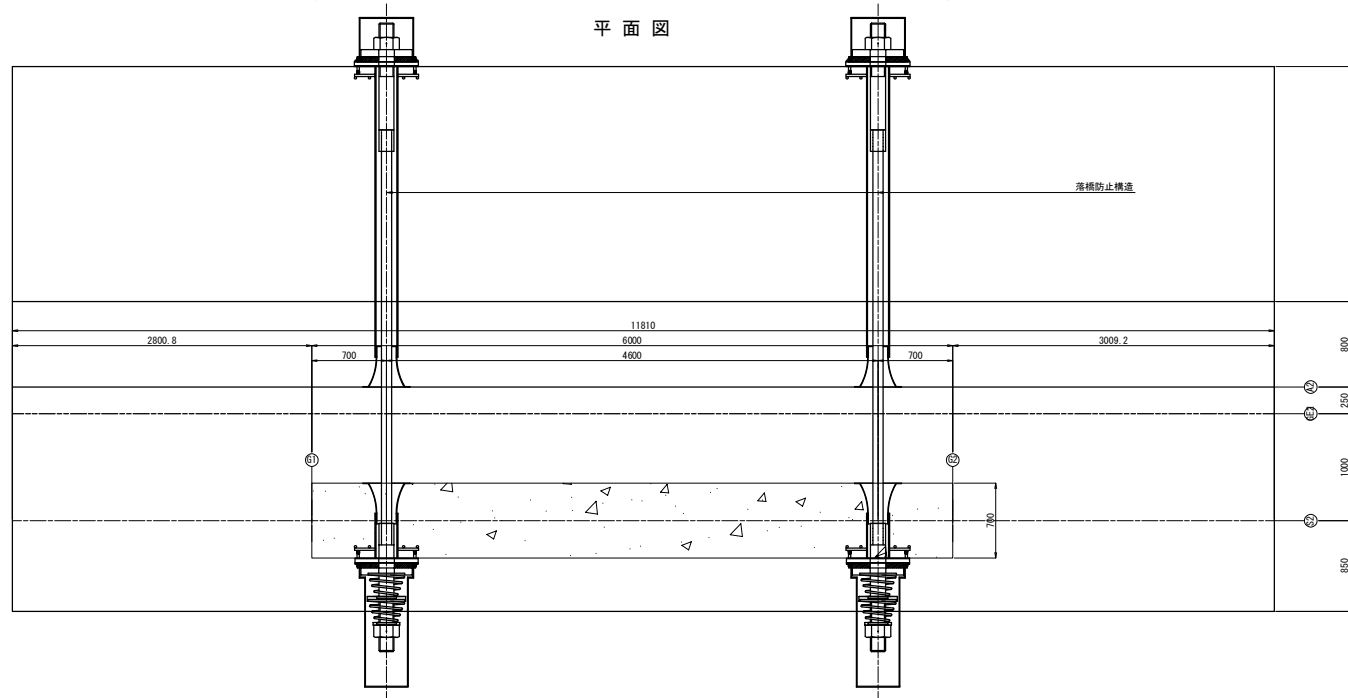
道 京 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 落橋防止構造図(その1)		
	縮 尺	図示	図面番号 61 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

S2

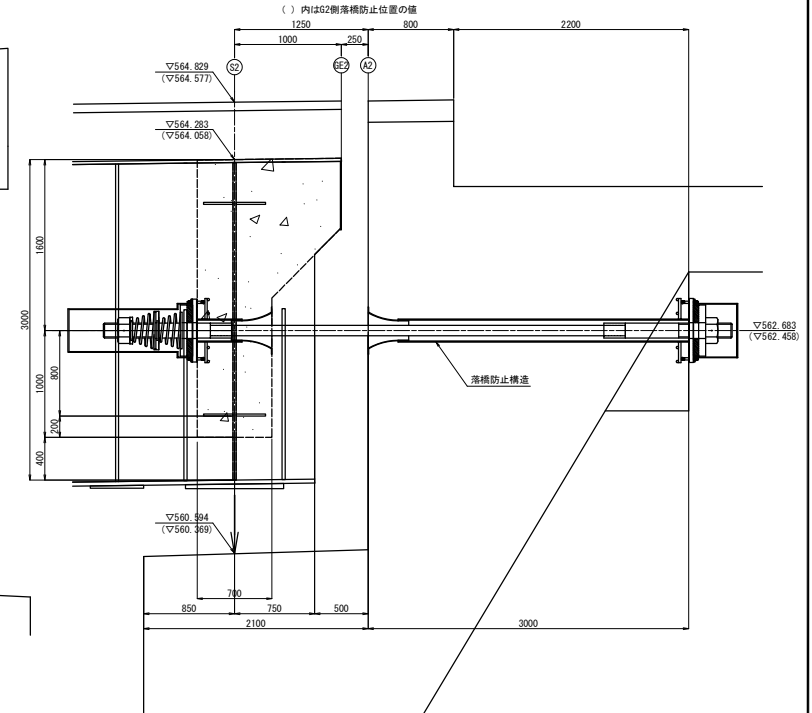
断面図



平面図



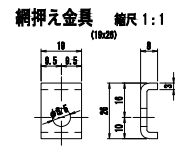
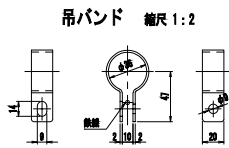
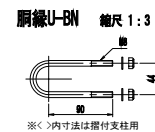
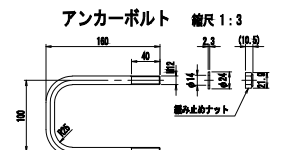
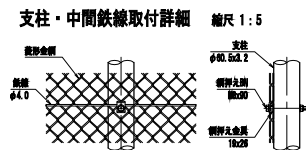
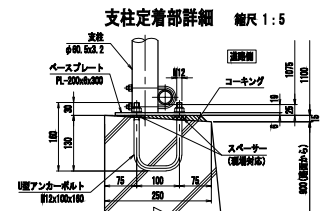
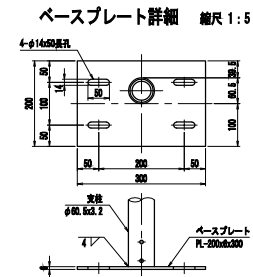
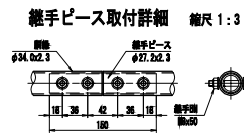
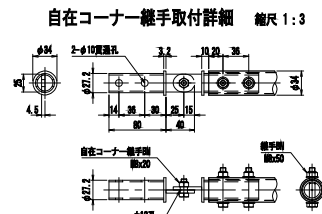
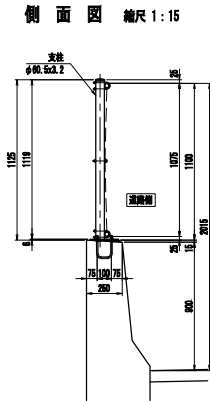
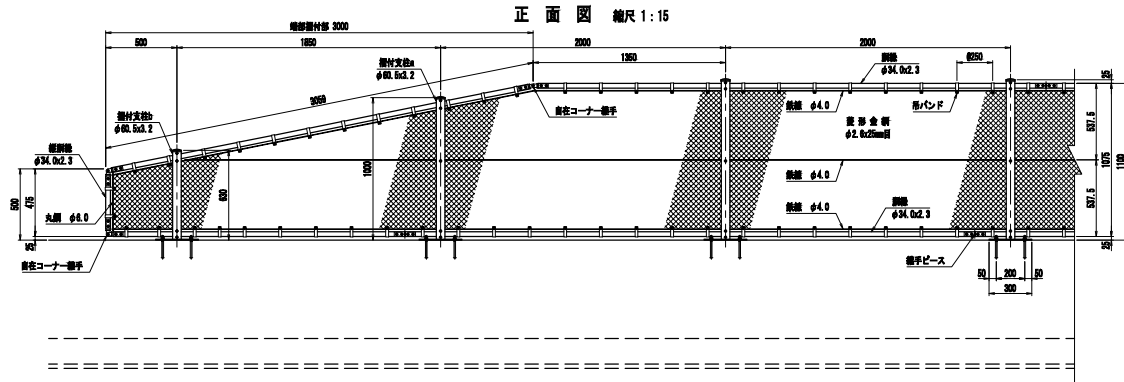
側面図



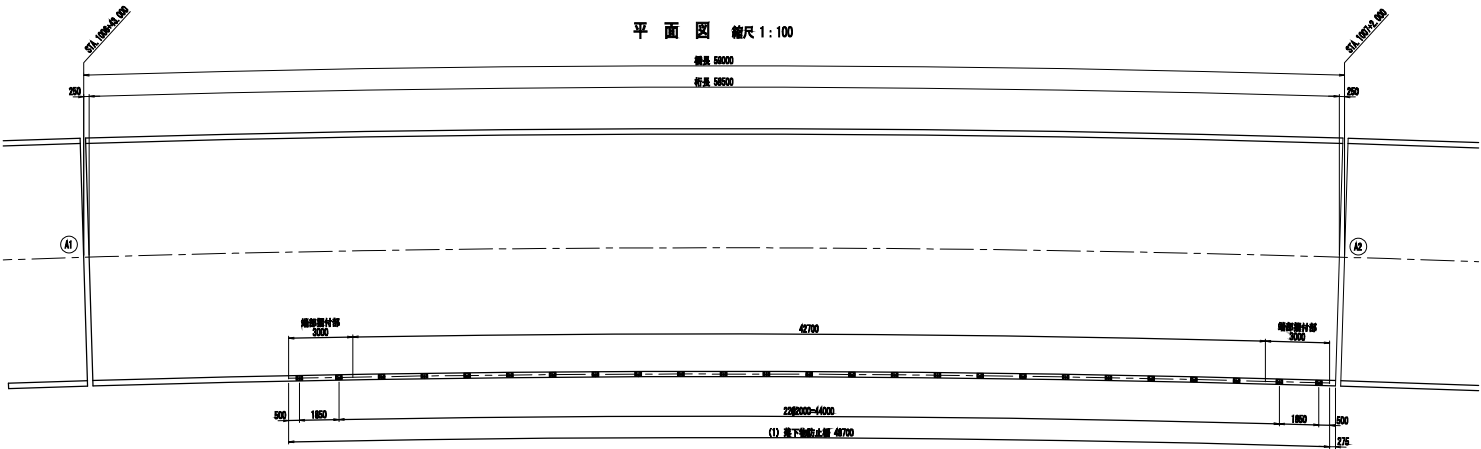
設計条件

項目	記号	単位	A2橋台
死荷重反力	Rd	kN	8556
設計移動量	SF	mm	400
設計水平力(1本当り)	H	kN	4279

道 交 自 動 車 道			
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋		
	落橋防止構造図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	62 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		



道 東 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 落下物防止柵(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	63 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



落下物防止柵 数量表

名 称	形状寸法	長さ	単位	数量	単重 kg	重量 kg	規格・規格	数量(重量)
支柱	φ90.5×3.2	1119	本	21	5.06	106.3	JIS G3444 (S10K400)	JIS H8041 (H8027.7)
横付支柱a	φ90.5×3.2	994	本	2	4.49	9.0	〃	〃
横付支柱b	φ90.5×3.2	624	本	2	3.82	7.6	〃	〃
ベースプレート	PL-200×6	300	枚	25	2.83	70.8	JIS G3101 (S400)	〃
縦筋	φ34.0×2.3		m	98	1.80	176.4	JIS G3444 (S10K400)	JIS H8041 (H8027.8)
縦筋継	φ34.0×2.3	374	本	2	0.87	1.3	〃	〃
継手ボース	φ27.2×2.3	150	個	22	0.21	4.6	〃	JIS H8041 (H8027.6)
自在コーナー継手	φ27.2×2.3, 14.5, 13.2		個	12	0.16	1.9	〃	〃
支柱キャップ	φ60.5×1.6		個	25	0.063	1.6	JIS G3131 (S10K2)	〃
吊バンド	φ36×2×47	20	個	394	0.06	23.6	〃	〃
網押え金具	19×26		個	23	0.019	0.4	〃	〃
網継ぎ-BN	MB (2継み止めN, 2W)		組	50	0.104	5.2		
網押えBN	MB (2継み止めN, 2W)	90	組	23	0.050	1.2	JIS G4300 (S10K204)	
継手BN	MB (2継み止めN, 2W)	50	組	112	0.034	3.8	鋼線式 JF A2 JIS B1140 鋼線式 SF 10	
吊バンドBN	MB (2継み止めN, 2W)	32	組	394	0.027	10.6		
自在コーナー継手BN	MB (2継み止めN, 2W)	20	組	6	0.018	0.1		
アンカーボルト	M12 (2継み止めN, 2W)	100×160	組	50	0.38	19.0	(S10K400.8)	JIS H8041 (H8027.4)
菱形金網	φ2.6×25	㎡	49	4.40	215.6		JIS G3132 JIS G3147 (S10K400-7)	JIS H8041 (H8027.4)
縦筋	φ4.0		m	146	0.11	16.1		鋼線式 JF A2 JIS B1140 鋼線式 SF 10
丸鋼	φ6.0	400	本	2	0.09	0.2	〃	〃
合計							673.3 kg	

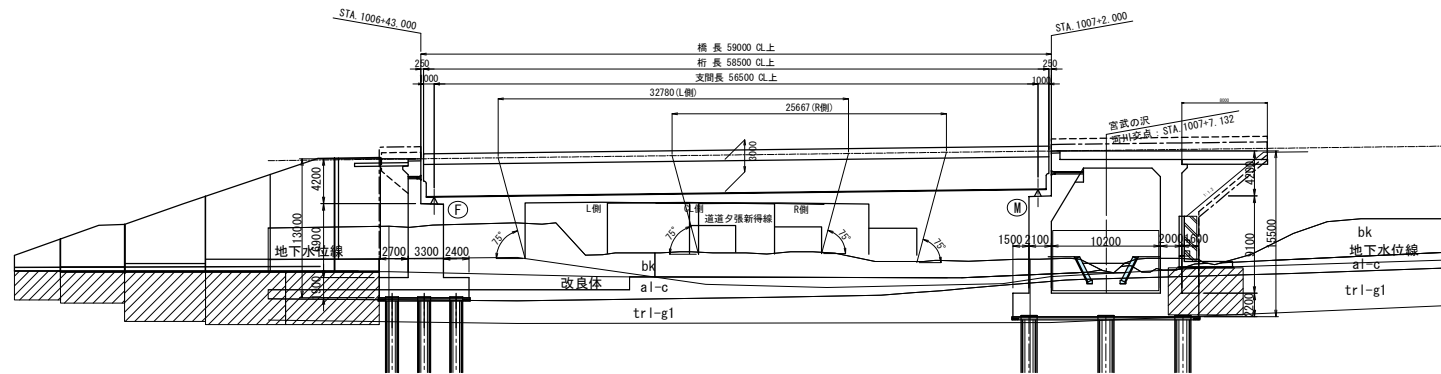
※ 継み止めアサルトは、NAS3350/3354の基準を満足するものとする。

落下物防止柵 数量表

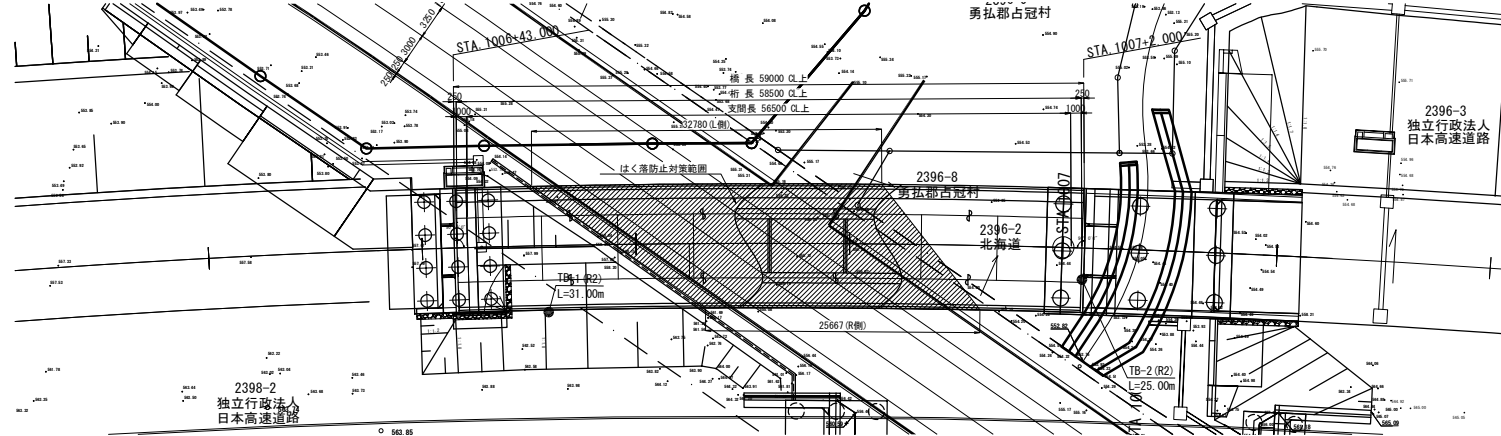
備 考	規格	数量	備考
(1)	G1-2 PF型	46.7m	
合計		46.7m	

道 京 自 動 車 道			
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 落下物防止柵(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	64 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

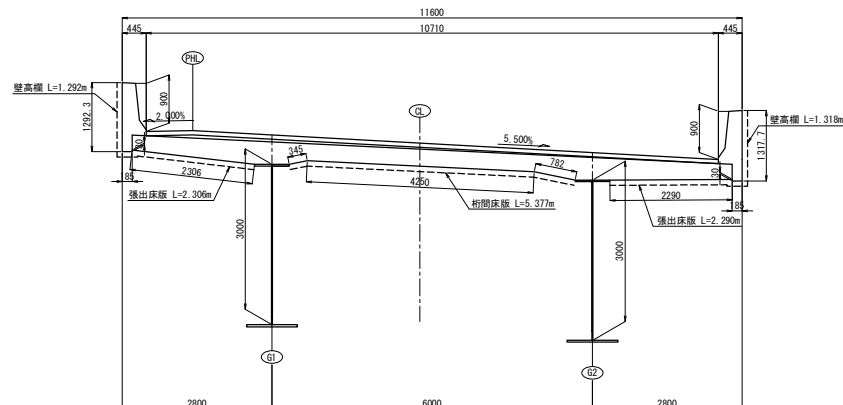
側面図



平面図



標準断面図 S=1:100



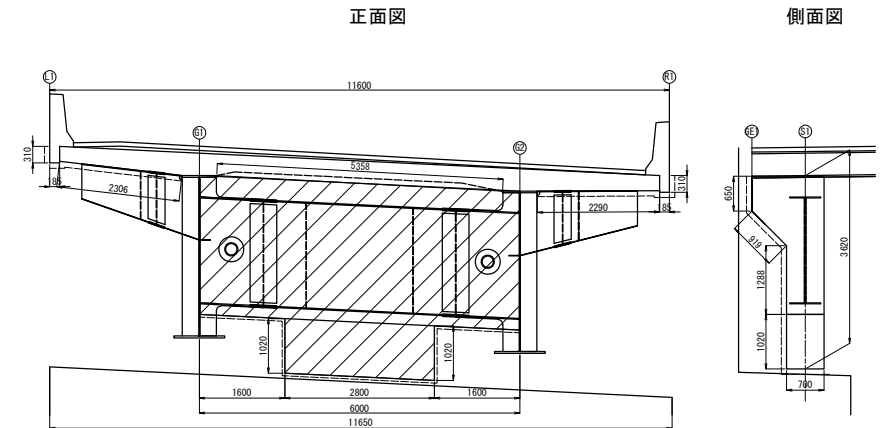
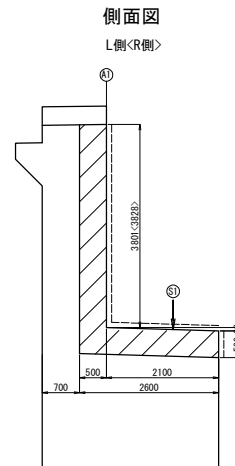
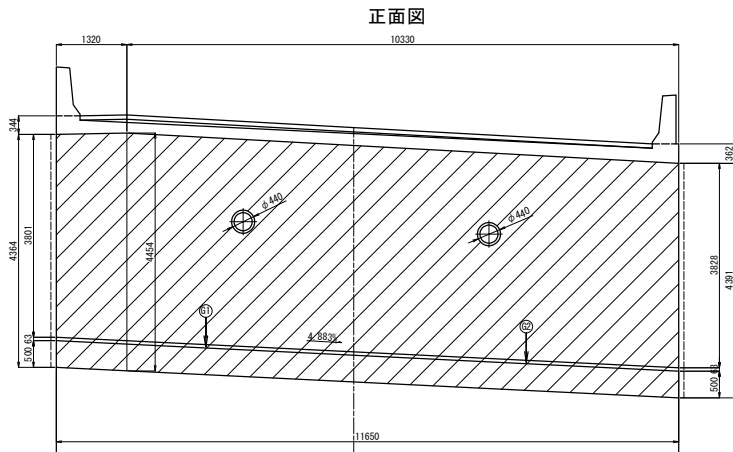
はく落防止対策工数量表

対象範囲	単位	壁高欄			床版	合計	摘要
		L側	R側	小計			
はく落防止対策範囲	m ²	49.4	39.3	88.7	291.4	380.2	

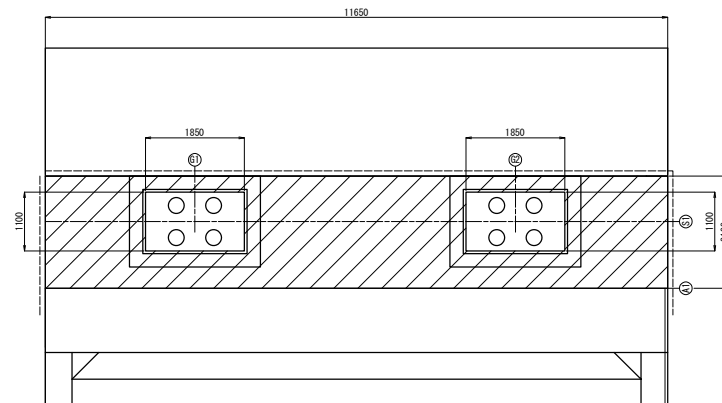
道 東 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 はく落防止対策工		
縮 尺	図示	図面番号	65 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

A1橋台

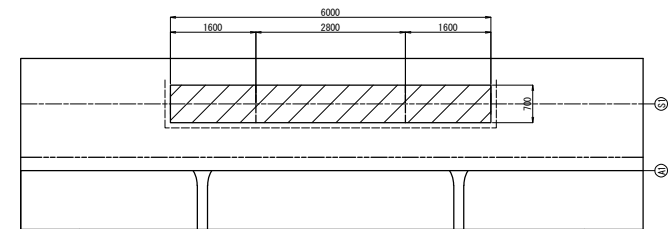
上部工



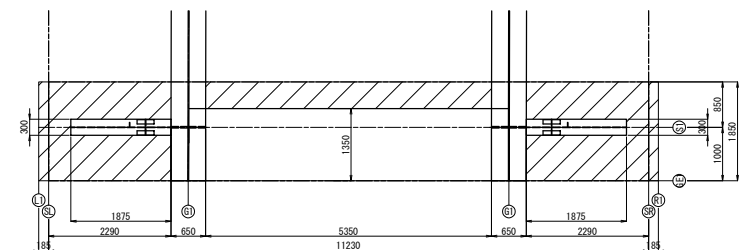
平面図



平面図
巻き立てコンクリート下面



床版下面

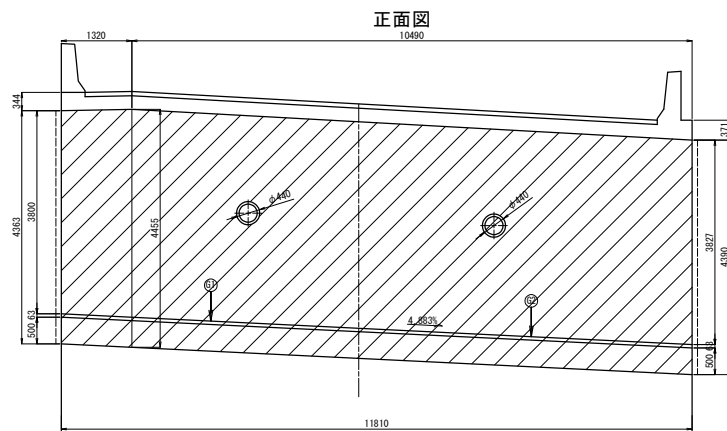


数量表	(㎡)
下部工躯体	78.0
床版下面	12.0
巻き立てコンクリート	25.6
合計	115.6

道 京 自 動 車 道			
串 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 コンクリート表面保護工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	66 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

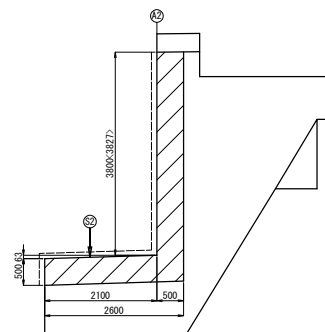
A2橋台

上部工

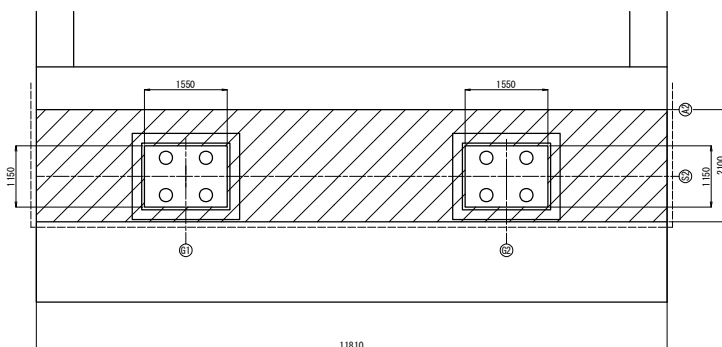


側面図

L側<R側>

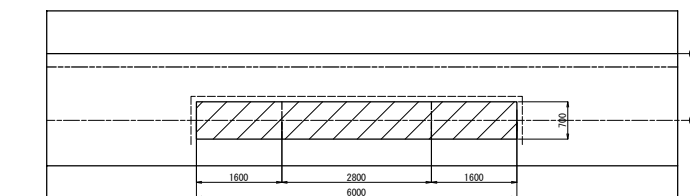


平面図

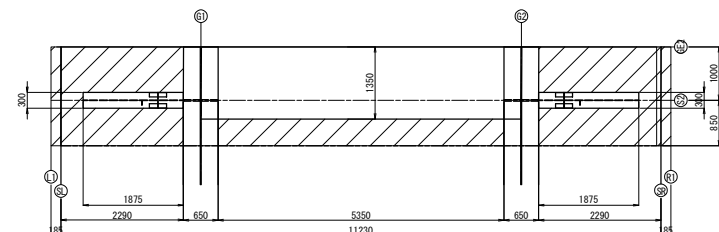


平面図

巻き立てコンクリート下面

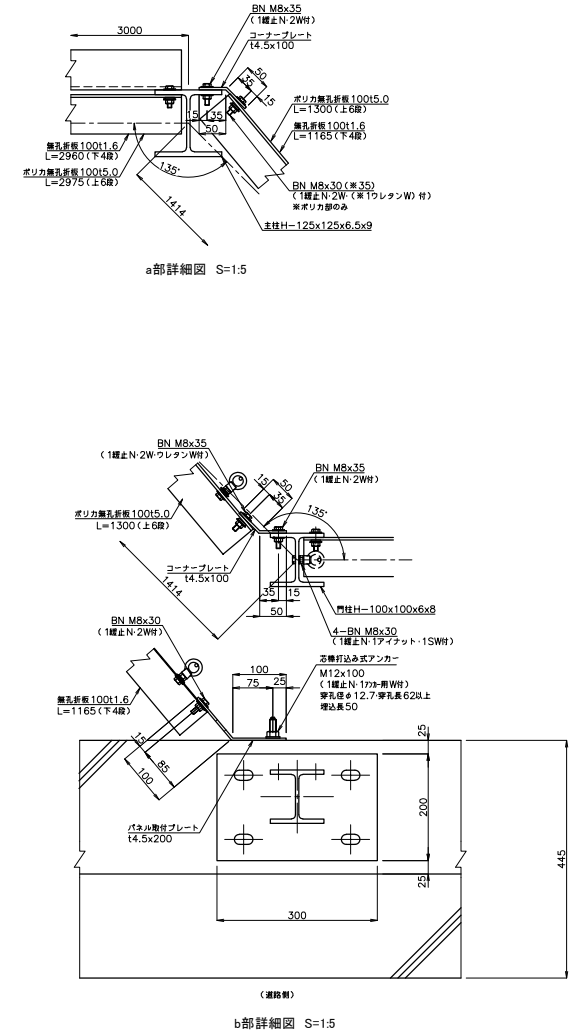
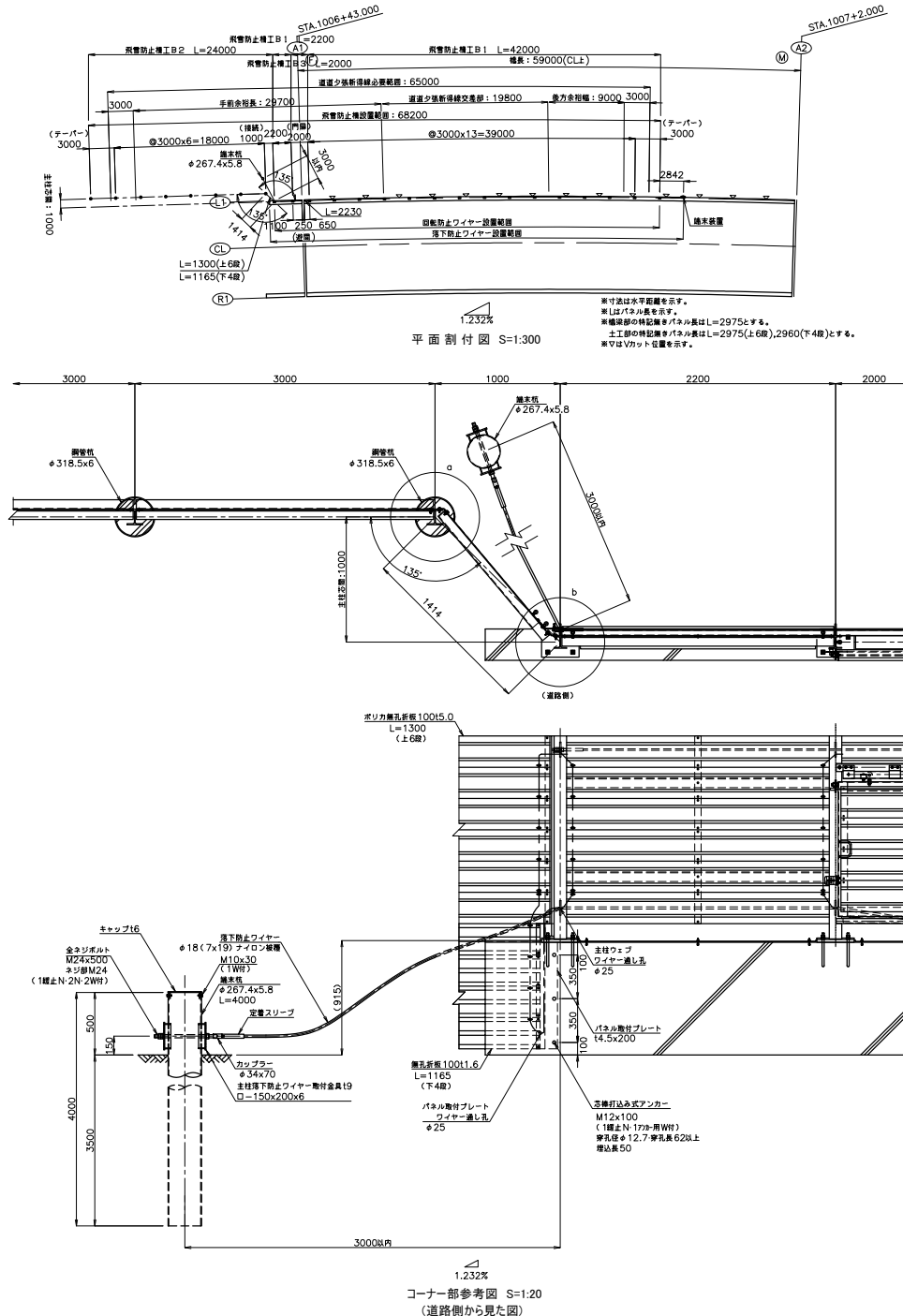


床版下面



数量表	(㎡)
下部工躯体	79.6
床版下面	12.0
巻き立てコンクリート	25.6
合計	117.2

道 京 自 動 車 道			
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 コンクリート表面保護工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	67 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



- 注記
1. 主柱はレール用(水勾配加工有り)を壁高欄天端に直角に設置する。
 2. 緩止ナットは、NAS3350/3354基準適合品とする。
 3. 落下防止ワイヤーφ18(7x19)の適用長さは15m～219mとする。
 4. 着雪防止板はJIS G 3323に準ずるSGMH400相当 高耐候めっき鋼板 T30×1
 - ※1 高耐候めっき鋼板(AI-19%, Mg-6%)ゆき付着量両面300g/m²以上とする。
 5. ポリカ折板は温度差により伸縮するため、取付ボルトの締付けはその伸縮を妨げないように施工すること。
 6. 目安としてワレタンWがつかない程度。

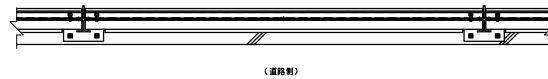
道 交 自 動 車 道			
車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 飛雪防止柵工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	68 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工務事務所		

【設計条件】

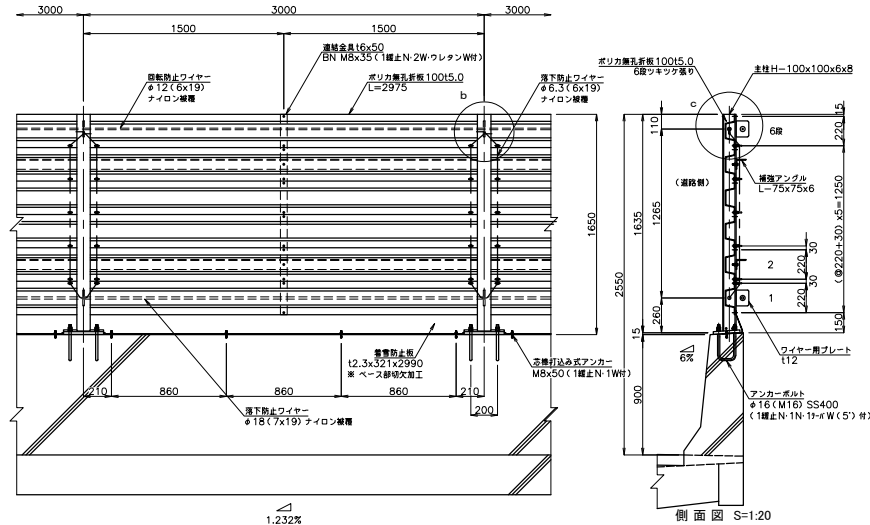
風荷重 2kN/m^2

トマム橋 飛雪防止柵工（その２）

飛雪防止柵工B 1 詳細図

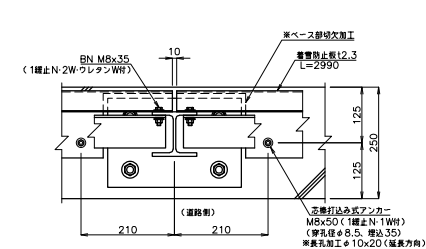
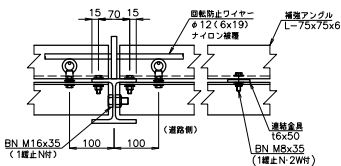


平面图 S=1:20

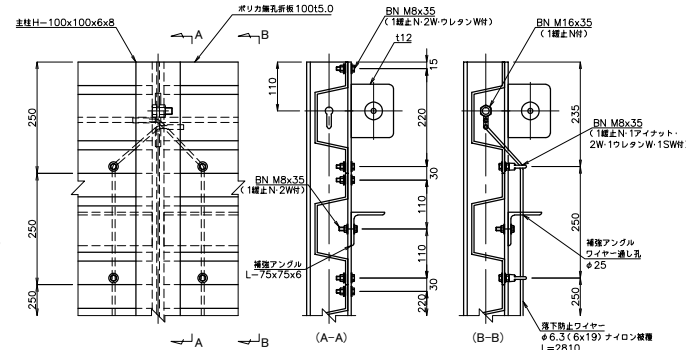


立面図 S=1:20
(道路側から見た図)

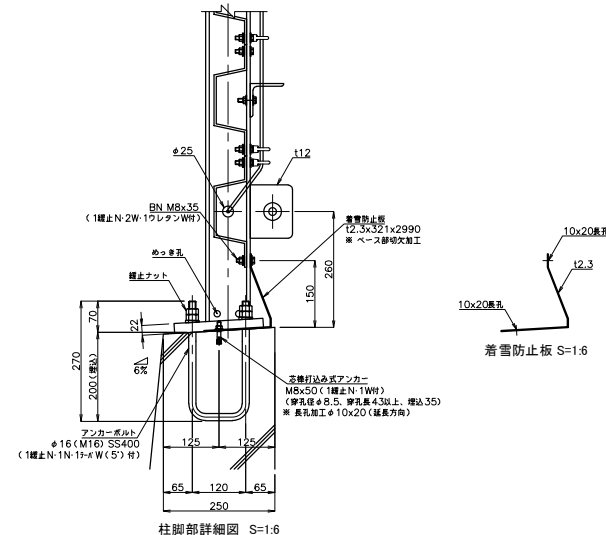
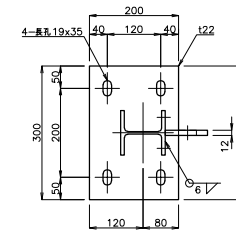
※本図は一般部を示す。



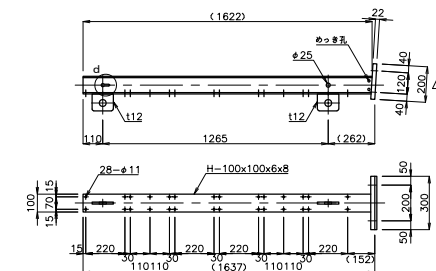
着雪防止板取付詳細図 S=1:6



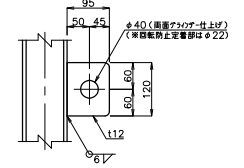
b・c部詳細図 S=1:6



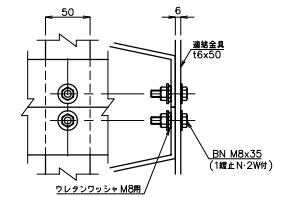
柱脚部詳細図 S=1:6



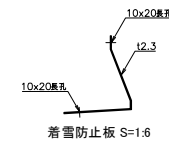
主柱詳細図 S=1:15



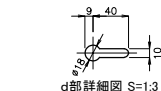
ワイヤー用プレート詳細図 S=1:6
(落下防止・回転防止共通)



連結金具取付詳細図 S=1:3



着雪防止板 S=1:6



d部詳細図 S=1:3

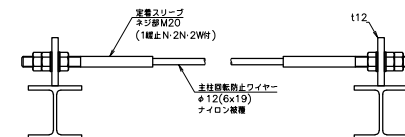
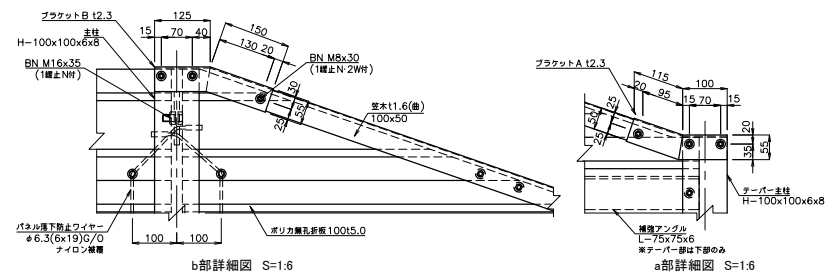
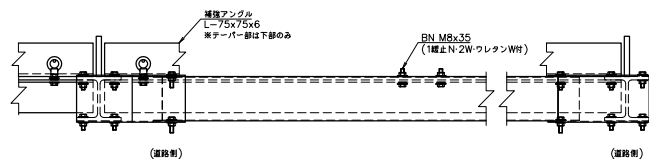
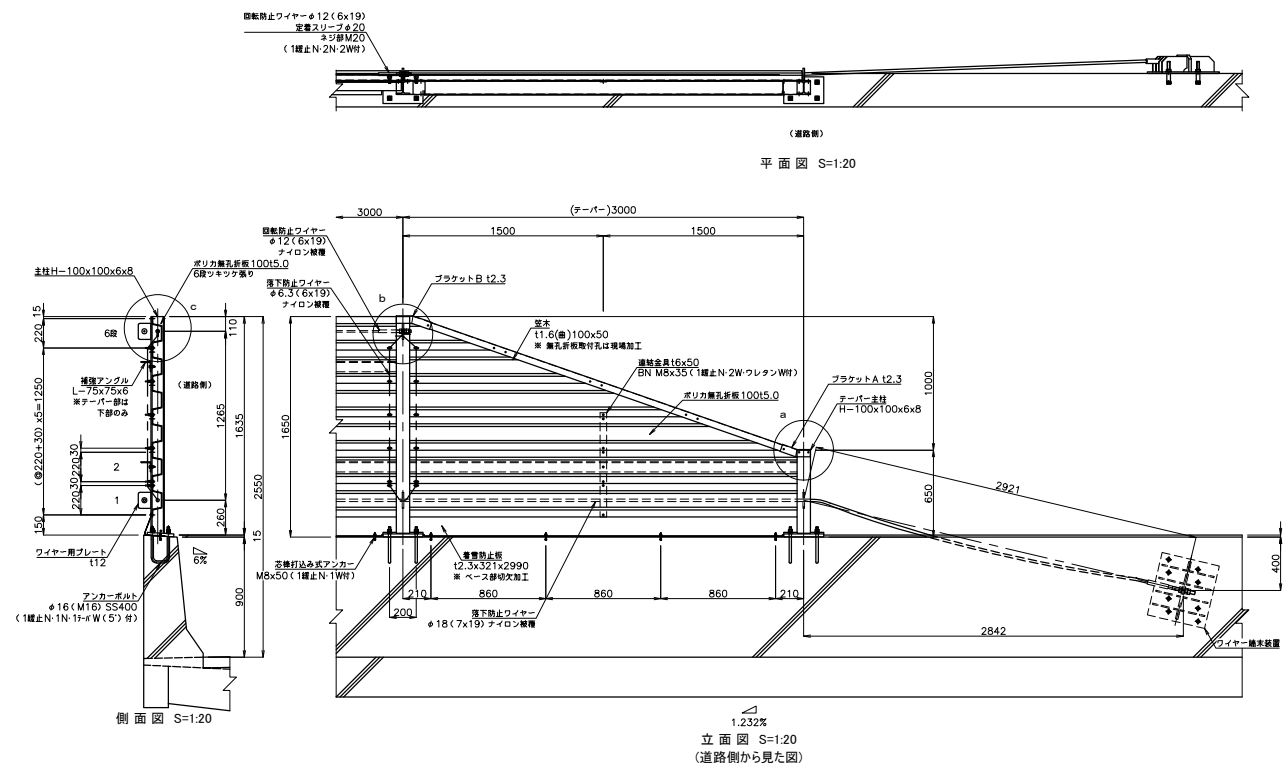
- 注記
1. 主柱はレール用(水勾配加工有り)を壁高側天端に直角に設置する。
 2. 緩止カントは、NAS3350/3354基準適合品とする。
 3. 落下防止ワイヤーφ18(17mm)の運用長は15m±219mとする。
 4. 高耐衝撃止板はJIS G 3232に準ずるSGMH400より、高耐衝撃の鋼板 T30※1※2 高耐衝撃の鋼板(AI-19%、Mg-6%めっき)若しくは重量面300g/m²以上とする。
 5. ポリカ折板は両面耐衝撃とする。
 6. ポリカ折板は温度差により伸縮するため、取付ボルトの締付けはその伸縮を妨げないように施工とする。
目安としてワレムワレムがつかない程度。

道 東 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 飛雪防止構工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	69 / 75
設計会社名	中央コンサルタン株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広支店事務所		

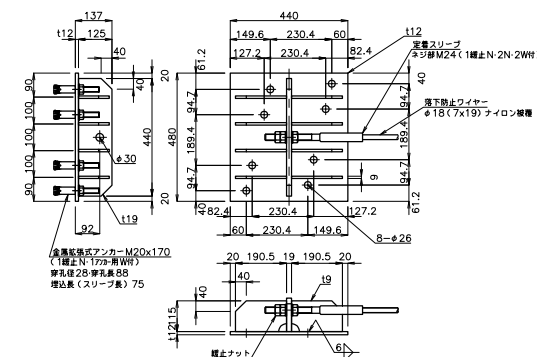
風荷重 2kN/m^2

トマム橋 飛雪防止柵工(その3)

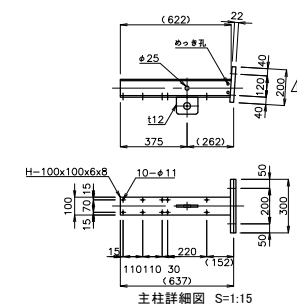
飛雪防止柵工B 1 端部詳細図



主柱回転防止ワイヤー詳細図 S=1:5



落下防止ワイヤー端末装置詳細図 S=1:10

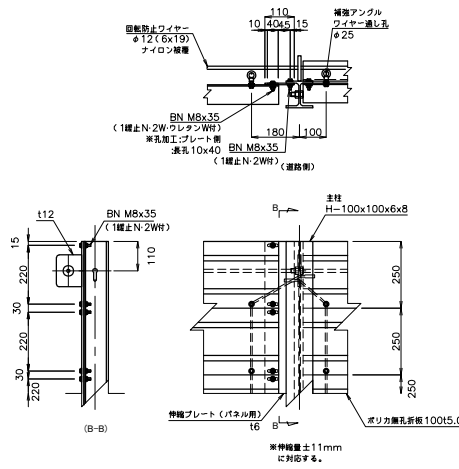


主柱詳細図 S=1:15

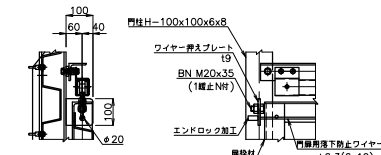
- 注記
1. 主柱はレベル用/水勾配加工有り/壁高側天端に直角に設置する。
 2. 緩止ナットは、NAS3350/3354基準を適合とする。
 3. 落下防止ワイヤーφ18(7x19)の使用長さは15m±219mmとする。
 4. 着落防止は、JIS G 3232に準ずるSGMH400より 高耐候めっき鋼板 T30※1
- ※1 高耐候めっき鋼板(AI-19%, Mg-6%めっき付着量両面300g/m²以上とする。
6. ボリ折板は両面耐候とする。
 6. ボリ折板は温度差により伸縮するため、取付ボルトの締付けはその伸縮を妨げないよう施工すること。目安としてウレタンWがつかない程度。

道東自動車道 車内橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	トマム橋 飛梁正付施工(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	70 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

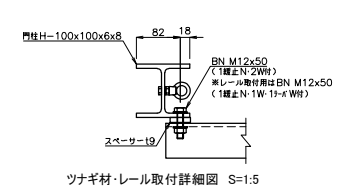
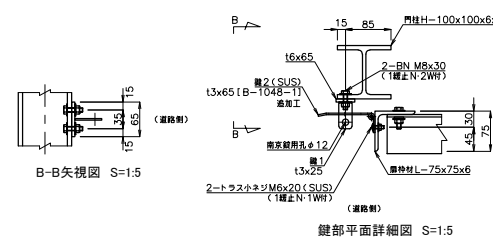
飛雪防止柵工B 3 詳細図



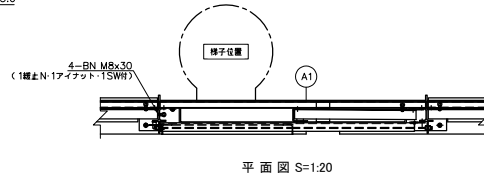
ハネ取付部詳細図 S=1:10



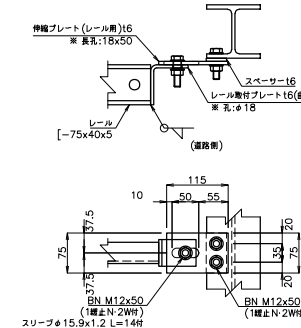
門扉用落下防止ワイヤー端末固定部詳細図 S=1:10



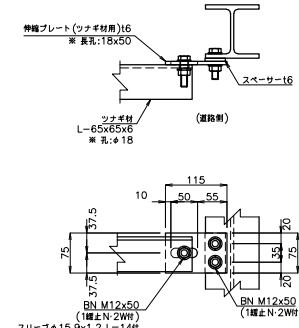
ツナギ材・レール取付詳細図 S=1:5



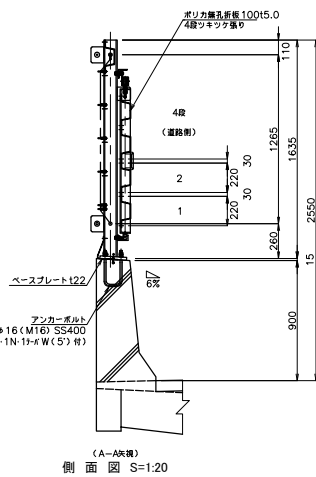
平面図 S=1:20



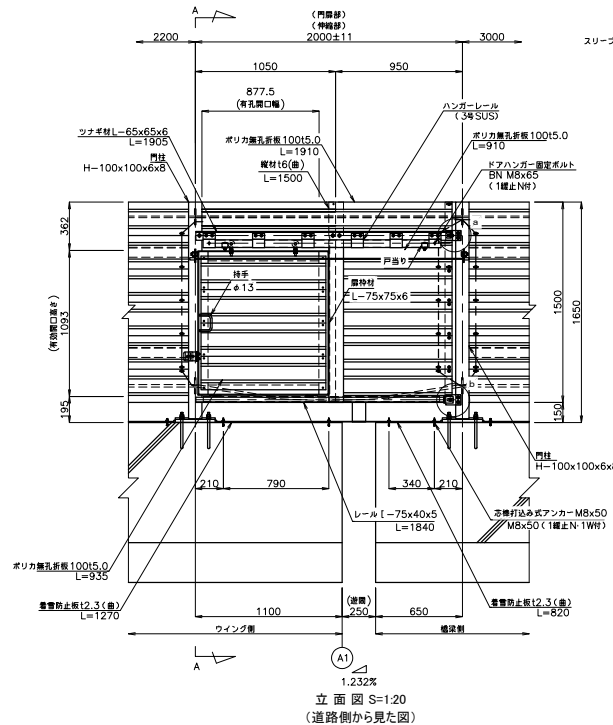
b部詳細図 S=1:5



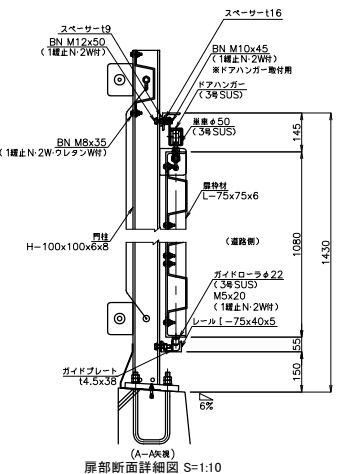
a部詳細図 S=1:5



側面図 S=1:20



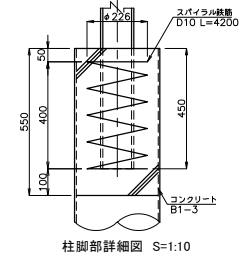
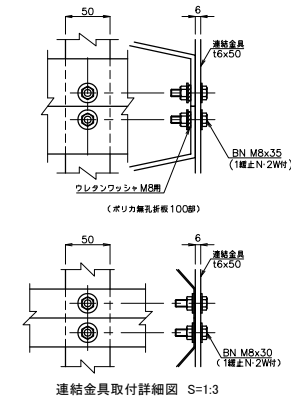
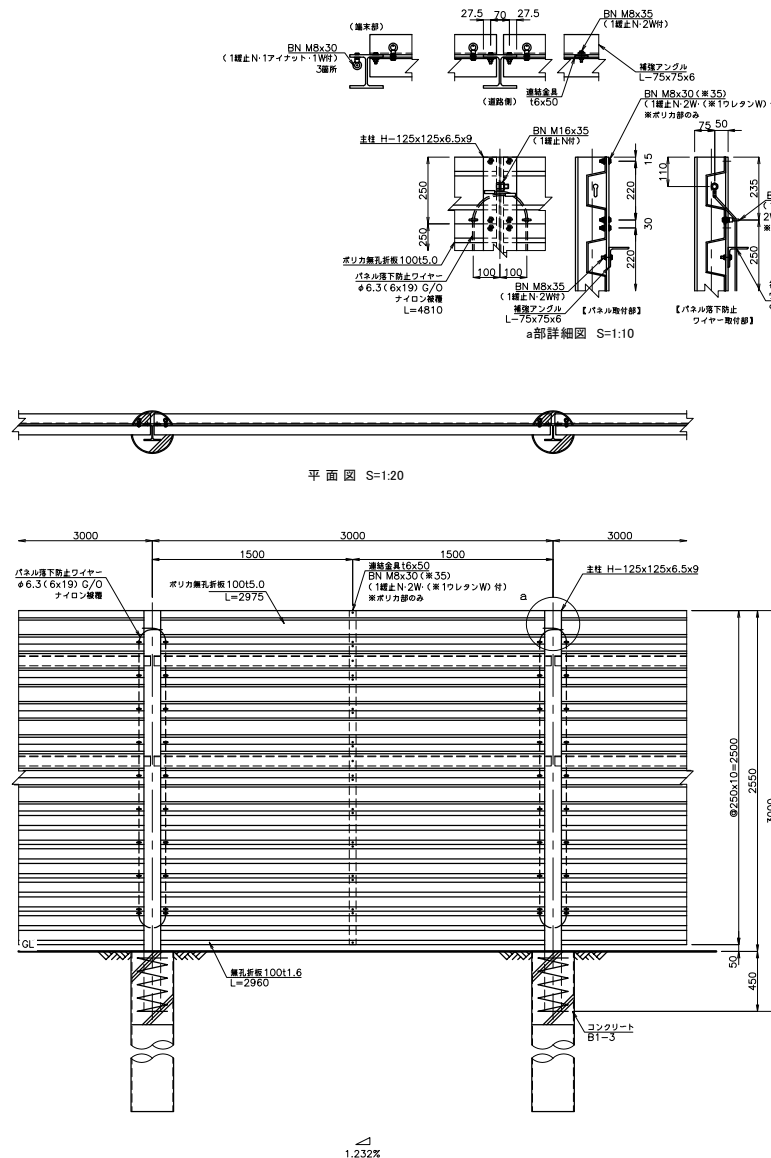
立面図 S=1:20
(道路側から見た図)



扉断面詳細図 S=1:10

- 注記
1. 主柱はレベル用(外勾配加工有り)を壁高欄天端に直角に設置する。
 2. 緩止ネットは、NAS3350/3354基準適合品とする。
 3. 落下防止ワイヤーφ18(7x19)の適用長さは15m～219mとする。
 4. 着雪防止板はJIS G 3231に準ずるSGMH400相当 高耐熱めっき鋼板 T30※1
 - ※1 高耐熱めっき鋼板(AI-19%, Mg-6%めっき付着量両面300g/m²以上とする。
 5. ボリカ折板は両面耐熱とする。
 6. ボリカ折板は温度差により伸縮するため、取付ボルトの締付けはその伸縮を妨げないように施工すること。目安としてウレタンWがつけられない程度。

道交自動車道 車内橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	トマム橋 飛雪防止柵(その4)		
縮尺	図示	図面番号	71 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工事事務所		



※本図は標準スパンを示す。

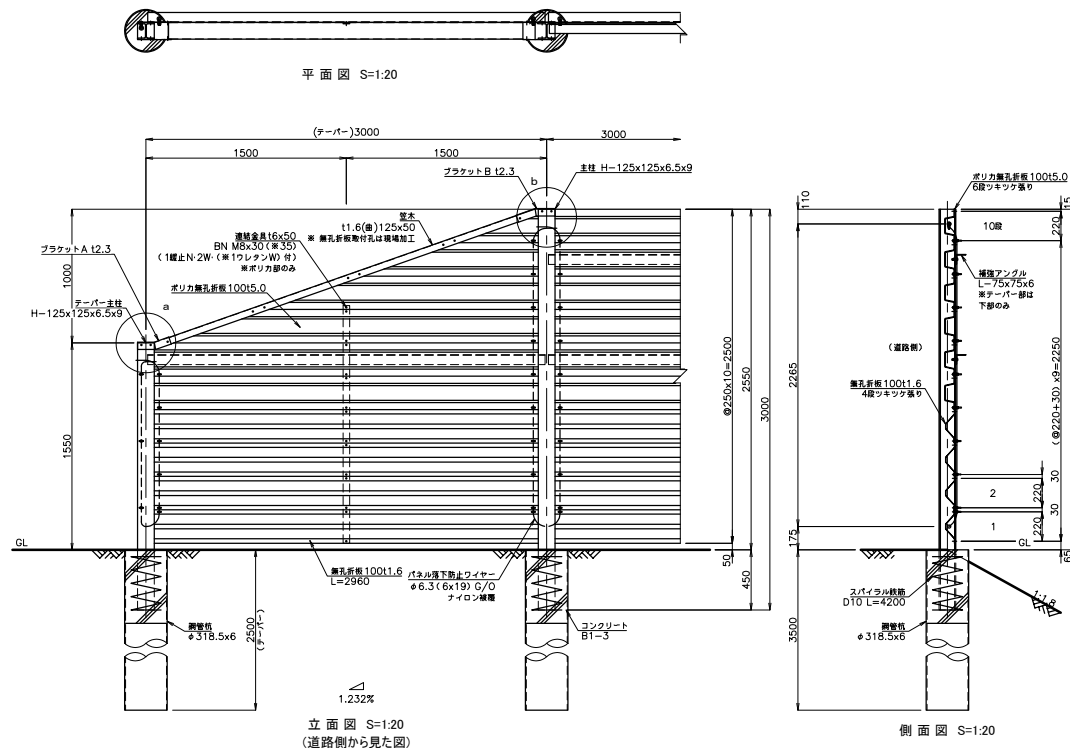
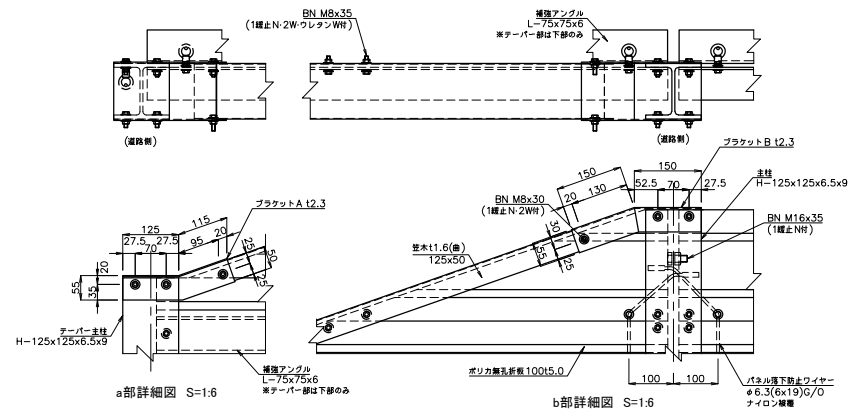
立断面 S=1:20
(道路側から見た図)

側面図 S=1:20

注記

1. 緩止ナットは、NAS3350/3354基準適合品とする。
2. 折板・着雪防止板はJIS G 3233に準ずるSGMH400相当 高耐候めっき鋼板 T30※1
- ※1 高耐候めっき鋼板(AI-19%、Mg-6%)めっき付着量両面300g/m²以上とする。
3. ポリカ折板は両面耐候とする。
4. ポリカ折板は温度差により伸縮するため、取付ボルトの締付けはその伸縮を妨げないように施工すること。目安としてウレタンWがつけられない程度。

道 京 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事				
図面の種類	トマム橋 飛雪防止柵工(その5)			
縮 尺	図示	図面番号	72 / 75	
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所			



- 注記
1. 緩止ナットは、NAS3350/3354基準適合品とする。
 2. 折板・飛雪防止板はJIS G 3323に準ずるSGMH400相当 高耐候めっき鋼板 T30※1
※1 高耐候めっき鋼板(AI-19%, Mg-6%)めっき付着量両面300g/m²以上とする。
 3. ポリカ折板は両面耐候とする。
 4. ポリカ折板は温度差により伸縮するため、取付ボルトの締付けはその伸縮を妨げないように
施工すること。目安としてウレタンWがつられない程度。

道 交 自 動 車 道 車 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 飛雪防止柵工(その6)		
縮 尺	図示	図面番号	73 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

数量表

雪害防止柵工B1材料表(橋梁部)		※L=4.2m		(16sp)		1連当たり		
材 料 名	形状寸法	数量	単位	単位重量 (kg)	重 量 (kg)	材料規格	表面処理	
中間主柱	H-100x100x6x8 L= 1622	14	本	27.412	383.768	SS400	HDZ777	
ターボ主柱	H-100x100x6x8 L= 622	1	本	10.512	10.512	SS400	HDZ777	
ベースプレート	t 22 x 200 x 300	15	枚	10.362	155.430	SS400	HDZ777	
落下防止・回転防止付用プレート	t 12 x 95 x 120	29	枚	1.074	31.146	SS400	HDZ777	
ポリカ無孔折板100 #3000	t5.0x250 L= 2975	80	枚	6.300	504.000	クリアー	両面耐候	
ポリカ無孔折板100 #2000	t5.0x250 L= 2175	6	枚	4.606	27.636	クリアー	両面耐候	
ポリカ無孔折板100 #3000(付・付)	t5.0x250 L= 2914	1	枚	6.171	6.171	クリアー	両面耐候	
ポリカ無孔折板100 #3000(付・付)	t5.0x250 L= 2196	1	枚	4.650	4.650	クリアー	両面耐候	
ポリカ無孔折板100 #3000(付・付)	t5.0x250 L= 1477	1	枚	3.128	3.128	クリアー	両面耐候	
ポリカ無孔折板100 #3000(付・付)	t5.0x250 L= 758	1	枚	1.605	1.605	クリアー	両面耐候	
〃 取付ボルト	M8x35(1組止N・2W・1穴付)	359	組	0.029	10.411	強度区分4.6相当	HDZ749	
雪害防止板 #3000	t2.3x321 L= 2990	14	枚	17.329	242.606	NSTH400	T30※1	
雪害防止板 #2200	t2.3x321 L= 2190	1	枚	12.692	12.692	NSTH400	T30※1	
補強アングル #3000	t-75x75x6 L= 2975	27	本	20.379	550.226	SS400	HDZ777	
補強アングル #2200	t-75x75x6 L= 2175	2	本	14.899	29.798	SS400	HDZ777	
〃 取付ボルト	M8x35(1組止N・2W付)	87	組	0.028	2.436	強度区分4.6相当	HDZ749	
ブラケットA	t 2.3 x 216 x 215	1	ヶ	0.838	0.838	SS400	HDZ749	
ブラケットB	t 2.3 x 216 x 275	1	ヶ	1.072	1.072	SS400	HDZ749	
〃 取付ボルト	M8x30(1組止N・2W付)	5	組	0.026	0.130	強度区分4.6相当	HDZ749	
笠木	t 1.6 x 200 L= 2889	1	本	7.257	7.257	SS400	HDZ749	
〃 取付ボルト	M8x30(1組止N・2W付)	4	組	0.026	0.104	強度区分4.6相当	HDZ749	
連結金具	t 6 x 50 x 1500	14	枚	3.533	49.462	SS400	HDZ777	
連結金具	t 6 x 50 x 780	1	枚	1.837	1.837	SS400	HDZ777	
〃 取付ボルト	M8x35(1組止N・2W・1穴付)	175	組	0.026	4.550	強度区分4.6相当	HDZ749	
パネル落下防止ワイヤー	φ6.3(6x19)※両端210°付加工	L= 2810	13	本	0.405	5.265	6種	ナロ保護
パネル落下防止ワイヤー(接続)	φ6.3(6x19)※両端210°付加工	L= 5270	1	本	0.759	0.759	6種	ナロ保護
〃 接続防止ボルト	M16x35(1組止N・2W・1穴付)	162	組	0.130	21.620	強度区分4.6相当	HDZ749	
〃 取付ボルト	M8x35(1組止N・17x17付・2W・1穴付)	182	組	0.063	10.206	強度区分4.6相当	HDZ749	
U型アンカーボルト	φ16(M16)x120x270(1組止N・1N・1穴付)	30	組	1.232	36.960	SS400	HDZ749	
芯棒打込み式アンカー	M8x50(1組止N・1W付)	59	組	0.030	1.770	SWCH相当	HDZ749	
門扉部	—	—	—	—	221.179	—	—	
総重量				2319.424				

※1 高耐候めっき鋼板(AI-19%、Mg-6%)めっき付重量両面300g/m²以上とする

雪害防止柵工B3材料表 (門扉部)		※L=2.0m		(1tp)		1連当たり		
材 料 名	形状寸法	数量	単位	単位重量 (kg)	重 量 (kg)	材料規格	表面処理	
門柱	H-100x100x6x8 L= 1622	1	本	27.412	27.412	SS400	HDZ777	
門柱	H-100x100x6x8 L= 1622	1	本	27.412	27.412	SS400	HDZ777	
ベースプレート	t 22 x 200 x 300	2	枚	10.362	20.724	SS400	HDZ777	
落下防止・回転防止付・用プレート	t 12 x 95 x 120	4	枚	1.074	4.296	SS400	HDZ777	
ウイヤー用プレート	t 9 x 100 x 100	2	枚	0.707	1.414	SS400	HDZ777	
握付材	t-75x75x6 H 1080 x W 990	1	基	28.222	28.222	SS400	HDZ777	
持手	φ13 L= 411	1	本	0.427	0.427	SS400	HDZ749	
握材	t 6 x 240 (曲) L= 1500	1	本	18.369	18.369	SS400	HDZ777	
ポリカ無孔折板100	t5.0x250 L= 1910	1	枚	4.045	4.045	クリアー	両面耐候	
ポリカ無孔折板100	t5.0x250 L= 910	5	枚	1.927	9.635	クリアー	両面耐候	
ポリカ無孔折板100	t5.0x250 L= 935	4	枚	1.980	7.920	クリアー	両面耐候	
〃 取付ボルト	M8x35(1組止N・2W・1穴付)	42	組	0.029	1.218	強度区分4.6相当	HDZ749	
伸縮プレート(パネル用)	t 6 x 35 x 1500	1	枚	7.772	7.772	SS400	HDZ777	
〃 取付ボルト	M8x30(1組止N・2W付)	12	組	0.026	0.336	強度区分4.6相当	HDZ749	
鍵孔プレート	t 3 x 25 x 50	1	枚	0.029	0.029	SS400	HDZ749	
〃 取付ボルト	t 6 x 35 x 65	1	枚	0.107	0.107	SS400	HDZ749	
〃 取付ボルト	M8x30(1組止N・2W付)	2	組	0.027	0.054	強度区分4.6相当	HDZ749	
鍵 SUS	t3x65(B-1048-1)追加	1	ヶ	0.190	0.190	SUS304	-	
〃 取付ボルト	トラス小ネジM6x20(1組止N・1W付)	2	組	0.009	0.018	SUS304	-	
車重3号	φ50(1組止N・1W付)	2	ヶ	0.535	1.070	SUS304	-	
ガイドローラ3号	φ22	2	ヶ	0.300	0.600	SUS304	-	
ハンガーレール3号	t1.5x44x57 L= 1780	4	ヶ	0.007	0.028	SUS304	-	
ドアハンガー3号	90x106追加	4	ヶ	0.370	1.480	SUS304	-	
補強トリアンガ3号	90x106追加	2	ヶ	0.370	0.740	SUS304	-	
〃 取付ボルト	M10x45(1組止N・2W付)	12	組	0.059	0.708	強度区分4.6相当	HDZ749	
〃 固定ボルト	M8x65(1組止付)	2	組	0.036	0.072	強度区分4.6相当	HDZ749	
声笛	t2.5x31x44	2	ヶ	0.160	0.320	SUS304	-	
ツナギ材	L-65x65x6 L= 1920	1	本	11.347	11.347	SS400	HDZ777	
スベサー	t 9 x 38 x 38	3	枚	0.102	0.306	SS400	HDZ777	
〃 取付ボルト	M12x50(1組止N・2W付)	4	組	0.093	0.372	強度区分4.6相当	HDZ749	
伸縮プレート(ツナギ材用)	t 6 x 145 x 75	1	枚	0.512	0.512	SS400	HDZ777	
スリーブ	φ15.9x1.2 L=14	1	組	0.006	0.006	STKR11A	HDZ749	
スベサー(伸縮プレート)	t 6 x 38 x 75	1	枚	0.134	0.134	SS400	HDZ777	
〃 取付ボルト	M12x50(1組止N・2W付)	2	組	0.093	0.186	強度区分4.6相当	HDZ749	
スベサー	t 16 x 25 x 80	6	枚	0.251	1.506	SS400	HDZ777	
レール	t-75x40x5 L= 1855	1	本	12.837	12.837	SS400	HDZ777	
スベサー	t 4.5 x 38 x 38	3	枚	0.051	0.153	SS400	HDZ777	
〃 取付ボルト	M12x50(1組止N・1W・1付)	4	組	0.131	0.524	強度区分4.6相当	HDZ749	
伸縮プレート(レール用)	t 6 x 145 x 75	1	枚	0.512	0.512	SS400	HDZ777	
レール取付プレート	t 6 x 145 (曲) L= 50	1	本	0.341	0.341	SS400	HDZ777	
スリーブ	φ15.9x1.2 L=14	1	組	0.006	0.006	STKR11A	HDZ749	
スベサー(伸縮プレート)	t 6 x 38 x 75	1	枚	0.134	0.134	SS400	HDZ777	
〃 取付ボルト	M12x50(1組止N・2W付)	2	組	0.093	0.186	強度区分4.6相当	HDZ749	
ガイドレール	t 4.5 x 38 x 1770	1	枚	2.376	2.376	SS400	HDZ777	
雪害防止板	t2.3x321 L= 1270	1	枚	7.360	7.360	NSTH400	T30※1	
雪害防止板	t2.3x321 L= 820	1	枚	4.752	4.752	NSTH400	T30※1	
〃 取付ボルト	M8x30(1組止N・2W付)	1	組	0.026	0.026	強度区分4.6相当	HDZ749	
パネル落下防止ワイヤー	φ6.3(6x19)※両端210°付加工	L= 2810	1	本	0.405	4.05	6種	ナロ保護
パネル落下防止ワイヤー(伸縮)	φ6.3(6x19)※両端210°付加工	L= 2980	1	本	0.429	0.429	6種	ナロ保護
〃 接続防止ボルト	M16x35(1組止N・2W・1穴付)	2	組	0.130	0.260	強度区分4.6相当	HDZ749	
〃 取付ボルト	M8x35(1組止N・17x17付・2W・1穴付)	18	組	0.063	1.134	強度区分4.6相当	HDZ749	
〃 取付ボルト	M8x30(1組止N・17x17付・1W付)	4	組	0.063	0.252	強度区分4.6相当	HDZ749	
パネル落下防止ワイヤー	φ6.3(6x19)※両端210°付加工	L= 2230	1	本	0.391	0.391	6種	ナロ保護
〃 固定防止ボルト	M20x35(1組止N・2W・1穴付)	2	組	0.213	0.426	強度区分4.6相当	HDZ749	
U型アンカーボルト	φ16(M16)x120x270(1組止N・1N・1付)	4	組	1.232	4.928	SS400	HDZ749	
芯棒打込み式アンカー	M8x50(1組止N・1W付)	4	組	-	-	SWCH相当	HDZ749	
総重量				221.179				

※1 高耐候めっき鋼板(AI-19%、Mg-6%)めっき付重量両面300g/m²以上とする

飛雪防止柵工B1 落下防止ワイヤー材料表(橋梁部)

材料名	形状寸法	数量	単位	単位重量 (kg)	重量 (kg)	材料規格	1連当たり
落下防止ワイヤー	φ18(7x19) ※片端固定用319-ブ、φ18部M24(1組止N・2W・2W付)	52.34	m	1.280	66.995	ST1470	74位保護
金ネジボルト	M24x50(1組止N・2W・2W付)	2	組	2.497	4.994	S80x35H	HDZ749
カプラー	φ34x70	1	ヶ	0.288	0.288	S45C(H)	HDZ749
結束装置	t 12 x 440 x 480	1	枚	19.895	19.895	SS400	HDZ777
ワイヤー固定プレート	t 19 x 125 x 440	1	枚	8.203	8.203	SS400	HDZ777
リブプレート	t 6 x 115 x 190.5	8	枚	1.548	12.384	SS400	HDZ777
金属板張式アンカー	φ267.4x5.8 L= 4000	8	組	0.595	4.760	SWCH相当	HDZ749
結束鉄	φ267.4x5.8	1	本	149.600	149.600	STK400	HDZ777
キャップ	t6/16x50	1	ヶ	2.932	2.932	S40	HDZ777
〃 取付ボルト	M10x20(1組止N・2W付)	2	組	0.034	0.068	強度区分4.6相当	HDZ749
落下防止ワイヤー取付プレート	t 9 x 170 x 220	2	枚	2.642	5.284	SS400	HDZ777
落下防止ワイヤー取付金具	CJ-150x200x6.0	2	本	1.555	3.110	STKR400	HDZ777
				総重量	290.399		

※落下防止ワイヤーは施工性を考慮して50%程度を目安に分割(カプラー接続)手配とする

飛雪防止柵工B1 回転防止ワイヤー材料表(橋梁部)

材料名	形状寸法	数量	単位	単位重量 (kg)	重量 (kg)	材料規格	1連当たり
回転防止ワイヤー	φ12(6x19) ※片端固定用319-ブ、φ12部M20(1組止N・2W・2W付)	43.53	m	0.524	22.810	G1種	74位保護
		2	組	1.211	2.422	S25C	HDZ749
				総重量	25.232		

飛雪防止柵工B3材料表(土工部)

材料名		形状寸法	数量	単位	単位重量 (kg)	重量 (kg)	材料規格	表面処理
主柱		H-125x125x6.5x9 L= 3000	7	本	70.800	495.600	SS400	HDZ777
ターボ主柱		H-125x125x6.5x9 L= 2000	1	本	47.200	47.200	SS400	HDZ777
ポリカ無孔折板100 #3000		t5.0x250 L= 2975	38	枚	6.300	239.400	クリアー	両面耐候
ポリカ無孔折板100 #3000(付・付)		t5.0x250 L= 2902	1	枚	6.145	6.145	クリアー	両面耐候
ポリカ無孔折板100 #3000(付・付)		t5.0x250 L= 2190	1	枚	4.638	4.638	クリアー	両面耐候
ポリカ無孔折板100 #3000(付・付)		t5.0x250 L= 1477	1	枚	3.128	3.128	クリアー	両面耐候
ポリカ無孔折板100 #3000(付・付)		t5.0x250 L= 765	1	枚	1.620	1.620	クリアー	両面耐候
ポリカ無孔折板100 #1000(接続)		t5.0x250 L= 1300	6	枚	2.753	16.518	クリアー	両面耐候
無孔折板100 #3000		t1.6x250 L= 2960	28	枚	11.100	310.800	NSTH400	T30※1
無孔折板100 #1000		t1.6x250 L= 1165	4	枚	4.369	17.476	NSTH400	T30※1
〃 取付ボルト		M8x35(1組止N・2W・1穴付)	191	組	0.029	5.539	強度区分4.6相当	HDZ749
〃 取付ボルト		M8x30(1組止N・2W付)	128	組	0.026	3.328	強度区分4.6相当	HDZ749
コーナプレート(橋梁側)		t 4.5 x 100 x 1600	1	枚	5.652	5.652	SS400	HDZ777
コーナプレート(土工側)		t 4.5 x 100 x 2500	1	枚	8.831	8.831	SS400	HDZ777
〃 取付ボルト		M8x35(1組止N・2W付)	32	組	0.028	0.896	強度区分4.6相当	HDZ749
補強アングル #3000		t-75x75x6 L= 2975	13	本	20.379	264.924	SS400	HDZ777
〃 取付ボルト		M8x35(1組止N・2W付)	39	組	0.028	1.092	強度区分4.6相当	HDZ749
ブラケットA		t 2.3 x 241 x 240	1	ヶ	1.044	1.044	SS400	HDZ749
ブラケットB		t 2.3 x 241 x 300	1	ヶ	1.305	1.305	SS400	HDZ749
〃 取付ボルト		M8x30(1組止N・2W付)	5	組	0.026	0.130	強度区分4.6相当	HDZ749
笠木		t 1.6 x 225 L= 2865	1	本	8.096	8.096	SS400	HDZ749
〃 取付ボルト		M8x30(1組止N・2W付)	4	組	0.026	0.104	強度区分4.6相当	HDZ749
連結金具		t 6 x 50 x 2500	6	枚	5.888	35.328	SS400	HDZ777
連結金具		t 6 x 50 x 1780	1	枚	4.192	4.192	SS400	HDZ777
〃 取付ボルト		M8x35(1組止N・2W・1穴付)	9	組	0.028	2.564	強度区分4.6相当	HDZ749
〃 取付ボルト		M8x30(1組止N・2W付)	6	組	0.026	1.456	強度区分4.6相当	HDZ749
ハネル落下防止ワイヤー		φ6.3(6x19)交差編み付加工 L= 4810	7	本	0.693	4.851	6線	付の保護
ハネル落下防止ワイヤー(付・付)		φ6.3(6x19)交差編み付加工 L= 2810	1	本	0.405	0.405	6線	付の保護
〃 取付ボルト		M16x35(1組止付)	8	組	0.130	1.040	強度区分4.6相当	HDZ749
〃 取付ボルト		M8x30(1組止N・17穴付・2W・1穴付・15穴付)	82	組	0.063	5.136	強度区分4.6相当	HDZ749
〃 取付ボルト		M8x30(1組止N・17穴付・2W・15穴付)	6	組	0.063	0.432	強度区分4.6相当	HDZ749
〃 取付ボルト		M8x35(1組止N・17穴付・2W・15穴付)	3	組	0.065	0.195	強度区分4.6相当	HDZ749
ハネル取付プレート		t 4.5 x 200 x 1000	1	枚	7.065	7.065	SS400	HDZ777
芯棒打込みアンカー		M12x100(1組止・1時付)	3	組	-	-	SRC用アンカー	HDZ749
総重量					1509.880			

道 東 自 動 車 道 串 内 橋 (鋼 上 部 工) 工 事			
図面の種類	トマム橋 装壁区分図		
縮 尺	図示	図面番号	75 / 75
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		